
日本植物学会第79回大会 研究発表記録



Proceedings of the 79th Annual Meeting of
the Botanical Society of Japan, Niigata 2015

2015年9月6日(日)～9月8日(火)

朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター

<http://bsj.or.jp/bsj79/>



日本植物学会
The Botanical Society of Japan

研究発表記録電子版へのアクセスはこちら



URL: http://bsj.or.jp/bsj79/ebook_download.html

公益社団法人日本植物学会第79回大会実行委員

大会会長・募金担当：竹能 清俊

実行委員長・募金担当：西川 周一

庶務・会場担当：加藤 朗

会計担当：岩崎 俊介

懇親会・ミキサー担当：林 八寿子

プログラム幹事：酒井 達也／西村 泰介

シンポジウム・関連集会担当：上井 進也

託児室担当：石崎 智美

ホームページ担当：及川 和聡

公開講演会担当：崎尾 均

高校生企画担当：志賀 隆／五百川 裕

プログラム委員：酒井 達也／西村 泰介／西川 周一／加藤 朗／岩崎 俊介／林 八寿子／
上井 進也／石崎 智美／及川 和聡

会場委員：岩坪 美兼／蒲池 浩之／唐原 一郎／小藤 累美子／濱田 達朗

新潟大会シンボルマークのユキツバキ

今大会のロゴには新潟県を代表する花の一つユキツバキ (*Camellia rusticana*) をシンボルマークとして用いた。ユキツバキは新潟県を中心とした日本海側多雪地帯の低い山地に分布する。各地に広く分布するヤブツバキの亜種または変種 (*Camellia japonica* var. *decumbens*) とされることもある。枝がしなやかなのが特徴で、冬季雪に埋もれても折れることなく地面に臥し、雪が解ければ元通りに起きあがる。これは雪の深い環境に適応した形質であり、新潟県の県民性に通じるところがある。ヤブツバキと比較して、花弁は朱色で開き気味であり、多数の雄しべは花糸が黄色で基部が筒状に合着することがない。ヤブツバキとの雑種や園芸化されたものもあり、同定は少々難しい。水多陽子さん（名古屋大学）のデザインしたこのロゴではユキツバキの特徴がよく捉えられており、雪解け水をあつめて悠々と流れる信濃川を背景に、春の訪れとともに花開く姿が艶やかに表現されている。学会賞副賞のトロフィーにもユキツバキがデザインされた。表紙写真のユキツバキは元新潟大学理学部教授・石澤進先生の撮影による。

（解説：大会会長・竹能清俊）





目 次 / Contents

大会会場案内	4
大会に参加される方へ	9

プログラム 15

日程表	16
学会賞授賞式および受賞講演	19
シンポジウム	21
公開講演会	35
口頭発表／シンポジウム 一覧表	36
口頭発表座長一覧	56
ポスター発表	58
高校生研究ポスター発表	71

受賞講演要旨 73

日本植物学会大賞・学術賞講演	75
日本植物学会奨励賞・若手奨励賞講演	77

シンポジウム要旨 81

口頭発表要旨 127

ポスター発表要旨 183

発表者名索引 237

広 告 255

会場への交通案内

大会会場

大会会場は、朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター（〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6-1）です。

- 会場へは、新潟駅万代口バスターミナル（3番線）より新潟交通バス（朱鷺メッセ・佐渡汽船線）で約15分、タクシーで約5分、徒歩約25分です。新潟空港からはタクシーで約20分です（新潟空港から新潟駅行きのリムジンバスもございます。約25分です。）。
- お車でお越しの際は、万代島駐車場（有料）をご利用下さい。
- 新潟市では、9月5日より新潟駅万代口を起点とする新バスシステムが運行を開始します。大会期間中、新潟駅万代口周辺は混雑が予想されますのでご注意ください。

公開講演会会場

公開講演会は新潟日報メディアシップ2階、日報ホールで開催します。新潟駅からタクシーで約5分、徒歩約10分です。新潟交通バスをご利用の際は新潟駅万代口バスターミナルから17番系統のバスに乗車後、メディアシップ前で下車下さい。朱鷺メッセからは、徒歩約15分です。お車でお越しの際は、メディアシップ北側駐車場（有料）または万代シティ駐車場（有料）をご利用ください。

懇親会会場

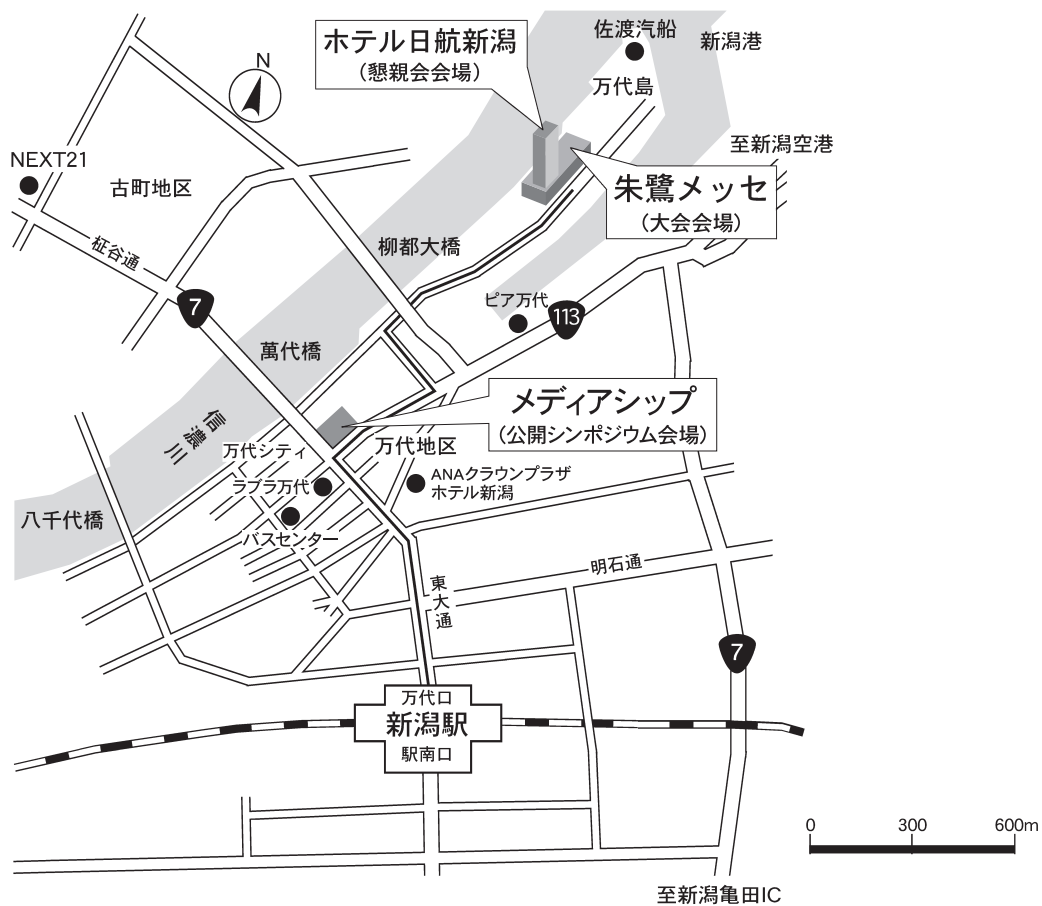
懇親会会場は、大会会場隣のホテル日航新潟4階宴会場『朱鷺』です。懇親会は、大会2日目の9月7日（月）18:30から開催します。

ミキサー会場

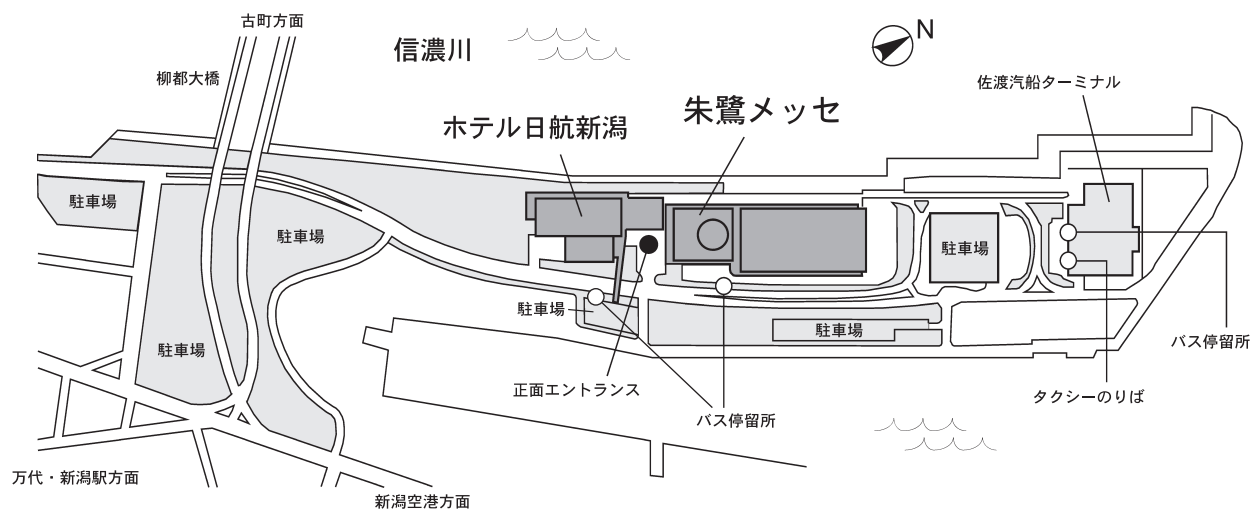
ミキサー会場は朱鷺メッセ3階ホワイエです。ミキサーは大会1日目9月6日（日）18:30から開催します。

各会場の場所・アクセスは5ページから7ページの案内図をご覧ください。

会場への交通経路

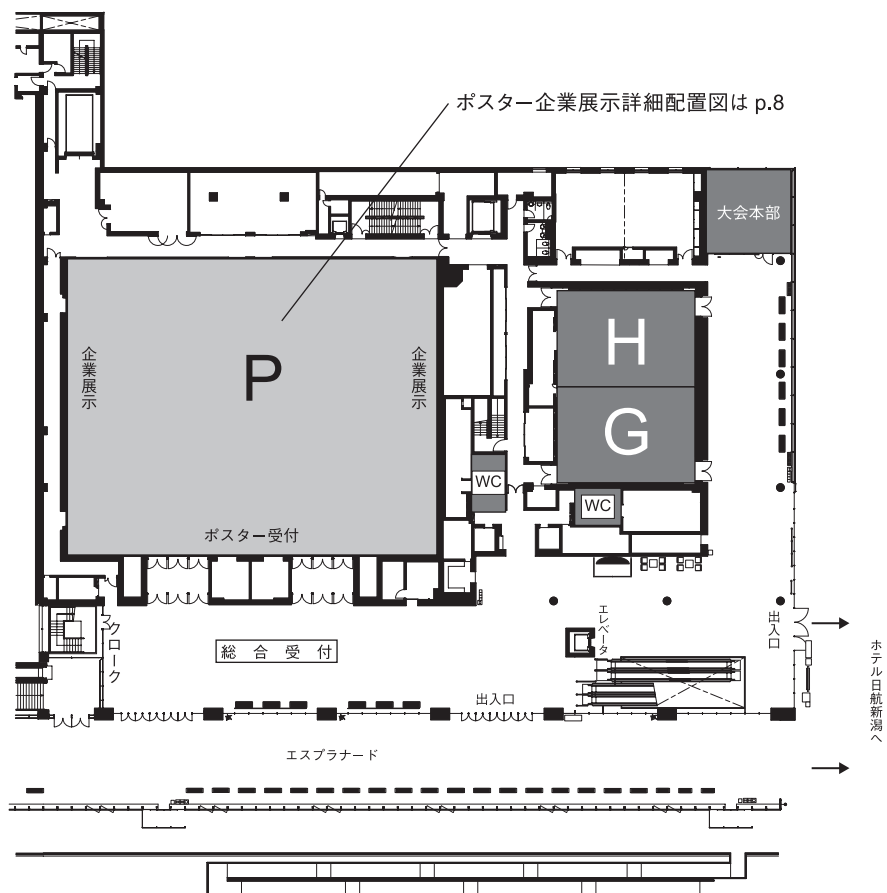


万代島マップ

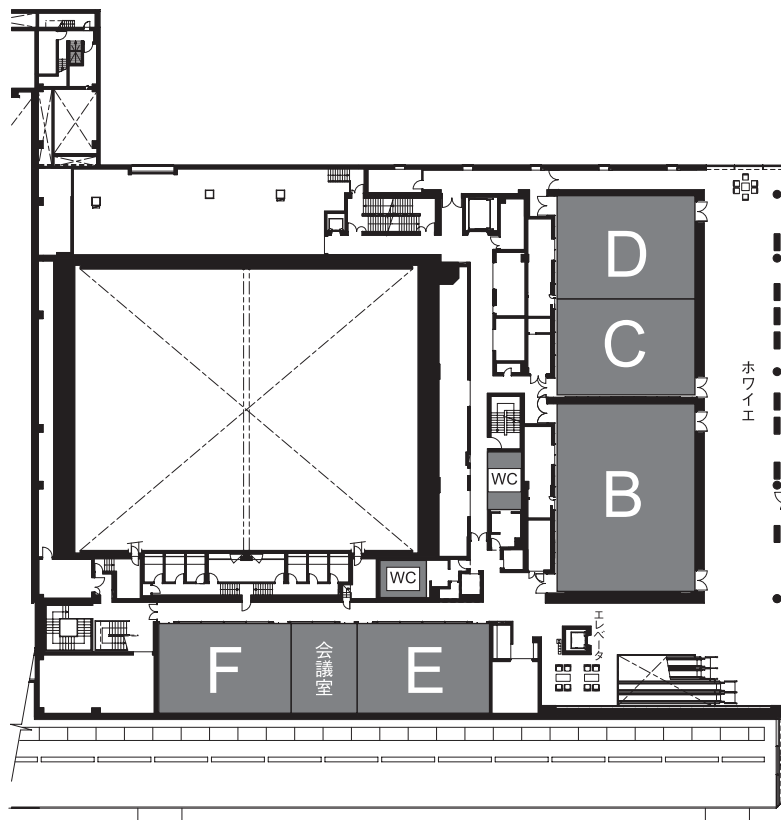


会場配置図

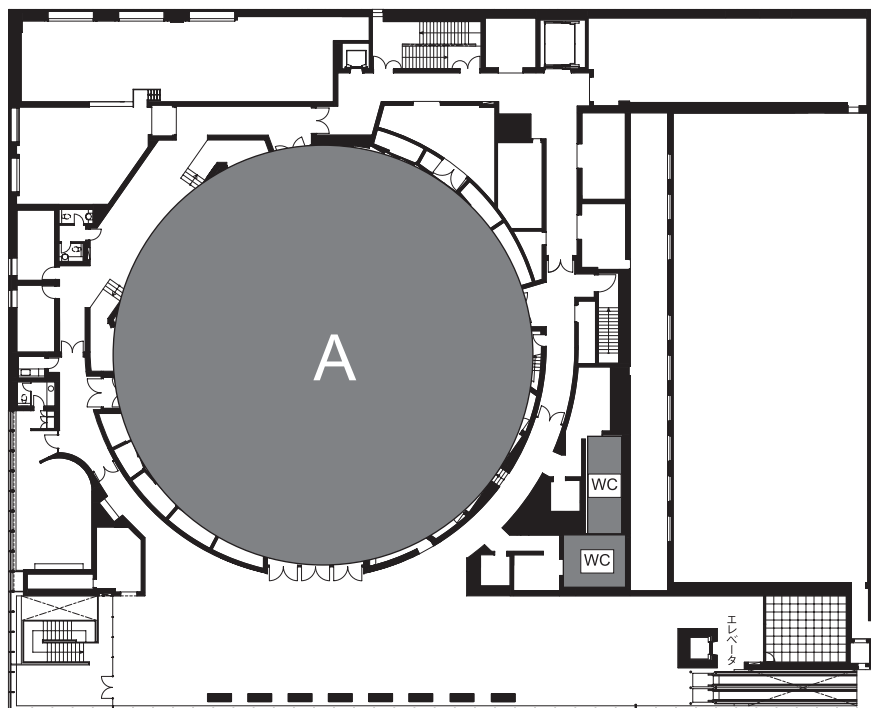
2F



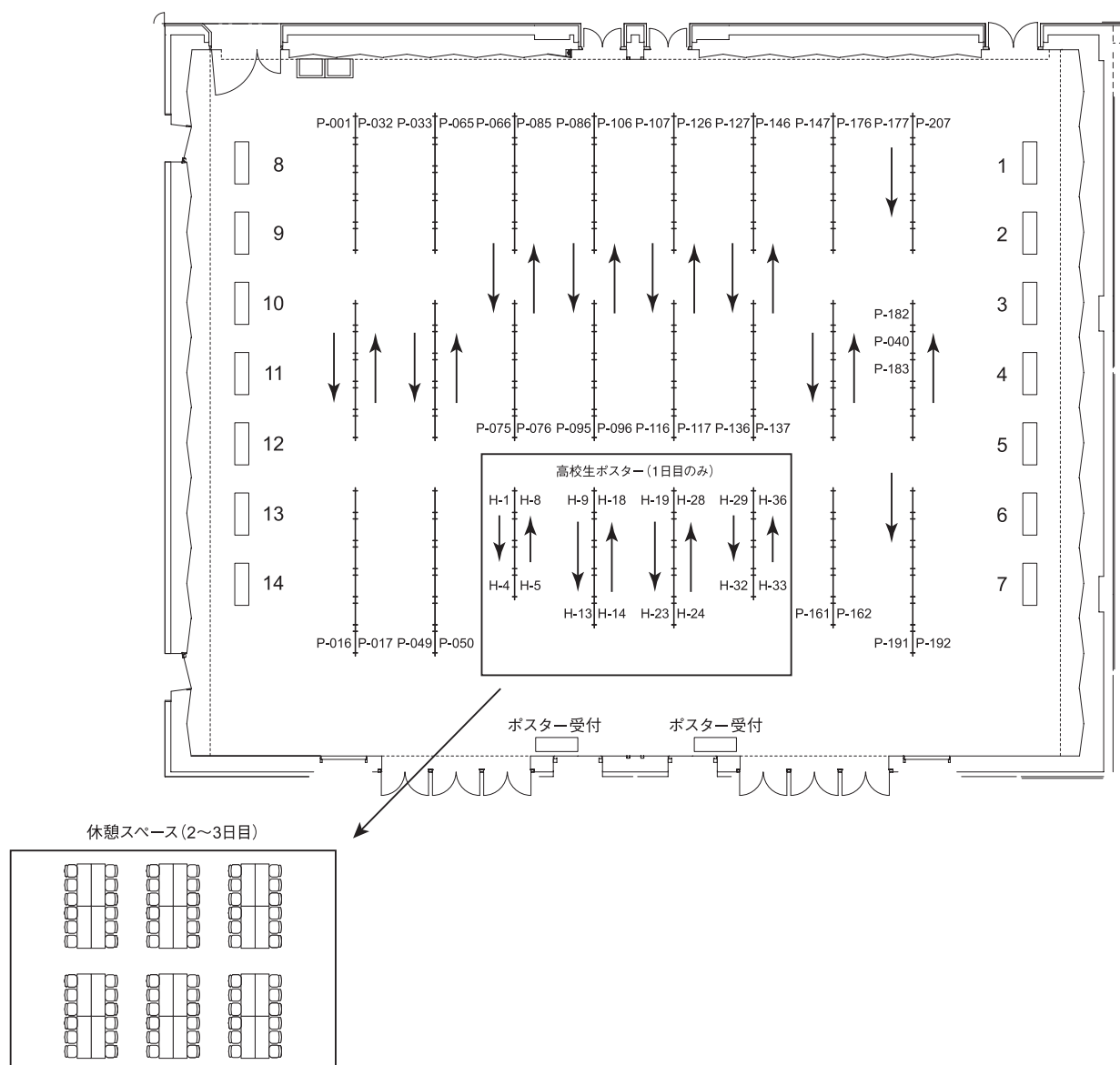
3F



4F



ポスター・企業展示詳細配置図



出展企業・団体一覧

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1 有限会社アチックラボ | 8 ライカマイクロシステムズ株式会社 |
| 2 株式会社日本医化器械製作所 | 9 中立電機株式会社 |
| 3 旭光通商株式会社 | 10 シーシーエス株式会社 |
| 4 ネッパジーン株式会社 | 11 ナモト貿易株式会社 |
| 5 アズサイエンス株式会社 | 12 株式会社日立ハイテクノロジーズ |
| 6 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 IBBP センター | 13 Plant Genome DataBase Japan (PGDBj) |
| 7 シュプリンガー・ジャパン株式会社 | 14 オックスフォード大学出版局株式会社 |

大会に参加される方へ

受付と全般的注意

- (1) 受付は9月6日（日）8時30分から、大会受付（朱鷺メッセ2階）で行います。当日参加、関連集会、年会費納入、学会入会の受付も行います。
- (2) 会場内では必ず名札を着用してください。名札ケースは受付付近に準備しています。
事前参加登録をお済ませの方には、参加証（名札）をお送りしています。
- (3) 大会受付付近に大会専用掲示板を設けます。伝言板としてご利用ください。
- (4) 発表内容に関して、カメラ、ビデオ、携帯電話による撮影、もしくは講演音声の録音等を、発表者に無断で行うことを厳に禁止します。

研究発表

▶ 口頭発表（一般講演）

- (1) 発表時間は、1 演題につき PC の接続時間を含め 15 分です。円滑な進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答を目安にしてください。
- (2) 発表は各会場に備え付けの液晶プロジェクターのみで行います。発表用の PC はご持参ください。大会実行委員会では PC の準備はしておりません。
- (3) PC の操作ならびに接続は演者自身が行ってください。大会実行委員会では、PC ならびにプロジェクターの取り扱いに関するスタッフは配置しておりません。
- (4) 接続はミニ D-sub15 ピンです。Macintosh など特殊な接続アダプターやケーブルが必要な場合は、必ずご持参ください。
- (5) PC に電源を接続しないと、正常にプロジェクターに出力できないケースがあります。この現象は、MacBook Air でよく起こります。またバッテリーが弱っている場合にも起こりえます。円滑な進行のため、電源アダプターとケーブルを各自ご持参ください。
- (6) 試写は発表会場でお願いいたします。各セッションの開始30分前から試写が可能です。事前に、お持ちの PC の動作をご確認下さい。
- (7) 会場内のスクリーンは各会場に備え付けの1枚のみです。複数の機器による同時投影はできません。
- (8) 液晶プロジェクターは、演台（操作卓）に備え付けの2本のケーブルで PC を接続します。次演者は空いている方のケーブルを用い、自身の PC に接続の上、次演者席でお待ちください。外部モニターの認識にリスタートが必要な場合は予めリスタートをしておいてください。前の演者の発表が終了したら、ご自身の PC を演台まで運び、接続されている方のボタンを押してプロジェクターから投影されている映像を切り替えてください。
発表が終了した演者は速やかに PC の接続を外してください。

▶ シンポジウム

- (1) 進行は各オーガナイザーに一任いたします。次の行事予定が入っている会場もありますので、予定時間通りに終了するよう時間配分にご留意ください。
- (2) PC の接続などは、一般講演と同様の要領です。

▶ ポスター発表

- (1) 会場は2階メインホールです。入口のポスター受付でポスター配置表を確認してください。
ポスターは、幅 120 cm × 高さ 180 cm の範囲で作成してください。演題番号（ポスターボード左上 幅 15 cm × 高さ 10 cm）ならびに貼付用のピンは、大会実行委員会では準備します。
- (2) ポスターの貼り付けは、9月6日（日）8時30分から可能です。9月8日（火）の 14:30 ～ 15:00 の間に撤去してください。
- (3) ポスター発表の日時は以下の通りです。
奇数番号：9月7日（月）13:30 ～ 15:00
偶数番号：9月8日（火）13:00 ～ 14:30
- (4) 高校生による研究ポスター発表は9月6日（日）13:00 ～ 14:30 です。この時間帯に発表および質疑応答を行います。高校生研究ポスター発表賞の投票を受け付けますので是非ご参加ください。高校生研究ポスター発表の要旨集に投票用紙を挟み込んでありますので 13:00 ～ 14:20 の間に投票をお願いします。

発表記録電子版

今回の大会では、参加者に発表記録の電子版を提供します。提供するファイルは、EPUB形式（いわゆる電子ブック）で、iOS、Mac、Android、Windowsの電子ブックソフトウェアで利用できます。

(1) 動作確認が出来ているソフトウェア

Mac、iPhone、iPad、iPod：標準装備のiBooks

Android：Moon+ Reader（フリーウェア）、NeoSoar eBook（フリーウェア）

Android 端末用のソフトウェアには様々なものがあり、仕様が統一されていないため、日本語フォントが少しおかしいものや、しおり機能を使えないものがありますので、ご注意下さい。上記ソフトについては、当方で正常に動作することを確認しています。

Windows：Calibre、Adobe Digital Editions（Adobe社製）。

提供する電子ブックファイルは、いずれの機器・ソフトウェアでも共通です。これらのソフトウェアは、いずれも無料でダウンロードすることができます。

(2) 閲覧の方法

Mac の場合

アイコンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルをクリックすると自動的にiBooksで開くことが出来ます。

iPhone、iPod、iPad の場合

アイコンをクリックすると、直接iBooksで開くことが出来ます。

Android 端末の場合

アイコンをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。EPUB用ソフトウェアで開いてください。

Windows の場合

アイコンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルを、あらかじめPCにインストールしてあるEPUB用のソフトウェアで開いてください。関連づけしてあれば、プログラムでEPUBファイルをクリックするだけで、そのまま開くことも出来ます。

電子ブックの通常の機能として、文字サイズの変更、しおりの記憶・呼び出し、検索が出来ます。なお、電子ブックの画面は、上下スクロールしません。通常の本と同じように、ページを右から左に繰ってください。

また、本大会では、発表記録のPDF版も公開する予定ですので、合わせてご利用下さい。

電子ブック正規版とPDF版のダウンロードには、IDとパスワードが必要になります。ダウンロードサイトのURL、ダウンロードに必要なIDは、参加登録者にメールでお知らせします。また、大会当日に会場でもお知らせします。パスワードは、大会参加証に記載されています。

日程

9月5日（土）

時 間	内 容	会 場
12:00 ～ 13:50	JPR 編集委員会	3階小会議室 305
14:00 ～ 17:00	JPR 拡大編集委員会	3階小会議室 305
14:00 ～ 16:30	公開講演会	新潟日報メディアシップ・日報ホール
15:00 ～ 16:30	運営委員会	H 会場
17:00 ～ 20:00	臨時代議員会	H 会場
12:00 ～ 18:00	関連学会 日本植物形態学会	G 会場・ポスター会場

9月6日（日）＜第1日目＞

時 間	内 容	会 場
8:30 ～	受付	2階ホワイエ
9:30 ～ 12:30	一般口頭発表、若手奨励賞受賞講演、シンポジウム	B ～ H会場
12:30 ～ 14:30	ポスター・ビューイング	ポスター会場
13:00 ～ 14:30	高校生研究ポスター発表	ポスター会場
14:30 ～ 18:00	一般口頭発表、奨励賞・若手奨励賞受賞講演、シンポジウム	B ～ H会場
16:00 ～ 16:30	高校生表彰	ポスター会場
18:00 ～ 20:00	関連集会 日本シダ学会・集会	G会場
18:00 ～ 20:00	関連集会 スペース・モス関連集会	H会場
18:30 ～ 20:30	ミキサー	3階ホワイエ

9月7日（月）＜第2日目＞

時 間	内 容	会 場
9:00 ～ 12:30	一般口頭発表、奨励賞受賞講演、シンポジウム	B ～ H会場
12:30 ～ 13:30	男女共同参画ランチョンセミナー	B会場
12:30 ～ 13:30	理研 超解像イメージング ランチョンセミナー	C会場
12:30 ～ 14:00	学会賞選考委員会	3階小会議室305
13:30 ～ 15:00	ポスター発表（奇数）	ポスター会場
15:00 ～ 18:00	授賞式、受賞講演、会員の集い	A会場
18:30 ～ 20:30	懇親会	ホテル日航新潟4階宴会場 朱鷺

9月8日（火）＜第3日目＞

時 間	内 容	会 場
9:00 ～ 12:00	一般口頭発表	C ～ H会場
9:00 ～ 12:00	理事会主催シンポジウム	B会場
12:00 ～ 13:00	拡大広報・電子出版物編集委員会	3階小会議室305
13:00 ～ 14:30	ポスター発表（偶数）	ポスター会場
14:30 ～ 16:30	一般口頭発表	C ～ H会場
16:30 ～ 19:00	大会引継ぎ	3階小会議室305

関連学会集会

植物学会開催中に以下の関連学会集会が開催されます。

(1) 日本植物形態学会第27回総会・大会

9月5日（土） 12:00 ～ 18:00 G会場・ポスター会場

昨年まで関連集会として開催されていた植物形態学会は、今年から、独立した大会として開催されます。

(2) 日本シダ学会・集会

9月6日（日） 18:00 ～ 20:00 G会場

1. 木村 泉美（首都大・理工・生命科学）

「シダ植物特有な光受容体フィトクロム3の生理機能と細胞内局在」

2. 松下 智直（九州大・農・資源生物科学）

「植物の光情報受容体フィトクロムの細胞内シグナル伝達機構の解析」

世話人：村上 哲明（日本シダ学会・代表；首都大・牧野標本館） nmurak@tmu.ac.jp

シダ学会の会員でない方の参加も歓迎します（追加の参加費などは不要です）。野生植物（シダ植物、被子植物）の地理的分布情報と系統情報（分子系統樹）に基づくメタ解析に関心のある皆さん、奮ってご参加ください。

(3) スペース・モス関連集会

9月6日(日) 18:00～20:00 H会場

1. 藤田 知道(北海道大学大学院理学研究院)

「ヒメツリガネゴケのストレス耐性細胞 Brood cell はどのような細胞か」

2. 蒲池 浩之(富山大学大学院理工学研究部)

「過重力環境下におけるヒメツリガネゴケの成長様式」

3. 半場 祐子(京都工芸繊維大学応用生物学部門)

「過重力下におけるヒメツリガネゴケの光合成能力と形態変化」

4. 松田 修(九州大学大学院理学研究院)

「表現型の自動計測手段としての分光画像化技術の可能性」

5. 唐原 一郎(富山大学大学院理工学研究部)

「宇宙におけるシロイヌナズナの生活環」

6. 久米 篤(九州大学大学院農学研究科)

「何故、宇宙でコケなのか？」

世話人: 藤田 知道(北海道大学大学院理学研究院) tfujita@sci.hokudai.ac.jp

興味ある方の自由な参加を歓迎いたします。

男女共同参画ランチョンセミナー

(公益社団法人日本植物学会・男女共同参画委員会主催)

「研究と育児を両立する若手研究者を雇用する PI の意識改革は必要か ～「イクボス」ってご存知ですか？」

9月7日(月) 12:30～13:30 B会場

会場に150名分の昼食(弁当・飲料)をご用意します。参加ご希望の方は、セミナー当日の午前8時30分から総合受付で配布する整理券をお受け取り下さい。整理券を発行する際に、参加証が必要ですのでご注意ください。セミナー開始前に「男女共同参画」と印字された整理券と引き替えに昼食をお渡しします。昼食の配布は、150名分に限りさせていただきますが、整理券をお持ちでない方もセミナーには参加していただけます。

内容: これまでの男女共同参画委員会からの情報提示は、研究と育児の両立当事者である若手研究者を対象としたものが多かった。しかし、共働き世帯の増加と社会の高齢化により、今後ますます研究と育児、及び、研究と介護の両立当事者が増加していくだろう。従って、両立当事者を雇用する管理職には、両立当事者の意思を尊重し、やる気を維持できるよう、所属する組織の労働環境を変えていく「イクボス」としての意識改革が求められる。

本ランチョンセミナーでは、「イクボス」と「両立当事者」のパネルディスカッションから、両立を目指す研究者にとって望ましい研究環境をいかに形成していくかについて共に考えたい。

日本植物学会会長挨拶 戸部 博(京都大学名誉教授)

日本植物学会における男女共同参画の現状 永田 典子(日本女子大学理学部教授)

講演: 「イクボス」という概念の登場と社会的必要性

今泉(安楽) 温子(農業生物資源研究所主任研究員)

パネルディスカッション: 「イクボス」と考える両立研究者を活かす研究支援体制

福田 裕穂(東京大学大学院理学系研究科教授)

木下 俊則(名古屋大学大学院理学研究科教授)

永田 典子(日本女子大学理学部教授)

吉田 聡子(理化学研究所環境資源科学研究センター上級研究員)

司会: 今泉(安楽) 温子(農業生物資源研究所主任研究員)

ランチョンセミナー

大会期間中に、以下のランチョンセミナーを開催します。会場に100名分の昼食(弁当・飲料)をご用意します。参加ご希望の方は、セミナー当日の午前8時30分から総合受付で配布する整理券をお受け取り下さい。整理券を発行する際に、参加証が必要ですのでご注意ください。セミナー開始前に整理券と引き替えに昼食をお渡しします。昼食の配布は、100名分に限りさせていただきますが、整理券をお持ちでない方もセミナーには参加していただけます。

9月7日（月） 12:30～13:30 C会場

「超解像ライブイメージングが切り拓く新たな地平」

理研チームリーダー 中野 明彦

ライブイメージングは現代生物科学に欠かせない方法論となり、その威力は植物科学分野でも十分に認識されるに至っている。また、かつては顕微鏡の分解能を規定すると考えられていた回折限界を超える方法論が次々に開発され、昨年のノーベル化学賞の受賞対象になったことも記憶に新しい。私たちのチームでは、高速性に優れるスピニングディスク共焦点スキャナと超高感度のカメラシステムを組み合わせ、さらに計測の精度を生かした数学的画像処理を行うことにより、回折限界を遥かに超えた超解像を達成し、また時間分解能もきわめて高い超解像共焦点ライブイメージング顕微鏡システム（SCLIM: Super-resolution Confocal Live Imaging Microscopy）を開発してきた。これまで、酵母と植物を材料にして細胞内膜交通の SCLIM 観察を行い、ゴルジ体の槽成熟の証明、ゴルジ体の hug & kiss による小胞体からの積み荷の受け取り、植物細胞における小胞体出口とシスゴルジの親密な関係、植物のトランスゴルジ網のダイナミックな挙動など、従来の顕微鏡技術では想像できなかった現象を次々に明らかにしている。このたび、本顕微鏡システムを広く普及すべく事業化に着手し、さまざまな応用を視野に入れた商品化を目指すことになった。その計画について紹介したい。

公開講演会

以下の内容で大会前日に公開講演会を開催します。開催場所は、大会会場の朱鷺メッセとは異なりますが、大会参加者の方々も自由に参加できます。詳しくは公開講演会のページをご覧ください。

「佐渡島の自然環境と植物」

日時：平成27年9月5日（土） 14:00～16:30

会場：新潟日報メディアシップ2階 日報ホール（会場への交通案内のページをご覧ください）

主催：公益社団法人日本植物学会

後援：新潟大学、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、佐渡市教育委員会

クローク

クロークは2階ホワイエ総合受付横に設置しています。クロークの利用時間は以下の通りです。

9月6日（日） 8:30～18:30 / 9月7日（月） 8:30～18:30 / 9月8日（火） 8:15～17:00

インターネット

会場内と会議場前ホワイエでは、朱鷺メッセ会議場利用者向け無線 LAN がご利用可能です。パスワードなどの接続に必要な情報は、大会参加証に記載されています。また、大会会場内でもお知らせします。2階アトリウムとエスプラナードでは公衆無線 LAN（NTT ドコモ：docomo Wi-Fi、および、NTT 東日本：FLET'S SPOT）がご利用可能です（ご利用にあたっては NTT ドコモ、NTT 東日本へのご契約が必要となります）。

食堂・売店等

会場の朱鷺メッセ周辺には飲食店が少なく、座席数にも限りがありますので、会期中はお弁当（お茶付）の販売を行います。当日の朝、2階ホワイエの弁当受付でお申込み下さい。代金は先払いです。弁当は昼に2階ホワイエにて引換券と交換いたします。詳細については、大会ホームページ、および、総合受付にてご案内いたします。会場内での飲食は可能ですが、弁当がら等のゴミは指定された場所にお捨て下さい。朱鷺メッセ周辺の飲食施設につきましては朱鷺メッセホームページをご覧ください。

休憩コーナー

大会期間中、参加者の皆様の情報交換、および、リフレッシュのために休憩コーナーを設けています。休憩コーナーは、3階ホワイエ、および、ポスター会場（2日目以降）にあります。どうぞご利用下さい。休憩コーナー以外でも、朱鷺メッセ内ホワイエやエスプラナード、アトリウムのベンチなども休憩にご利用できます。

ミキサー

9月6日（日）18:30～20:30に、3階ホワイエでミキサーを開催します。一人につき、ビールまたはソフトドリンク1杯分（ビールなどには限りがあります）と、新潟自慢のおつまみや日本酒なども無料で提供いたします。その他、有料地ビールなども準備する予定です。多数の皆さんのお越しをお待ちいたします。

懇親会

懇親会は9月7日（月）18:30から大会会場隣のホテル日航新潟4階宴会場『朱鷺』で開催します。メニューには、新潟らしい食材を使った料理が提供され、また、新潟の90酒蔵の日本酒が並びます。事前に申し込まれていない方も当日参加を受け付けますので、ご希望の方は大会総合受付にて、当日の午前中までにお申し込みください。

託児室

託児室は、事前に申し込まれた方のみを対象としています。詳細は、申し込まれた方に直接お知らせします。託児室に関するお問い合わせにつきましては、大会事務局までお願いいたします。

高校生研究ポスター発表

高校生による研究ポスター発表、および、高校生研究ポスター発表表彰式を、以下の通り行います。次世代の植物科学者になる高校生の活発な発表にも是非足をお運びいただき、積極的にご質問・アドバイスをいただけるようお願いいたします。

高校生研究ポスター発表

9月6日（日）13:00～14:30 ポスター会場

高校生研究ポスター発表 表彰式

9月6日（日）16:00～16:30 ポスター会場

その他

新潟市内案内

新潟市内の見どころ、名産品等の情報は、下記ホームページをご覧ください。

新潟市観光情報サイト：Welcome to Niigata City <http://www.nvcb.or.jp>

新潟県観光情報サイト：にいがた観光ナビ <http://www.niigata-kankou.or.jp>

ショートエクスカッションガイド：にいがたフィールド <http://excursion.pref.niigata.jp/>

大会についての問い合わせ先、事務局

▶ 9月4日（金）まで

<大会・プログラム等に関するお問い合わせ>

日本植物学会第79回大会 事務局

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学理学部生物学科内

E-mail: bsj2015@bio.sc.niigata-u.ac.jp

<オンライン登録システム、参加費のお支払等に関するお問い合わせ>

日本植物学会第79回大会 サポートデスク

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷 学会フォーラム内 担当：森川

E-mail: bsj2015_support@nacos.com

▶ 9月5日（土）～8日（火）までの4日間

日本植物学会第79回大会本部

朱鷺メッセ2階小会議室202

E-mail: bsj2015@bio.sc.niigata-u.ac.jp

プログラム

Program

日程表 —— 第1日目 9/6 (Sun)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	国際 会議室												
B	中会議室 301		シンポジウム 複合適応形質の進化					シンポジウム 細胞機能の変容と循環を視る ～可逆性と不可逆性から探る 細胞分化の本質～					
C	中会議室 302B		シンポジウム 花から種子へー稔りを 巡る研究の新展開					受賞 講演	シンポジウム 自然変異に学ぶ：多様性の理 解から育種への応用まで				
D	中会議室 302A		口頭発表	休		受賞 講演		受賞 講演	シンポジウム 形態学と生理学の融合に向けて ー植物の「形」と「現象」の狭 間を埋める研究の最前線ー				
E	小会議室 303-304		口頭発表	休				口頭発表	休				
			環境応答					成長生理／発生・生長・形態形成					
F	小会議室 306-307		口頭発表	休				口頭発表	休				
			代謝・物質生産・メタボロー ム・バイオエネルギー					代謝・物質生産・メタボロー ム・バイオエネルギー／分類・系統・ 進化					
G	中会議室 201B		シンポジウム 植物の環境認識と自律分 散型情報統御システム					シンポジウム Diverse physiological functions of plant non-coding RNA			関連集会 日本シダ学会		
H	中会議室 201A		シンポジウム 根系の構築 ー多様な構造と働きー					シンポジウム これからの光合成研究：ロー カルミニマムからの解放を目 指して			関連集会 スペース・モス 関連集会		
P	メイン ホール					ポスター ポスタービュー 高校生 ポスター発表			高校生 表彰式				
3階ホワイエ												ミキサー	
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

日程表 —— 第2日目 9/7 (Mon)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
A	国際 会議室								学会賞／会員の集い					
									授賞式	学術賞・ 大賞 受賞講演	会員の集い			
B	中会議室 301	シンポジウム				ランチョン セミナー								
		ポストゲノム時代の植物 進化研究				男女共同 参画								
C	中会議室 302B	シンポジウム				ランチョン セミナー								
		環境に応じた植物の形づくり を支える仕組み				理研 超解像 イメージング								
D	中会議室 302A	シンポジウム												
		"Fusion" in Fertilization: Interdisciplinary Collaboration among Plant and Animal Scientists												
E	小会議室 303-304	口頭発表		休										
		環境応答												
F	小会議室 306-307	口頭発表		休										
		細胞増殖・細胞分化												
G	中会議室 201B	口頭発表		休	受賞講演									
		分類・系統・進化												
H	中会議室 201A	口頭発表		休	受賞講演									
		発生・生長・形態形成												
P	メイン ホール							ポスター						
								ポスター発表 (奇数番号)						
ホテル日航新潟 4階宴会場 朱鷺													懇親会	
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	

日程表 —— 第3日目 9/8 (Tue)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	国際 会議室												
B	中会議室 301	理事会シンポジウム 社会から望まれる理学博士!? —意外にあるキャリアパス											
C	中会議室 302B	口頭発表 生殖	休					口頭発表 光合成					
D	中会議室 302A	口頭発表 細胞骨格・運動／細胞壁	休					口頭発表 細胞壁					
E	小会議室 303-304	口頭発表 植物微生物相互作用	休					口頭発表 生態・生理生態・ 種生態・群落保全					
F	小会議室 306-307	口頭発表 生体膜／細胞内小器官	休					口頭発表 細胞内小器官					
G	中会議室 201B	口頭発表 分類・系統・進化	休					口頭発表 分類・系統・進化					
H	中会議室 201A	口頭発表 発生・生長・形態形成	休					口頭発表 発生・生長・形態 形成					
P	メイン ホール						ポスター ポスター発表 (偶数番号)						
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

学会賞授賞式 および 受賞講演

9月7日（月） 15:00～18:00 A会場

15:00～15:30	授賞式
15:30～15:50	受賞研究内容紹介
15:50～16:20	学術賞受賞講演 池内 昌彦「シアノバクテリアの新規光受容体の発見と光合成関連機能の調節」
16:20～16:50	大賞受賞講演 杉浦 昌弘「葉緑体ゲノムの構造と発現の分子機構」
16:50～17:00	集合写真撮影
17:10～18:00	会員の集い

●大 賞

9/7 16:20-16:50 A会場 座長：篠崎 一雄（理研）

杉浦 昌弘（名古屋大学）

葉緑体ゲノムの構造と発現の分子機構

●学 術 賞

9/7 15:50-16:20 A会場 座長：園池 公毅（早稲田大）

池内 昌彦（東大・院・総合文化）

シアノバクテリアの新規光受容体の発見と光合成関連機能の調節

●奨 励 賞 1pD-AL1

9/6 14:30-15:00 D会場 座長：荒木 崇（京大）

遠藤 求（京都大学 大学院生命科学研究科 分子代謝制御学／JST・さきがけ）

植物における環境応答の組織特異性

●奨 励 賞 2aG-AL1

9/7 12:00-12:30 G会場 座長：高宮 正之（熊本大）

海老原 淳（国立科博・植物）

日本の地の利を活かしたシダ植物の多様性研究～特に配偶体と網状進化に着目して～

●奨 励 賞 2aH-AL1

9/7 12:00-12:30 H会場 座長：福田 裕穂（東京大）

小田 祥久（国立遺伝研・新分野／総研大・遺伝）

二次細胞壁パターンを創り出す空間シグナルの研究

● 若手奨励賞 1aD-AL1

9/6 12:00-12:30 D会場 座長：今市 涼子（日女大）

池内 桃子（理研CSRS）

植物細胞の分化可塑性およびその抑制機構

● 若手奨励賞 1pC-AL1

9/6 14:30-15:00 C会場 座長：角川 洋子（首都大）

柿嶋 聡（静岡大・創造院）

種間交雑現象による植物の多様化に関する進化生態学的研究

特 別 賞

● 技 術

理研・産総研植物転写因子コンソーシアム

代表者：光田 展隆（産業技術総合研究所）

シロイヌナズナにおける転写因子リソースの開発

● 教 育

若菜 勇（釧路市教育委員会生涯学習部阿寒生涯学習課）

淡水緑藻マリモを活用した科学教育プログラムの構築・実践と保全活動への展開

2015 年度 JPR 論文賞

[Best Paper Award]

Masakazu Tomiyama, Shin-ichiro Inoue, Tomo Tsuzuki, Midori Soda, Sayuri Morimoto, Yukiko Okigaki, Takaya Ohishi, Nobuyoshi Mochizuki, Koji Takahashi and Toshinori Kinoshita (2014) Mg-chelatase I subunit 1 and Mg-protoporphyrin IX methyltransferase affect the stomatal aperture in *Arabidopsis thaliana*. J. Plant Res. 127: 553–563.

[Best Paper Award]

Suzana Pampurova, Katrien Verschooten, Nelson Avonce and Patrick Van Dijck (2014) Functional screening of a cDNA library from the desiccation-tolerant plant *Selaginella lepidophylla* in yeast mutants identifies trehalose biosynthesis genes of plant and microbial origin. J. Plant Res. 127: 803–813.

[Most Cited Paper Award]

Masayuki Muramatsu and Yukako Hihara (2012) Acclimation to high-light conditions in cyanobacteria: from gene expression to physiological responses. J. Plant Res. 125: 11–39.

9/6 9:30-12:30

B会場

複合適応形質の進化

●オーガナイザー

長谷部 光泰（基礎生物学研究所／総研大）

川口 正代司（基礎生物学研究所／総研大）

自然選択理論，中立理論を始めとする既存の進化理論がいまだ取り込むことに成功していない問題がある．完成した状態では適応的だが，完成するまでの途中段階では適応的でなく，かえって生存に不利になってしまうような形質，すなわち複合適応形質である．本シンポジウムでは，複合適応形質がどのように進化したのかを8名の演者に講演いただき，それらを総括して，複合適応形質進化の一般性を探ることを目的とする．

9:30-9:35		はじめに 長谷部光泰 ^{1,2} （ ¹ 基生研， ² 総研大）
9:35-9:55	1aSB01	アーバスキュラー菌根共生系から根粒共生系への進化 川口正代司 ^{1,2} （ ¹ 基生研， ² 総研大）
9:55-10:15	1aSB02	ツツジ科植物の比較解析から見えてきた菌従属栄養植物の適応進化と無葉緑化 上中弘典 ¹ ，山口勝司 ² ，井田喜子 ¹ ，三柴啓一郎 ³ ，岩瀬剛二 ⁴ ，西村幹夫 ² ，重信秀治 ² ， 真野昌二 ² （ ¹ 鳥取大・農， ² 基生研， ³ 大阪府大院・生命環境科学， ⁴ 帝京科学大・生命環境）
10:15-10:35	1aSB03	ウミウシの盗葉緑体現象：遺伝子を伴わない葉緑体の水平伝搬 前田太郎（基生研・共生システム）
10:35-10:55	1aSB04	サンゴに共生する渦鞭毛藻類の比較ゲノミクス 將口栄一（沖縄科学技術大・院・マリンゲノミックス）
10:55-11:15	1aSB05	ハマウツボ科寄生植物の寄生形質獲得と適応進化 吉田聡子 ¹ ，Thomas Spallek ¹ ，市橋泰範 ¹ ，Songkui Cui ¹ ，若竹崇雅 ^{1,2} ，Juliane Ishida ¹ ，白須賢 ^{1,2} （ ¹ 理研・CSRS， ² 東大院・理）
11:15-11:35	1aSB06	ミヤコグサの開花時期の種内多型をもたらす遺伝的背景 瀬戸口浩彰，若林智美（京都大学大学院人間・環境学研究科）
11:35-11:55	1aSB07	キスゲ属のハマカンゾウとキスゲにおける花形質進化の遺伝子基盤 新田梢 ^{1,2} （ ¹ 横国大・男女共同参画センター， ² 東大・総合文化）
11:55-12:15	1aSB08	食虫植物の進化 長谷部光泰 ^{1,2} （ ¹ 基生研， ² 総研大）
12:15-12:30		総合討論

花から種子へ

—稔りを巡る研究の新展開

●オーガナイザー

丸山 大輔 (名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM))

角井 宏行 (Institute of Evolutionary Biology and Environmental Studies, University of Zurich)

被子植物の生殖は、種の維持に必須であるばかりでなく、穀類や果実の生産の基盤となる現象という側面においても重要な研究分野である。近年、バイオインフォマティクスやライブイメージングの発展を受け、この研究分野でも、性決定、配偶体形成、重複受精などの多様なテーマで発見が相次いでいる。本シンポジウムではその一部を若手研究者の成果という形で紹介する。これらを通じて、生殖分野の魅力や今後の展開について議論を深めたい。

9:30-9:35		はじめに
9:35-10:00	1aSC01	「柿」で見つかった性決定因子が示す可能性 赤木剛士 (京都大学 農学研究科 果樹園芸学研究室)
10:00-10:20	1aSC02	GWAS による花粉数を制御する遺伝子の同定と解析 角井宏行 ¹ , 土松隆志 ^{1,2} , 山崎美紗子 ¹ , Cindy Marona ³ , Dazhe Meng ^{2,4} , 金岡雅浩 ⁵ , Thomas Stadler ⁶ , Michael Lenhard ³ , Magnus Nordborg ^{2,4} , 清水健太郎 ¹ (¹ University of Zurich, ² Gregor Mendel Inst., ³ Univ. Potsdam, ⁴ Univ. Southern California, ⁵ Nagoya Univ., ⁶ ETH Zurich)
10:20-10:40	1aSC03	一本の花粉管が一つの胚珠にたどりつくには? ～深部イメージングで探る花粉管ガイダンスの謎～ 水多陽子 ^{1,2} , 栗原大輔 ^{1,2} , 東山哲也 ^{1,2,3} (¹ 名古屋大学大学院理学研究科, ² JST・ERATO東 山ライブホロニクス, ³ WPI-ITbM)
10:40-11:05	1aSC04	雄と雌の配偶子膜間にある分子機構 森稔幸 (東大・院・理・生物科学)
11:05-11:30	1aSC05	配偶子核を引き寄せあうシステムの解析 河島友和 ^{1,3} , 丸山大輔 ^{2,3} , Yusuke Toyama ² , Frédéric Berger ^{1,3} (¹ Gregor Mendel Institute, ² 名 大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, ³ Temasek Life Sciences Laboratory)
11:30-11:55	1aSC06	新奇の植物細胞融合による花粉管誘引停止機構の発見 丸山大輔 ¹ , Ronny Völz ² , 武内秀憲 ³ , 森稔幸 ⁴ , 河島友和 ⁵ , Rita Gross Hardt ⁶ , 東山哲也 ^{1,3,7} (¹ 名大・WPI-ITbM, ² King Abdullah Univ. of Sci. and Tech., Saudi Arabia, ³ 名大・JST ERATO・ 東山ライブホロニクスプロジェクト, ⁴ 東大・院・理, ⁵ Gregor Mendel Inst., ⁶ Univ. of Bremen, Germany, ⁷ 名大・院・理)
11:55-12:00		総合討論

9/6 9:30-12:10

G 会場

植物の環境認識と自律分散型情報統御システム

●オーガナイザー

木下 俊則（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所（WPI-ITbM））

多田 安臣（名古屋大・遺伝子）

植物は、環境ストレスに対して個々の器官で自律的に応答しつつ、同時にその情報を長距離伝達することで統合的に処理・記憶し、個体として持続的な成長を可能にしている。こうした植物のダイナミックな環境認識と記憶のしくみを支える時空間的なシグナル伝達機構の解明は喫緊の課題である。本シンポジウムでは、多様な技術的背景に基づき得られた最新成果を紹介し、植物における環境情報の自律分散型統御システムについて議論する。

9:30-10:00	1aSG01	環境刺激による気孔開度制御機構の解明に向けて <u>木下俊則</u> （名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所（WPI-ITbM））
10:00-10:30	1aSG02	植物の細胞記憶を制御するエピジェネティクス機構 <u>玉田洋介</u> ^{1,2} , 程朝陽 ^{1,3} , 西山智明 ^{3,4} , 壁谷幸子 ¹ , 日渡祐二 ^{1,2} , 久保稔 ³ , 倉田哲也 ^{3,5} , 長谷部光泰 ^{1,2,3} （ ¹ 基生研・生物進化, ² 総研大・生命科学, ³ ERATO, JST, ⁴ 金沢大・学際科学実験センター, ⁵ 奈良先端大・バイオ）
10:30-11:00	1aSG03	転写制御ダイナミクスの比較解析 - 葉の発生の種間変異を例に <u>市橋泰範</u> ¹ , 福島敦史 ¹ , Daniel Chitwood ² , Lauren Headland ³ , Jason Kao ³ , Jie Peng ³ , 白須賢 ¹ , Neelima Sinha ³ （ ¹ 国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター, ² ドナルド・ダンフォース植物科学センター, ³ カリフォルニア大学デービス校）
11:00-11:30	1aSG04	深部観察で Whole plant imaging を目指す 栗原大輔 ^{1,2} , 水多陽子 ^{1,2} , 佐藤良勝 ³ , 東山哲也 ^{1,2,3} （ ¹ 名大・院・理, ² JST・ERATO, ³ 名大・WPI-ITbM）
11:30-12:00	1aSG05	植物免疫系が制御するグローバルネットワークの解析 野元美佳 ¹ , 塚越啓央 ^{2,3} , 森毅 ¹ , 鈴木孝征 ⁴ , Michael Skelly ⁶ , 岡和 ¹ , 松下智直 ⁷ , 時澤睦朋 ⁸ , 山本義治 ⁸ , 東山哲也 ^{1,5,9} , Steven Spoel ⁶ , <u>多田安臣</u> ^{1,2} （ ¹ 名大・院・生命理学, ² 名大・遺伝子, ³ JST さきがけ, ⁴ 中部大・応用生物, ⁵ JST ERATO, ⁶ Univ. Edinburgh, Sch. Biol. Sci., ⁷ 九大・農, ⁸ 岐阜大・応用生物, ⁹ WPI-ITbM）
12:00-12:10		総合討論

根系の構築

—多様な構造と働き—

●オーガナイザー

郷 達明（神戸大・院・理）

寿崎 拓哉（基生研・共生システム／総研大・生命科学／筑波大・生命環境）

植物の根は、植物体の支持、水分や栄養の効率的な吸収と輸送などの機能を担うために、環境に適した根系を構築している。本シンポジウムでは、根系の構築を支える分裂組織のサイズ制御、カスパリー線形成、側根発生、根粒および寄生植物の吸器の形成、そして、根系全体の形状制御について若手研究者による先端的研究を紹介し、包括的に根系構築の理解を深めるとともに、根系改良への可能性を探っていく。

9:30-9:35		はじめに
9:35-10:00	1aSH01	根端分裂組織のサイズ制御機構 高橋直紀 ¹ ，丸池加奈子 ¹ ，高塚大知 ¹ ，梅田正明 ^{1,2} （ ¹ 奈良先端大・バイオ， ² JST・CREST）
10:00-10:25	1aSH02	カスパリー線の機能と形成機構 神谷岳洋 ¹ ，Monica Borghi ² ，John M. Danku ² ，Sadaf Naseer ³ ，藤原徹 ¹ ，Niko Geldner ³ ，David E. Salt ² （ ¹ 東大院・農， ² Univ. Aberdeen， ³ Univ. Lausanne）
10:25-10:50	1aSH03	側根発生の制御機構 郷達明 ^{1,2} ，深城英弘 ¹ ，Malcolm J. Bennett ² （ ¹ 神戸大・院・理， ² CPIB, Univ. of Nottingham）
10:50-11:00		休憩
11:00-11:25	1aSH04	窒素環境に応答した根粒発生の負の制御系 寿崎拓哉 ^{1,2,3} ，西田帆那 ^{1,2} ，川口正代司 ^{1,2} （ ¹ 基生研・共生システム， ² 総研大・生命科学， ³ 筑波大・生命環境）
11:25-11:50	1aSH05	寄生植物の吸器形成機構とその機能 若竹崇雅 ^{1,2} ，Thomas Spallek ² ，Simon Saucet ² ，吉田聡子 ² ，白須賢 ^{1,2} （ ¹ 東大・院・理， ² 理研 CSRS）
11:50-12:15	1aSH06	深根性遺伝子を活用したイネの耐乾性および収量性の遺伝的改良 宇賀優作（農業生物資源研究所）
12:15-12:25		終わりに

9/6 14:30-17:30

B会場

細胞機能の変容と循環を視る

～可逆性と不可逆性から探る細胞分化の本質～

● オーガナイザー

小田 祥久（国立遺伝学研究所）

植物の体細胞は高い分化多能性を持ち、発生および環境応答における植物の柔軟な振る舞いを可能にしている。一方、維管束組織においてみられるように、ある種の細胞は劇的な細胞内構造の変化を伴い、不可逆的な細胞機能の変容を遂げる。本シンポジウムではこのような細胞の可逆的、不可逆的な振る舞いの双方に焦点を当て、細胞分化の本質を議論する。演者には細胞生物学と発生生物学で活躍する若手研究者を交え、それぞれの分野を超えた議論展開を試みる。

14:30-14:50	1pSB01	木部道管への片道切符：細胞壁の不可逆的な機能転換 <u>小田祥久</u> ¹ ，長島慶宜 ^{1,2} ，杉山友希 ^{1,2} ，佐々木武馬 ¹ ，福田裕穂 ² （ ¹ 国立遺伝研・新分野， ² 東京大・院理・生物科学）
14:50-15:20	1pSB02	篩部要素分化におけるオルガネラ消失のダイナミクス <u>古田かおり</u> ¹ ，宮島俊介 ¹ ，中島敬二 ¹ ，Ykä Helariutta ^{2,3} （ ¹ 奈良先端大・バイオ， ² The Sainsbury Laboratory, University of Cambridge， ³ University of Helsinki）
15:20-15:50	1pSB03	シロイヌナズナ受精卵のイメージングとケミカルスクリーニング ：細胞極性と不等分裂を制御する仕組みとは？ <u>植田美那子</u> ^{1,2} ，木全祐資 ² ，栗原大輔 ^{2,3} ，山田朋美 ¹ ，南保正和 ¹ ，大川（西脇）妙子 ^{1,4} ，桑田啓子 ¹ ，梅田正明 ^{5,6} ，東山哲也 ^{1,2,3} （ ¹ 名古屋大・WPI-ITbM， ² 名古屋大・院・理， ³ 名古屋大・JST・ERATO， ⁴ 名古屋大・院・農， ⁵ 奈良先端大・バイオ， ⁶ JST・CREST）
15:50-16:20	1pSB04	コケ植物にみられるニッチ戦略のための細胞分化 野村俊尚 ¹ ，若崎真由美 ¹ ，上原由紀子 ¹ ，吉田拓広 ¹ ，小嶋美紀子 ¹ ，豊岡公德 ¹ ，持田恵一 ¹ ，櫻井哲也 ¹ ，馳澤盛一郎 ² ，榊原均 ^{1,3} （ ¹ 理研・CSRS， ² 東京大・院・新領域， ³ 名古屋大・院・生命農）
16:20-16:50	1pSB05	分化した植物細胞はどこまで可塑性を発揮できるのか？ <u>岩瀬哲</u> ，池内桃子，杉本慶子（理化学研究所 環境資源科学研究センター 細胞機能研究チーム）
16:50-17:20	1pSB06	1 細胞遺伝子発現解析で探る植物細胞分化とリプログラミング <u>久保稔</u> （奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 ヒューマノフィリック事業）
17:20-17:30		総合討論

自然変異に学ぶ

：多様性の理解から育種への応用まで

共催：JST・CREST「将来の地球環境において最適な光合成・物質生産システムを持った強化植物の創出」
 （代表：彦坂幸毅）

● オーガナイザー

小口 理一（東北大・生命）

森長 真一（日大・生物資源）

彦坂 幸毅（東北大・生命）

交配可能な生物間にみられる形質には、大小様々な自然変異が存在する。対象とする形質以外の形質が異なりすぎないため、形質の生態学的・農学的意義の評価を行いやすく、進化学的には種分化において選択を受けた過程についての重要な情報を得ることが期待できる。さらに、交配可能であるため、形質を司る遺伝子に落としやすいという利点もある。本シンポジウムを通じて、異なる研究目的を持ち異なる植物を用いる研究者が集まることにより、研究目的や手法を補い合うような効果が生まれることを期待したい。

15:00-15:05		はじめに
15:05-15:30	1pSC01	生態系機能に波及するブナの地理変異 旦浦勉（北大・苫小牧研究林）
15:30-15:55	1pSC02	ゲノムワイド解析に基づくハワイフトモモの環境適応における遺伝的基盤の解明 伊津野彩子 ¹ ，北山兼弘 ¹ ，小野田雄介 ¹ ，辻井悠希 ¹ ，永野惇 ^{2,3,4} ，本庄三恵 ⁴ ，工藤洋 ⁴ ，井鷲裕司 ¹ （ ¹ 京大・院・農， ² 龍谷大・農， ³ JST・さきがけ， ⁴ 京大・生態研センター）
15:55-16:20	1pSC03	シロイヌナズナ属野生種におけるゲノム解析を用いた適応遺伝子探索 久保田涉誠 ^{1,2} （ ¹ 日大・生物資源， ² 東大・総合文化）
16:20-16:30		休憩
16:30-16:55	1pSC04	シロイヌナズナの成長に関する形質と生育 CO ₂ 濃度，由来地環境の関係 尾崎洋史 ¹ ，小口理一 ¹ ，彦坂幸毅 ^{1,2} （ ¹ 東北大・院・生命， ² JST・CREST）
16:55-17:20	1pSC05	圃場試験とゲノム解析からダイコン野生系統の有用形質の変異を読み解く 石塚航（道総研）
17:20-17:45	1pSC06	<i>Vigna</i> 属遺伝資源が有するストレス耐性の理解と応用 内藤健 ^{1,2} （ ¹ 農業生物資源研究所遺伝資源センター， ² JSTさきがけ）
17:45-18:00		総合討論

9/6 15:00-18:00

D 会場

形態学と生理学の融合に向けて

—植物の「形」と「現象」の狭間を埋める研究の最前線—

共催：日本植物形態学会

共催：NPO 法人総合画像研究支援

● オーガナイザー

宮沢 豊（山形大・理）

唐原 一郎（富山大・院・理工学）

鮫島 正純（総合画像研究支援）

構造を理解する形態学と機能を理解する生理学は、時に対比されながらも数世紀にわたり植物学を支えてきた学問領域である。近年の解析技術の革新により、形態学、生理学双方の観点から見た植物の「像」は明確なものとなった。一方で、空間分解能の向上による形態構造の理解と生理機能の関連に関する理解はますます乖離しているのも事実である。本シンポジウムでは、植物の形態・構造と生理現象の理解を橋渡しする先端的研究や技術を例として紹介し、現状の植物学の課題について議論し、それを解決する融合研究の促進を図る。本シンポジウムは、日本植物形態学会と認定 NPO 法人総合画像研究支援との共催で行う。

15:00-15:05		はじめに
15:05-15:35	1pSD01	X線マイクロCTを用いた種子発芽過程の研究 山内大輔 ¹ 、唐原一郎 ² 、峰雪芳宣 ¹ （ ¹ 兵庫県大・院・生命理学、 ² 富山大・院・理工）
15:35-16:05	1pSD02	超解像顕微鏡を用いたタイムゲートイメージング 佐藤良勝、杉本渚（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所）
16:05-16:35	1pSD03	光-電子相関顕微鏡法：蛍光タンパク質標識した細胞小器官を走査電子顕微鏡で捉える 豊岡公德（理研CSRS）
16:35-16:40		休憩
16:40-17:10	1pSD04	植物組織における低分子量物質分布の質量顕微鏡による可視化 三村徹郎 ¹ 、姉川彩 ¹ 、大西美輪 ¹ 、山本浩太郎 ¹ 、石崎公庸 ¹ 、深城英弘 ¹ 、高橋勝利 ² （ ¹ 神戸大学・院・理学研究科・生物学専攻、 ² 産総研・創薬基盤研究部門）
17:10-17:40	1pSD05	形態変化を伴ったオルガネラ間相互作用の解析 ～オルガネラ間接着力測定の試み～ 及川和聡 ¹ 、真野昌二 ² 、近藤真紀 ³ 、坂本亘 ⁴ 、三ツ井敏明 ¹ 、飯野敬矩 ⁵ 、細川陽一郎 ⁵ 、西村幹夫 ³ （ ¹ 新潟大・農、 ² 基生研・多様性、 ³ 基生研、 ⁴ 岡山大・光環境、 ⁵ 奈良先端・物質創成）
17:40-18:00		総合討論

Diverse physiological functions of plant non-coding RNA

植物生理機能の多様性を担う non-coding RNA

助成：日本学術振興会平成 27 年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）「国際情報発信強化（A）」
（JSPS KAKENHI Grant number 15HP1002）

● オーガナイザー

Misato Ohtani (NAIST) / 大谷 美沙都 (奈良先端大・バイオ)

Reina Komiya (OIST) / 小宮 怜奈 (沖縄科学技術大)

Recent advances in sequencing technology have been revealing that a lot of non-coding RNAs play central roles in many aspects of biological regulatory system. In this symposium, we would like to give an opportunity to discuss physiological roles of non-coding RNA in plants, with up-to-date information on biosynthesis and/or molecular function of plant non-coding RNAs provided by researchers from a wide range of plant biological fields.

14:30-14:35		Welcoming address
14:35-15:00	1pSG01	The biogenesis of small RNAs derived from over 700 reproductive lincRNAs <u>Reina Komiya</u> (Okinawa Inst. Sci. Technol. (OIST))
15:00-15:25	1pSG02	Analysis of gene expression changes in two <i>Arabidopsis</i> accessions and their reciprocal hybrids <u>Hiroshi Shiba</u> ¹ , Takuya Shimura ² , Yutaka Taono ² , Takashi Yamaguchi ¹ , Yutaka Suzuki ³ , Kentaro Yano ⁴ , Akira Isogai ⁵ , Seiji Takayama ^{1,5} (¹ Grad. Sch. Life Environ. Sci., Univ. Tsukuba, ² Grad. Sch. Sci. Engi., Ibaraki Univ., ³ Depart. Med. Genome Sci., Univ. Tokyo, ⁴ Fac. Agri., Meiji Univ., ⁵ Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST)
15:25-15:50	1pSG03	Structural flexibility of miRNA duplex, the effect on the production and RISC loading in plants <u>Taichiro Iki</u> ¹ , Antoine Cléry ² , Frédéric Allain ² , Olivier Voinnet ¹ (¹ Depart. Biol., Swiss Federal Inst. Technol. Zürich (ETH Zürich), ² Instit. Mol. Biol. Biophys., ETH Zürich)
15:50-16:15	1pSG04	Relationships between components of cytoplasmic RNA granules and small RNA metabolism <u>Takahiro Hamada</u> (Grad. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo)
16:15-16:40	1pSG05	A role of the long intergenic non-coding RNAs for root meristem development in <i>Arabidopsis</i> <u>Masashi Yamada</u> ^{1,2} , Song Li ³ , Uwe Ohler ^{3,4,5} , Philip Benfey ^{1,2} (¹ Dept. Biol. and Duke Cent. Syst. Biol., Duke Univ., ² HHMI, ³ Dept. Biostat. and Bioinfo., Duke Univ., ⁴ Dept. Biol., Humboldt Univ. of Berlin, ⁵ Berlin Inst. for Med. Syst. Biol., Max Delbrück Cent. for Mol. Med.)
16:40-17:05	1pSG06	UsnRNA contents determine plant cell capacity for dedifferentiation and organogenesis <i>in vitro</i> <u>Misato Ohtani</u> ^{1,2} , Munetaka Sugiyama ³ , Taku Demura ^{1,2} (¹ Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, ² CSRS, RIKEN, ³ Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)
17:05-17:10		Closing remarks

9/6 14:30-17:30

H 会場

これからの光合成研究

：ローカルミニマムからの解放を目指して

● オーガナイザー

吉田 啓亮（東工大・資源研）

小山内 崇（明大・農・農芸化学）

得津 隆太郎（基礎生物学研究所）

近年の光合成研究の進展により，光合成装置の構造的基盤，分子レベルでの制御機構，環境応答ダイナミクスといった様々なレベルで光合成の理解が深まっている．また，これらの知見に立脚して光合成機能を強化することにより，低炭素社会の実現といった社会的要請に応えることは，光合成研究者にとって喫緊の課題である．本シンポジウムでは，研究現場の最前線に立つ若手の研究者が幅広い視点から光合成研究の現状をレビューし，将来を展望する．

14:30-14:35		はじめに
14:35-14:55	1pSH01	光合成の基盤である PSII の結晶構造解析と展望 <u>川上恵典</u> （大阪市立大学・複合先端研究機構）
14:55-15:15	1pSH02	光合成タンパク質複合体のダイナミクスおよび環境応答の仕組み <u>得津隆太郎</u> （基礎生物学研究所）
15:15-15:35	1pSH03	葉緑体レドックスネットワークによる光合成の機能制御 <u>吉田啓亮</u> （東工大・資源研）
15:35-15:55	1pSH04	変動する光環境下における光合成制御機構の解明と応用展開 <u>矢守航</u> ^{1,2} （ ¹ 千葉大学・フィールド科学センター， ² JST さきがけ）
15:55-16:05		休憩
16:05-16:25	1pSH05	ラン藻の転写因子改変による一次代謝と光合成の改変 <u>小山内崇</u> （明大・農・農芸化学）
16:25-16:45	1pSH06	藻類のエネルギー生産における物質代謝メカニズムの解析 <u>蓮沼誠久</u> （神戸大学・自然科学系先端融合研究環）
16:45-17:05	1pSH07	ユーグレナを用いた産業展開の現状と展望 <u>岩田修</u> （株式会社ユーグレナ）
17:05-17:30		総合討論

ポストゲノム時代の植物進化研究

●オーガナイザー

豊倉 浩一（神戸大・院・理）

市橋 泰範（理研・CSRS）

次世代シーケンサー等の新技術により多くの生物のゲノム解読がなされ、植物の系統進化の理解が進んできた。しかし、ゲノムを解読するだけでは植物形態・生理応答の多様性の理解は進まない。本シンポジウムでは、国内外で活躍する新進気鋭の日本人若手研究者による、対象（藻類から種子植物まで）も手法（トランスクリプトーム解析、順遺伝学、逆遺伝学、ゲノム解析、生態学的解析）も多様性に富んだ研究者たちによるポストゲノム時代の進化研究を紹介する。

9:00-9:05		はじめに <u>豊倉浩一</u> （神戸大・院・理）
9:05-9:30	2aSB01	フィールドでの発見からはじまったチャルメルソウ属生態種分化の進化遺伝学 <u>奥山雄大</u> （国立科学博物館植物研究部）
9:30-9:55	2aSB02	順遺伝学で明らかにするアブラナ科の根の形態進化 <u>豊倉浩一</u> ， <u>深城英弘</u> （神戸大・院・理）
9:55-10:20	2aSB03	逆遺伝学で明らかにするヒメツリガネゴケの幹細胞制御機構 <u>青山剛士</u> ，Jill Harrison（Department of Plant Sciences, University of Cambridge）
10:20-10:30		休憩
10:30-10:55	2aSB04	網羅的遺伝子配列で明らかにする水生植物カワゴケソウ科の多様化の鍵 <u>片山なつ</u> ^{1,2} ， <u>西山智明</u> ³ ， <u>厚井聡</u> ⁴ ， <u>倉田哲也</u> ⁵ ， <u>山田敏弘</u> ⁶ ， <u>今市涼子</u> ¹ ， <u>加藤雅啓</u> ⁷ （ ¹ 日本女子大・理， ² 日本学術振興会・特別研究員（PD）， ³ 金沢大・学際， ⁴ 大阪市大・植物園， ⁵ 東北大・生命科学， ⁶ 金沢大・理工， ⁷ 国立科博・植物）
10:55-11:20	2aSB05	RNA-seq で明らかにする群体性ボルボックス目の有性生殖の分子機構の進化 <u>浜地貴志</u> （ドナルド・ダンフォース植物科学センター）
11:20-11:45	2aSB06	共発現ネットワーク解析で明らかにするトマト近縁種の葉の形態進化 <u>市橋泰範</u> ^{1,2} ， <u>José Aguilar-Martínez</u> ² ， <u>Moran Farhi</u> ² ， <u>Daniel Chitwood</u> ² ， <u>Ravi Kumar</u> ² ， <u>Lee Millon</u> ² ， <u>Jie Peng</u> ² ， <u>Julin Maloof</u> ² ， <u>Neelima Sinha</u> ² （ ¹ 理研・CSRS， ² カリフォルニア大学デービス校）
11:45-11:50		おわりに <u>市橋泰範</u> （理研・CSRS）

9/7 9:00-11:55

C 会場

環境に応じた植物の形づくりを支える仕組み

●オーガナイザー

石崎 公庸（神戸大・院・理）

梅田 正明（奈良先端大・バイオ）

植物は動物と異なり、体内に散在するメリステムを中心に形づくりを行う。一方で、生物・非生物とのコミュニケーションは植物の生存を最適化する上で極めて重要である。本シンポジウムでは、植物が行うコミュニケーションの実体を明らかにしようとする研究者と、環境に応じた細胞分裂の制御マシーナリーを明らかにしようとする研究者が最新的话题を提供し、植物がいかに環境要因を理解し、自らの形づくりに反映しているかを議論したい。

9:00-9:05		はじめに
9:05-9:30	2aSC01	地表で暮らす葉状性苔類がとる光生存戦略 <u>西浜竜一</u> ¹ , 井上佳祐 ¹ , 石崎公庸 ² , 河内孝之 ¹ （ ¹ 京大・院・生命科学, ² 神戸大・院・理）
9:30-9:55	2aSC02	ヒメツリガネゴケにおける非対称細胞分裂制御機構 <u>五島剛太</u> （名古屋大・院・理）
9:55-10:20	2aSC03	塩ストレス下における植物の積極的な成長抑制 奥村徹, <u>伊藤正樹</u> （名古屋大・院・生命農学）
10:20-10:30		休憩
10:30-10:55	2aSC04	極性をもった根の細胞成長の制御メカニズム <u>高塚大知</u> ¹ , 梅田正明 ^{1,2} （ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² JST・CREST）
10:55-11:20	2aSC05	植物に脳はあるか <u>遠藤求</u> ^{1,2} （ ¹ 京大・院・生命科学, ² JST・さきがけ）
11:20-11:45	2aSC06	内生微生物を介した植物の成長制御 晝間敬 ¹ , 今村崇裕 ¹ , 種田有加里 ¹ , <u>西條雄介</u> ^{1,2} （ ¹ 奈良先端大・バイオ, ² JSTさきがけ）
11:45-11:55		総合討論

“Fusion” in Fertilization: Interdisciplinary Collaboration among Plant and Animal Scientists

受精における「融合」：動植物の垣根を越えて

助成：日本学術振興会平成 27 年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）「国際情報発信強化（A）」
（JSPS KAKENHI Grant number 15HP1002）

● オーガナイザー

Katsuyuki T. Yamato (BOST, Kinki Univ.) / 大和 勝幸 (近畿大学生物理工学部)

Kazuyuki Kuchitsu (Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci.) / 朽津 和幸 (東京理科大学理工学部)

In sexual reproduction, gametes fuse to regenerate life, giving rise to a new individual. Although division is their inherent and essential feature, some cells have evolved to create a completely opposite process, fusion in fertilization. Recent studies have revealed that gametogenesis and fertilization in a wide variety of organisms often share key molecules and/or mechanisms. The aim of this symposium is to facilitate a collaborative “fusion” of research on diverse aspects of interest in fertilization contributing to a better understanding of gamete fusion that leads to regeneration of life.

9:00-9:05		Introduction
9:05-9:23	2aSD01	Sexual reproduction and sex determination in green algae <u>Hiroyuki Sekimoto</u> (Fac. Sci., Japan Women's Univ.)
9:23-9:41	2aSD02	Roles of autophagy during male reproductive development and sexual reproduction in rice <u>Takamitsu Kurusu</u> ^{1,2} , Bunki Toh ³ , Shigeru Hanamata ³ , Takahiko Kubo ⁴ , Yozo Okazaki ⁵ , Takayuki Ohnishi ⁶ , Noriko Nagata ⁷ , Kazuki Saito ⁵ , Tetsu Kinoshita ⁶ , Nori Kurata ⁴ , Yuichi Tada ¹ , Kazuyuki Kuchitsu ^{2,3} (¹ Sch. Biosci. Biotech., Tokyo Univ. Tech., ² Imaging Frontier Center, Tokyo Univ. Sci., ³ Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci., ⁴ Plant Genet. Lab., NIG, ⁵ Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, ⁶ Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ., ⁷ Dept. Chem. Biol. Sci., Japan Women's Univ.)
9:41-9:59	2aSD03	Toward understanding the molecular mechanism of spermatogenesis in plants using a liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> as a model <u>Asuka Higo</u> ¹ , Kimitsune Ishizaki ² , Katsuyuki Yamato ³ , Takayuki Kohchi ¹ , Takashi Araki ¹ (¹ Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., ² Grad. Sch. Sci. Kobe Univ., ³ Fac. BOST, Kinki Univ.)
9:59-10:17	2aSD04	Membrane traffic in spermatogenesis of <i>Marchantia polymorpha</i> <u>Naoki Minamino</u> ¹ , Takehiko Kanazawa ¹ , Atsuko Era ² , Ryuichi Nishihama ³ , Katsuyuki Yamato ⁴ , Kimitsune Ishizaki ⁵ , Takayuki Kohchi ³ , Akihiko Nakano ^{1,6} , Takashi Ueda ^{1,7} (¹ Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ² Natl. Inst. Genet., ³ Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., ⁴ Fac. Biol.-Orient. Sci. Tech., Kinki Univ., ⁵ Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, ⁶ Riken RAP, ⁷ PRESTO. JST)
10:17-10:35	2aSD05	Calcium sensors of ciliary outer arm dynein and eukaryotic evolution <u>Kazuo Inaba</u> (SMRC, Univ. Tsukuba)
10:35-11:00	2aSD06	Sperm navigation in 3D <u>Luis Alvarez</u> (Dept. Mol. Sensory Sys., CAESAR)

11:00-11:18	2aSD07	Fertilization of seaweeds. Attraction, recognition, attachment and fusion <u>Taizo Motomura</u> (Muroran Marine Station, FSC, Hokkaido Univ.)
11:18-11:36	2aSD08	Novel insights into the molecular mechanism of sperm-egg fusion via IZUMO1 <u>Naokazu Inoue</u> ¹ , Yoshihisa Hagihara ² , Danelle Wright ¹ , Takahisa Suzuki ¹ , Ikuo Wada ¹ (¹ Sch. Med., Univ. Fukushima Med, ² Health Res Inst., AIST)
11:36-11:54	2aSD09	Genesis of life: A mechanism of sperm-egg fusion in mammals <u>Kenji Miyado</u> ¹ , Kenji Yamatoya ¹ , Natsuko Kawano ² (¹ Dept. Reprod. Biol. Natl. Res. Institut. Child Health and Dev., ² Dept. Life Sci. Sch. Agri. Meiji Univ.)
11:54-12:12	2aSD10	Fusion of gamete nuclei and division of zygote nucleus in plants and animals <u>Takashi Okamoto</u> , Erika Toda, Yukinosuke Ohnishi (Dept. Biol. Sci., Tokyo Met. Univ.)
12:12-12:22	2aSD11	Enzymatic production of reactive oxygen species in sexual reproduction <u>Kazuyuki Kuchitsu</u> ^{1,2} , Hidetaka Kaya ^{1,3} , Kenji Hashimoto ¹ (¹ Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci., ² Imaging Frontier Center, Tokyo Univ. Sci., ³ Natl. Inst. Agrobiol. Sci.)
12:22-12:30		Discussion

社会から望まれる理学博士！？

—意外にあるキャリアパス

主催：公益社団法人日本植物学会理事会

● オーガナイザー

澤 進一郎（熊本大学）

河野 重行（東京大学）

昨今は多くのアカデミックポジションが任期付きとなり、また、アカデミックポストが減ることも多く、若手研究者の雇用環境を取り巻く状況は厳しく、博士課程進学をためらう学生も多い。本シンポジウムでは、博士課程出身者の多岐にわたる活躍の場について多方面の方々に紹介して頂く。また、単なる職場・進路紹介にとどまらず、博士号取得にこそメリットがあることや、雇用側が求めている博士号取得者像についても紹介して頂き、新しいキャリアパスのあり方について議論したい。

9:00-9:05		はじめに 澤進一郎（熊本大学大学院自然科学研究科理学専攻）
9:05-	3aSB01	海外ポスドクから外資企業へのキャリアパス—博士号取得者の強み— 高橋靖幸（ダウ・ケミカル日本（株））
	3aSB02	企業における博士号と修士号の立ち位置 中平国光（日産化学工業（株）生物科学研究所農薬研究部生理生化学G）
	3aSB03	生命科学を伝えるために PhD は必要か？ 工藤光子（立教大学 理学部 共通教育推進室）
	3aSB04	企業での研究・技術員、そして、特許技術者（審査官） 野村英雄（特許庁 審査第三部 生命工学）
-10:45	3aSB05	科学技術・学術研究マネジメントシステムを支える Ph.D.人財 —URA としての矜持と責任— 佐藤法仁（岡山大学リサーチ・アドミニストレーター（URA）執務室）
10:45-10:55		休憩
10:55-	3aSB06	博士公務員によるドクターコース進学へのススメ 岡野陽介（京都府農林水産部農産課）
	3aSB07	大学発ベンチャーとして起業するという選択肢 鈴木健吾（株式会社ユーグレナ）
-12:00	3aSB08	博士の専門性とフィロソフィーをビジネスに 高橋修一郎（株式会社リバネス）

佐渡島の自然環境と植物

主催：公益社団法人日本植物学会

後援：新潟大学

後援：新潟県教育委員会

後援：新潟市教育委員会

後援：佐渡市教育委員会

日本海に面した積雪地帯の新潟に代表される植物はブナとその林床に分布するユキツバキです。これらの植物は積雪環境に適応した生活を営んでいます。一方で、新潟の北の日本海に位置する佐渡島には、標高 1172 m の金北山に代表される大佐渡山地周辺ではブナを始めとする冷温帯の植物が分布するだけでなく、ハクサンシャクナゲやオサバグサなどの亜高山帯性の植物も分布しています。また、大佐渡山地の尾根沿いには、冬季の強風や深雪によって多様な形態をとっているスギの天然林が分布しています。海岸沿いにはタブノキなど暖温帯の照葉樹林も分布し、一つの島の中に多様な植物相が見られます。しかし、この佐渡島の植物相も歴史的に人為の影響を受け続けてきました。ドンデン高原を中心とする大佐渡山地の尾根沿いでは昔から牛の林間放牧が行われ、半自然草地が発達してきました。また、江戸時代からは佐渡金銀山の営みによって、周囲の森林が伐採されてきました。本公開講演会では、新潟県、特に佐渡島の植物について研究を進めている専門家の方に、佐渡島の植物の生態系について自然環境と歴史的な人間との関わりについてわかりやすく講演していただき、次世代を担う若者や広く一般市民の方々に、植物が周りの環境にどのように適応して生活しているのかについて理解を深めていただきたいと思います。

14:00-14:05	はじめに
14:05-14:30	佐渡島の植物相の多様性－風雪が創ったスギの芸術 崎尾均（新潟大学農学部）
14:30-14:55	多雪地域におけるコケ植物の分布と生態 白崎仁（新潟薬科大学）
14:55-15:20	ユキツバキとヤブツバキが共に生きる島－島嶼生物学からみた佐渡島－ 阿部晴恵（新潟大学農学部）
15:20-15:30	休憩
15:30-15:55	雪が育むブナの森の植物たち 小林誠（十日町市立里山科学館キョロロ）
15:55-16:20	牛の林間放牧と草地の生態－ドンデン高原の今と昔 宮島伸子（箱根植木株式会社）
16:20-16:30	総合討論

時間	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	
	シンポジウム 複合適応形質の進化	シンポジウム 花から種子へ 一稔りを巡る研究の新展開	遺伝子発現制御・情報伝達／ ゲノム・プロテオーム 座長：栗原 志夫 丸山 真一朗 朽名 夏磨	環境応答 座長：戸田 恭子 成川 礼 芳賀 健	
9:30	9:30-9:35 はじめに 長谷部光泰 ^{1,2} (¹ 基生研, ² 総研大) 9:35-9:55 1aSB01 アーバスキュラー菌根共生系から根粒共生系への進化 川口正代司 ^{1,2} (¹ 基生研, ² 総研大)	9:30-9:35 はじめに 9:35-10:00 1aSC01 「柿」で見つかった性決定因子が示す可能性 赤木剛士 (京都大学 農学研究科 果樹園芸学研究室)	1aD01 デルフィニウムにおけるAA7BG-GT1/AA7BG-GT2遺伝子変異体のゲノム解析および機能解析 石井いづみ ¹ , 西崎雄三 ^{1,2} , 宮原平 ¹ , 坂口公敏 ³ , 八木聡明 ³ , 小関良宏 ¹ (¹ 農工大・院・生命工学, ² 国立医薬品食品衛生研究所, ³ 株式会社ミヨシ)	1aE01 低温ストレス条件下における大豆珠皮フラボノイドの品種間差と細胞形態 戸田恭子 ¹ , 黒岩晴子 ² , Kalaiselvi Senthil ³ , 岩科司 ⁴ , 村井良徳 ⁴ , 高橋良二 ¹ (¹ 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所, ² 日本女子大学理学部, ³ Avinashilingam University, ⁴ 国立科学博物館 筑波実験植物園)	
9:45			1aD02 ヒメツリガネゴケのCTR1はエチレン, ABA両シグナル伝達系に関与する 安村友紀 ¹ , Nicholas P Harberd ² (¹ お茶の水女子大学 理学部, ² Department of Plant Sciences, University of Oxford, UK)	1aE02 ヒメツリガネゴケにおける低温順化機構の解析 篠澤章久 ¹ , 大竹亮子 ¹ , 小松憲治 ² , 竹澤大輔 ³ , 太治輝昭 ¹ , 林隆久 ¹ , 坂田洋一 ¹ (¹ 東京農業大・院・バイオ, ² 東京農業大・短・生物生産, ³ 埼玉大学・院・理工学研究科)	
10:00	9:55-10:15 1aSB02 ツツジ科植物の比較解析から見えてきた菌従属栄養植物の適応進化と無葉緑化 上中弘典 ¹ , 山口勝司 ² , 井田喜子 ¹ , 三柴啓一郎 ³ , 岩瀬剛二 ⁴ , 西村幹夫 ² , 重信秀治 ³ , 真野昌二 ² (¹ 鳥取大・農, ² 基生研, ³ 大阪府大院・生命環境科学, ⁴ 帝京科学大・生命環境)	10:00-10:20 1aSC02 GWASによる花粉数を制御する遺伝子の同定と解析 角井宏行 ¹ , 土松隆志 ^{1,2} , 山崎美紗子 ¹ , Cindy Marona ³ , Dazhe Meng ^{2,4} , 金岡雅浩 ⁵ , Thomas Stadler ⁶ , Michael Lenhard ³ , Magnus Nordborg ^{2,4} , 清水健太郎 ¹ (¹ University of Zurich, ² Gregor Mendel Inst., ³ Univ. Potsdam, ⁴ Univ. Southern California, ⁵ Nagoya Univ., ⁶ ETH Zurich)	1aD03 苔類ゼニゴケにおけるmicroRNAの機能解析 都筑正行 ¹ , 藤本剛史 ¹ , 西浜竜一 ² , 石崎公庸 ³ , 栗原志夫 ⁴ , 松井南 ⁴ , 河内孝之 ² , 濱田隆宏 ¹ , 渡邊雄一郎 ¹ (¹ 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系, ² 京都大学大学院生命科学研究科統合生命科学専攻, ³ 神戸大学大学院理学研究科生物学専攻, ⁴ 理研 CSRS)	1aE03 青色光-クリプトクロムによって制御される低温馴化機構：低温処理時間の影響 今井裕之 ¹ , 河村幸男 ^{1,2} , 長谷あきら ³ , 上村松生 ^{1,2} (¹ 岩手大・院・連合農学, ² 岩手大・農・寒冷バイオ, ³ 京大・院・理)	
10:15	10:15-10:35 1aSB03 ウミウシの盗葉緑体現象：遺伝子を伴わない葉緑体の水平伝搬 前田太郎 (基生研・共生システム)	10:20-10:40 1aSC03 一本の花粉管が一つの胚珠にたどりつくには？ ～深部イメージングで探る花粉管ガイダンスの謎～ 水多陽子 ^{1,2} , 栗原大輔 ^{1,2} , 東山哲也 ^{1,2,3} (¹ 名古屋大学大学院理学研究科, ² JST・ERATO 東山ライブホロニクス, ³ WPI-ITbM)	1aD04 bZIP 型転写因子群の結合するゲノム領域の網羅的な特定 栗原志夫 ¹ , 蒔田由布子 ¹ , 川島美香 ¹ , 山本義治 ² , 松井南 ¹ (¹ 理化学研究所環境資源科学研究センター 合成ゲノミクス研究グループ, ² 岐阜大学 応用生物科学部)	1aE04 シアノバクテリア由来の新規光活性化アデニル酸シクラーゼ 伊関峰生 ¹ , 二瓶悠樹 ¹ , 田中瞳 ¹ , 大木規央 ² , 杉山佳奈子 ² , 河合文啓 ² , 松永茂 ³ , 高橋哲郎 ¹ , 朴三用 ² (¹ 東邦大・薬, ² 横市大・院・生命医科学, ³ 浜松ホトニクス (株))	
10:30	10:35-10:55 1aSB04 サンゴに共生する渦鞭毛藻類の比較ゲノミクス 將口栄一 (沖縄科学技術大・院・マリンゲノミックス)		1aD05 TRIP法を用いた植物核ゲノムにおけるプロモーター新生領域の包括的解析 佐藤壮一郎, 畑貴之, 高田直東, 立川誠, 松尾充啓, 小保方潤二 (京都府大・生命環境)	1aE05 クロロフィルdを持つシアノバクテリア <i>Acaryochloris marina</i> の光受容体シアノバクテリオクロムの解析 成川礼 ¹ , 伏見圭司 ¹ , 榎本元 ² , 池内昌彦 ² (¹ 静岡大学理学部生物科学科, ² 東京大学大学院総合文化研究科)	
10:45		10:40-11:05 1aSC04 雄と雌の配偶子膜間にある分子機構 森稔幸 (東大・院・理・生物科学)	休憩	休憩	

F 会場	G 会場	H 会場	時間
代謝・物質生産・メタボローム・バイオエネルギー 座長：宮城 敦子 宮原 平 村井 良徳 1aF01 単一転写因子の改変による果実高糖度化技術の開発 G.H.M. Sagor¹, Thomas Berberich², 田中俊¹, 金山喜則³, 西山学³, 児島征司^{1,3}, 草野友延¹ (¹東北大・院生命, ²BiK-F, ³東北大・院農)	シンポジウム 植物の環境認識と自律分散型情報統御システム 9:30-10:00 1aSG01 環境刺激による気孔開度制御機構の解明に向けて 木下俊則 (名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM))	シンポジウム 根系の構築—多様な構造と働き— 9:30-9:35 はじめに 9:35-10:00 1aSH01 根端分裂組織のサイズ制御機構 高橋直紀¹, 丸池加奈子¹, 高塚大知¹, 梅田正明^{1,2} (¹奈良先端大・バイオ, ²JST・CREST)	9:30
1aF02 イオンビームを照射した高シュウ酸植物エゾノギンギシの代謝解析 宮城敦子¹, 北野沙也佳¹, 長谷純宏², 大野豊³, 山口雅利¹, 川合真紀¹ (¹埼玉大・院・理工, ²原子力機構・量子ビーム)			9:45
1aF03 二チニチソウ組織における Terpenoid indole alkaloid の合成と蓄積機構の解明 山本浩太郎¹, 大西美輪¹, 姉川彩¹, 高橋勝利², 水野初³, 村上明男⁴, 石崎公庸¹, 山崎真巳⁵, 深城英弘¹, 升島努⁶, 三村徹郎¹ (¹神戸大・院・理, ²産総研・創薬基盤研究部門, ³静岡県立大・薬, ⁴神戸大・内海地域環境教育研究センター, ⁵千葉大・院・薬, ⁶理研・生命システム研究センター)	10:00-10:30 1aSG02 植物の細胞記憶を制御するエピジェネティクス機構 玉田洋介^{1,2}, 程朝陽^{1,3}, 西山智明^{3,4}, 壁谷幸子¹, 日渡祐二^{1,2}, 久保稔³, 倉田哲也^{3,5}, 長谷部光泰^{1,2,3} (¹基生研・生物進化, ²総研大・生命科学, ³ERATO, JST, ⁴金沢大・学際科学実験センター, ⁵奈良先端大・バイオ)	10:00-10:25 1aSH02 カスバリー線の機能と形成機構 神谷岳洋¹, Monica Borghi², John M. Danku², Sadaf Naseer³, 藤原徹¹, Niko Geldner³, David E. Salt² (¹東大院・農, ²Univ. Aberdeen, ³Univ. Lausanne)	10:00
1aF04 ランタナの花弁変化における生理過程解析 桑原大季¹, 山本浩太郎¹, 大西美輪¹, 七條千津子¹, 水野初², 石崎公庸¹, 深城英弘¹, 升島努³, 三村徹郎¹ (¹神戸大院・理・生物, ²静岡県立大・薬, ³理研・生命システム研究センター)			10:15
1aF05 オオカナダモにおける紅葉誘導因子化合物の精製と構造決定 百瀬忠征, 本山高貴, 関口拓史, 立壁伸也, 寺正行, 長澤和夫, 小関良宏 (農工大・工・生命)	10:30-11:00 1aSG03 転写制御ダイナミクスの比較解析 - 葉の発生の種間変異を例に 市橋泰範¹, 福島敦史¹, Daniel Chitwood², Lauren Headland³, Jason Kao³, Jie Peng³, 白須賢¹, Neelima Sinha³ (¹国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター, ²ドナルド・ダンフォース植物科学センター, ³カリフォルニア大学デービス校)	10:25-10:50 1aSH03 側根発生の制御機構 郷達明^{1,2}, 深城英弘¹, Malcolm J. Bennett² (¹神戸大院・理, ²CPIB, Univ. of Nottingham)	10:30
休憩		10:50-11:00 休憩	10:45

時間	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	
	シンポジウム 複合適応形質の進化	シンポジウム 花から種子へ 一稔りを巡る研究の新展開	遺伝子発現制御・情報伝達／ ゲノム・プロテオーム 座長：栗原 志夫 丸山 真一朗 朽名 夏麿	環境応答 座長：戸田 恭子 成川 礼 芳賀 健	
11:00	10:55-11:15 1aSB05 ハマウツボ科寄生植物の寄生形質獲得と適応進化 吉田聡子 ¹ , Thomas Spallek ¹ , 市橋泰範 ¹ , Songkui Cui ¹ , 若竹崇雅 ^{1,2} , Juliane Ishida ¹ , 白須賢 ^{1,2} (¹ 理研・CSRS, ² 東大院・理)	11:05-11:30 1aSC05 配偶子核を引き寄せあうシステムの解析 河島友和 ^{1,3} , 丸山大輔 ^{2,3} , Yusuke Toyama ² , Frédéric Berger ^{1,3} (¹ Gregor Mendel Institute, ² 名大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, ³ Temasek Life Sciences Laboratory)	1aD06 クロララクニオン藻の細胞周期における遺伝子発現プロファイル 平川泰久 ¹ , 鈴木重勝 ² , 石田健一郎 ¹ (¹ 筑波大・生命環境系, ² 筑波大・院・生物)	1aE06 微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> のカロテノイド合成系の温度および光環境応答 加藤翔太 ¹ , 中林菜月 ¹ , 西村裕一 ¹ , 高市真一 ² , 石川孝博 ³ , 朝比奈雅志 ¹ , 高橋宣治, 篠村知子 ¹ (¹ 帝京大・理工, ² 日本医科大, ³ 島根大・生物資源)	
11:15	11:15-11:35 1aSB06 ミヤコグサの開花時期の種内多型をもたらす遺伝的背景 瀬戸口造彰, 若林智美 (京都大学大学院人間・環境学研究科)		1aD07 緑藻ゲノムリシーケンスにより親株を使わず迅速に変異遺伝子を同定する方法 丸山真一朗 ¹ , 鎌田このみ ² , 大西紀和 ² , 山口勝司 ³ , 重信秀治 ³ , 河田雅圭 ¹ , 皆川純 ² (¹ 東北大・生命科学, ² 基生研・環境光生物学, ³ 基生研・生物機能情報)	1aE07 葉緑体光定位運動におけるフォトリポリンによる THRUMIN1 のリン酸化制御 孔三根 ^{1,2} , 岡島公司 ³ , 中神弘史 ⁴ , 徳富哲 ⁵ , 和田正三 ⁶ (¹ 九州大・生医研・構造生物学, ² 九州大・動的構造生命科学センター, ³ 慶應大・院・理工, ⁴ 理研・環境資源科学研究センター, ⁵ 大阪府大・院・理, ⁶ 首都大・理工・生命)	
11:30	11:35-11:55 1aSB07 キスゲ属のハマカンゾウとキスゲにおける花形質進化の遺伝子基盤 新田植 ^{1,2} (¹ 横国大・男女共同参画センター, ² 東大・総合文化)	11:30-11:55 1aSC06 新奇の植物細胞融合による花粉管誘引停止機構の発見 丸山大輔 ¹ , Ronny Völz ² , 武内秀憲 ³ , 森稔幸 ⁴ , 河島友和 ⁵ , Rita Gross Hardt ⁶ , 東山哲也 ^{1,3,7} (¹ 名大・WPI-ITbM, ² King Abdullah Univ. of Sci. and Tech., Saudi Arabia, ³ 名大・JST ERATO・東山ライブホロニクスプロジェクト, ⁴ 東大・院・理, ⁵ Gregor Mendel Inst., ⁶ Univ. of Bremen, Germany, ⁷ 名大・院・理)	1aD08 RNA 結合タンパク DUS16 と AGO3 が制御するクラミドモナス miRNA 動態の解明 山崎朋人, 大濱武 (高知工科大・環境理工)	1aE08 シロイヌナズナの根の光屈性におけるオーキシン輸送・生合成・シグナル伝達の機能解析 木村太郎 ¹ , 芳賀健 ² , 志水-三田尾悌 ³ , 竹林裕美子 ⁴ , 林謙一郎 ⁵ , Yunde Zhao ⁶ , 柿本辰男 ³ , 笠原博幸 ⁴ , 酒井達也 ¹ (¹ 新潟大・院・自然科学, ² 日本工業大・共通教育, ³ 大阪大・理学・生命科学, ⁴ 理研・CSRS, ⁵ 岡山理科大・理・生物化学, ⁶ カリフォルニア大サンディエゴ校)	
11:45			1aD09 顕微鏡画像群の網羅的解析のためのクラスタリング法の開発 朽名夏麿 ^{1,2} , 馳澤盛一郎 ¹ (¹ 東京大学大学院新領域創成科学研究科, ² エルピクセル株式会社 研究開発本部)	1aE09 シロイヌナズナの根の光屈性における PINOID の役割 芳賀健 ¹ , 酒井達也 ² (¹ 日工大・共通教育, ² 新潟大・院・理)	
12:00	11:55-12:15 1aSB08 食虫植物の進化 長谷部光泰 ^{1,2} (¹ 基生研, ² 総研大)	11:55-12:00 総合討論	12:00-12:30 1aD-AL1 若手奨励賞 座長：今市涼子 植物細胞の分化可塑性およびその抑制機構 池内桃子 (理研 CSRS)	1aE10 酢酸処理による細胞内 pH 動態イメージング解析 栗田和貴 ¹ , 坂本卓也 ¹ , 金鍾明 ² , 関原明 ^{2,3} , 松永幸大 ^{1,3} (¹ 東理大・院・理工・応生, ² 理研・CSRS, ³ CREST)	
12:15	12:15-12:30 総合討論			1aE11 <i>Erwinia caorotovora</i> 培養濾過液により誘導される液胞単純化の解析 平川由美 ¹ , 松垣匠 ¹ , 野村俊尚 ² , 馳澤盛一郎 ¹ (¹ 東京大・院・新領域, ² 理研・CSRS)	
12:30					

F 会場	G 会場	H 会場	時間
代謝・物質生産・メタボローム・バイオエネルギー 座長：宮城 敦子 宮原 平 村井 良徳	シンポジウム 植物の環境認識と自律分散型情報統御システム	シンポジウム 根系の構築 ―多様な構造と働き―	
1aF06 黄色花デルフィニウムにおけるアントシアニン合成酵素の解析 宮原平¹, 濱田有沙¹, 廣瀬由紀夫², 岡本充智², 小関良宏¹ (¹農工大・工・生命, ²愛媛県農林水産研究所)	11:00-11:30 1aSG04 深部観察で Whole plant imaging を目指す 栗原大輔^{1,2}, 水多陽子^{1,2}, 佐藤良勝³, 東山哲也^{1,2,3} (¹名大・院・理, ²JST・ERATO, ³名大・WPI-ITbM)	11:00-11:25 1aSH04 窒素環境に応答した根粒発生の負の制御系 泰崎拓哉^{1,2,3}, 西田帆那^{1,2}, 川口正代司^{1,2} (¹基生研・共生システム, ²総研大・生命科学, ³筑波大・生命環境)	11:00
1aF07 キバナコスモスの花に含まれる3-デオキシアントシアニンの定性 雨宮虎太郎¹, 加茂綱嗣², 北島潤一³, 岩科司^{1,4} (¹農工大・連合院・農, ²農環研, ³昭和薬大・薬, ⁴国立科博・植物)			11:15
1aF08 赤ネギ “ひたち紅っこ” に含まれるアントシアニンとフラボノイド 中根理沙¹, 貝塚隆史², 岩科司³ (¹茨大・連携院・農, ²茨城農総セ, ³国立科博・植物)	11:30-12:00 1aSG05 植物免疫系が制御するグローバルネットワークの解析 野元美佳¹, 塚越啓央^{2,3}, 森毅¹, 鈴木孝征⁴, Michael Skelly⁶, 岡和¹, 松下智直⁷, 時澤睦朋⁸, 山本義治⁸, 東山哲也^{1,5,9}, Steven Spoel⁶, 多田安臣^{1,2} (¹名大・院・生命理学, ²名大・遺伝子, ³JST さきがけ, ⁴中部大・応用生物, ⁵JST ERATO, ⁶Univ. Edinburgh, Sch. Biol. Sci., ⁷九大・農, ⁸岐阜大・応用生物, ⁹WPI-ITbM)	11:25-11:50 1aSH05 寄生植物の吸器形成機構とその機能 若竹崇雅^{1,2}, Thomas Spallek², Simon Saucet², 吉田聡子², 白須賢^{1,2} (¹東大・院・理, ²理研 CSRS)	11:30
1aF09 ヤマブキとシロヤマブキに含まれるフラボノイドの特性 岩科司 (国立科学博物館 植物研究部)		11:50-12:15 1aSH06 深根性遺伝子を活用したイネの耐乾性および収量性の遺伝的改良 宇賀優作 (農業生物資源研究所)	11:45
1aF10 メコノプシス属数種の花及び葉のフラボノイド成分 横山和卓¹, 村井良徳², 池田博³, Yangzom Rinchen⁴, 岩科司^{1,2} (¹茨大・連携院・農, ²国立科博・植物, ³東大・総合博, ⁴National Biodiversity Centre)	12:00-12:10 総合討論		12:00
1aF11 日本産オオバコ属植物のフェノール成分解析 村井良徳, 岩科司 (国立科博・植物)		12:15-12:25 おわりに	12:15
			12:30

時間	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	
	シンポジウム 細胞機能の変容と循環を視る ～可逆性と不可逆性から探る 細胞分化の本質～	14:30-15:00 1pC-AL1 若手奨励賞 座長：角川洋子 種間交雑現象による植物の 多様化に関する進化生態学的 研究 植嶋聡（静岡大・創造院）	14:30-15:00 1pD-AL1 奨励賞 座長：荒木崇 植物における環境応答の 組織特異性 遠藤求（京都大学 大学院生命科学研 究科 分子代謝制御学／JST・さきがけ）	成長生理／ 発生・生長・形態形成 座長：朝比奈 雅志 小林 康一 杉山 宗隆	
14:30	14:30-14:50 1pSB01 木部道管への片道切符：細胞壁 の不可逆的な機能転換 小田祥久¹，長島慶宜^{1,2}，杉山友希^{1,2}， 佐々木武馬¹，福田裕穂²（¹国立遺伝 研・新分野，²東京大・院理・生物科学）			1pE01 ポプラにおけるリン酸転流経路 の季節変化 栗田悠子¹，馬場啓一²，菅野里美³，杉 田亮平³，廣瀬農³，大西美輪¹，小菅桂 子¹，石崎公庸¹，深城英弘¹，田野井慶 太郎³，金子康子⁴，中西友子³，三村徹 郎¹（¹神戸大・院・理，²京都大・生存 研，³東京大・院・農，⁴埼玉大・教育）	
14:45	14:50-15:20 1pSB02 篩部要素分化におけるオルガネ ラ消失のダイナミクス 古田かおり¹，宮島俊介¹，中島敬二¹， Ykä Helariutta^{2,3}（¹奈良先端大・バイ オ，²The Sainsbury Laboratory, University of Cambridge, ³University of Helsinki）	シンポジウム 自然変異に学ぶ：多様性の 理解から育種への応用まで	シンポジウム 形態学と生理学の融合に向けて —植物の「形」と「現象」の 狭間を埋める研究の最前線—	1pE02 ダイズの根の重力屈性反応に伴 う細胞内外カルシウム動態 早津学^{1,2}，鈴木季直^{1,2}（¹神奈川大学 理学部生物科学科，²神奈川大学総合 理学研究所）	
15:00		15:00-15:05 はじめに 15:05-15:30 1pSC01 生態系機能に波及するブナの地 理変異 旦浦勉（北大・苫小牧研究林）	15:00-15:05 はじめに 15:05-15:35 1pSD01 X線マイクロCTを用いた種子 発芽過程の研究 山内大輔¹，唐原一郎²，峰雪芳宣¹ （¹兵庫県大・院・生命理学，²富山大・ 院・理工）	1pE03 気孔閉鎖因子 SLAC1の機能を改 変したイネ変異株の解析 植見健介，橋村綾菜，射場厚（九州 大・院理・生物）	
15:15	15:20-15:50 1pSB03 シロイヌナズナ受精卵のイメー ジングとケミカルスクリーニ ング：細胞極性と不等分裂を制御 する仕組みとは？ 植田美那子^{1,2}，木全祐資²，栗原大 輔^{2,3}，山田朋美¹，南保正和¹，大川（西 脇）妙子^{1,4}，桑田啓子¹，梅田正明^{5,6}， 東山哲也^{1,2,3}（¹名古屋大・WPI- ITbM，²名古屋大・院・理，³名古屋大・ JST・ERATO，⁴名古屋大・院・農，⁵奈 良先端大・バイオ，⁶JST・CREST）	15:30-15:55 1pSC02 ゲノムワイド解析に基づくハワ イフトモモの環境適応における 遺伝的基盤の解明 伊津野彩子¹，北山兼弘¹，小野田雄 介¹，辻井悠希¹，永野惇^{2,3,4}，本庄三恵⁴， 工藤洋⁴，井鷲裕司¹（¹京大・院・農，²龍 谷大・農，³JST・さきがけ，⁴京大・生 態研センター）	15:35-16:05 1pSD02 超解像顕微鏡を用いたタイム ゲートイメージング 佐藤良勝，杉本渚（名古屋大学トラ ンスフォーメティブ生命分子研究所）	1pE04 シロイヌナズナ花茎切断処理に よる遺伝子発現の誘導と植物ホ ルモンの関与 松岡啓太¹，湯本絵美¹，奥川大樹¹，齋 藤朴¹，中原陽平¹，横田孝雄¹，山根久 和¹，佐藤忍²，朝比奈雅志¹（¹帝京大・ 理工・バイオ，²筑波大・生命環境）	
15:30	15:50-16:20 1pSB04 コケ植物にみられるニッチ戦略 のための細胞分化 野村俊尚¹，若崎真由美¹，上原由紀 子¹，吉田拓広¹，小嶋美紀子¹，豊岡公 徳¹，持田恵一¹，櫻井哲也¹，馳澤盛一 郎²，榊原均^{1,3}（¹理研・CSRS，²東京大・ 院・新領域，³名古屋大・院・生命農）			1pE05 シロイヌナズナのシュート再生 に対するrRNA生合成関連変異 の影響 大林祝¹，篠原直貴¹，林忠逸¹，玉置裕 章¹，松村葉子²，町田泰則²，杉山宗隆¹ （¹東京大・院・理・植物園，²名古屋大・ 院・理・生命理学）	
15:45				1pE06 シロイヌナズナの側根帯化とミ トコンドリアmRNAの編集・代 謝との関係 間宮章仁¹，大塚藏嵩¹，山本荷葉子¹， 野崎守¹，佐藤康²，八木祐介³，中村崇 裕³，平山隆志⁴，杉山宗隆¹（¹東京大・ 院・理・植物園，²愛媛大・院・理工・ 環境機能，³九州大・農・生命機能， ⁴岡山大・資源植物研）	
16:00		15:55-16:20 1pSC03 シロイヌナズナ属野生種におけ るゲノム解析を用いた適応遺伝 子探索 久保田涉誠^{1,2}（¹日大・生物資源，²東 大・総合文化）	16:05-16:35 1pSD03 光-電子相関顕微鏡法：蛍光タ ンパク質標識した細胞小器官を 走査電子顕微鏡で捉える 豊岡公德（理研 CSRS）	休憩	

	F 会場	G 会場	H 会場	時間
	代謝・物質生産・メタボローム・バイオエネルギー／分類・系統・進化 座長：大田 修平 恵良 厚子 野田口 理孝	シンポジウム Diverse physiological functions of plant non-coding RNA	シンポジウム これからの光合成研究：ローカルミニマムからの解放を目指して	
	1pF01 真核藻類におけるエネルギー代謝の概日リズムによる変動 恵良厚子^{1,2}, 藤原崇之¹, 墨谷暢子^{1,2}, 宮城島進也^{1,2,3} (¹遺伝研・細胞遺伝, ²JST・CREST, ³総研大・生命科学・遺伝学)	14:30-14:35 Welcoming address 14:35-15:00 1pSG01 The biogenesis of small RNAs derived from over 700 reproductive lincRNAs <u>Reina Komiya</u> (Okinawa Inst. Sci. Technol. (OIST))	14:30-14:35 はじめに 14:35-14:55 1pSH01 光合成の基盤であるPSIIの結晶構造解析と展望 <u>川上恵典</u> (大阪市立大学・複合先端研究機構)	14:30
	1pF02 栄養飢餓ストレスによるクロレラ類の液胞内ポリリン酸とオートファジーの動態 大田修平^{1,2}, 吉原真衣¹, 山崎誠和^{1,2}, 大島健志朗³, 許斐麻美⁴, 平田愛子³, 服部正平³, 河野重行^{1,2} (¹東京大・院・新領域・先端生命, ²JST・CREST, ³東京大・院・新領域・オーミクス情報センター, ⁴(株)日立ハイテクノロジーズ, ⁵東京大学・院・新領域・バイオイメージングセンター)			14:45
	1pF03 紅藻シアニジオシゾンにおける添加有機物を用いた炭素代謝制御の解析 森山崇^{1,2}, 毛利奈津美^{1,2}, 佐藤直樹^{1,2} (¹東京大・院・総合文化, ²JST・CREST)	15:00-15:25 1pSG02 Analysis of gene expression changes in two <i>Arabidopsis</i> accessions and their reciprocal hybrids <u>Hiroshi Shiba</u>¹, Takuya Shimura², Yutaka Taono², Takashi Yamaguchi¹, Yutaka Suzuki³, Kentaro Yano⁴, Akira Isogai³, Seiji Takayama^{1,5} (¹Grad. Sch. Life Environ. Sci., Univ. Tsukuba, ²Grad. Sch. Sci. Engi., Ibaraki Univ., ³Depart. Med. Genome Sci., Univ. Tokyo, ⁴Fac. Agri., Meiji Univ., ⁵Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST)	14:55-15:15 1pSH02 光合成タンパク質複合体のダイナミクスおよび環境応答の仕組み <u>得津隆太郎</u> (基礎生物学研究所)	15:00
	1pF04 紅藻 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> の窒素欠乏条件下における TAG の蓄積と脂肪酸組成の解析 豊島正和^{1,2}, 毛利奈津美^{1,2}, 森山崇^{1,2}, 三角修巳^{2,3}, 佐藤直樹^{1,2} (¹東京大・院・総合文化, ²JST・CREST, ³山口大・院・医・応用分子生命)		15:15-15:35 1pSH03 葉緑体レドックスネットワークによる光合成の機能制御 吉田啓亮 (東工大・資源研)	15:15
	1pF05 単細胞原始紅藻の脂質合成と葉緑体の動態に関する分子細胞学的解析 三角修巳^{1,3}, 泉彩香², 齋藤貴史¹, 田草川真理^{1,3} (¹山口大・院・医・応用分子生命, ²山口大・理・生物化学, ³JST・CREST)	15:25-15:50 1pSG03 Structural flexibility of miRNA duplex, the effect on the production and RISC loading in plants <u>Taichiro Iki</u>¹, Antoine Cléry², Frédéric Allain², Olivier Voinnet¹ (¹Depart. Biol., Swiss Federal Inst. Technol. Zürich (ETH Zürich), ²Instit. Mol. Biol. Biophys., ETH Zürich)	15:35-15:55 1pSH04 変動する光環境下における光合成制御機構の解明と応用展開 <u>矢守航</u>^{1,2} (¹千葉大学・フィールド科学センター, ²JST さきがけ)	15:30
	1pF06 ラン藻 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 の遊離脂肪酸産生株における脂肪酸輸送体 <i>mtrE</i> 遺伝子の発現効果 小島幸治^{1,5}, 松本宇生^{2,5}, 氣多澄江^{2,5}, 佐藤雅美², 中東憲治^{3,5}, 池田和貴^{4,5}, 加藤明宏^{1,5}, 高谷信之^{1,5}, 前田真一^{1,5}, 小俣達男^{1,5}, 愛知真木子^{2,5} (¹名大・院・生命農学, ²中部大・応用生物, ³慶応大・先端研, ⁴理研・IMS・メタボローム, ⁵JST・CREST)	15:50-16:15 1pSG04 Relationships between components of cytoplasmic RNA granules and small RNA metabolism <u>Takahiro Hamada</u> (Grad. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo)		15:45
	休憩		15:55-16:05 休憩 16:05-16:25 1pSH05 ラン藻の転写因子改変による一次代謝と光合成の改変 小山内崇 (明大・農・農芸化学)	16:00

時間	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	
	シンポジウム 細胞機能の変容と循環を視る ～可逆性と不可逆性から探る 細胞分化の本質～	シンポジウム 自然変異に学ぶ：多様性の 理解から育種への応用まで	シンポジウム 形態学と生理学の融合に向けて 一植物の「形」と「現象」の 狭間を埋める研究の最前線ー	成長生理／ 発生・生長・形態形成 座長：朝比奈 雅志 小林 康一 杉山 宗隆	
16:15	16:20-16:50 1pSB05 分化した植物細胞はどこまで可 塑性を発揮できるのか？ 岩瀬哲, 池内桃子, 杉本慶子（理化学 研究所 環境資源科学研究センター 細胞機能研究チーム）	16:20-16:30 休憩		1pE07 根端成長におけるクロマチンリ モデリング因子RAD54の機能解 析 平川健, 松永幸大（東理大・院・理工 学・応用生物科学）	
16:30		16:30-16:55 1pSC04 シロイヌナズナの成長に関する 形質と生育CO ₂ 濃度, 由来地環 境の関係 尾崎洋史 ¹ , 小口理一 ¹ , 彦坂幸毅 ^{1,2} (¹ 東北大・院・生命, ² JST・CREST)	16:35-16:40 休憩	1pE08 特定条件下においてプロテア ソーム変異株で発生する塊根の 解析 坂本卓也 ¹ , 松井章浩 ² , 関原明 ² , 松永 幸大 ¹ (¹ 東理大・理工・応用生物科学, ² 理研・CSRS)	
16:45	16:50-17:20 1pSB06 1細胞遺伝子発現解析で探る植 物細胞分化とリプログラミング 久保稔（奈良先端科学技術大学院大 学 研究推進機構 ヒューマノフィ リック事業）		16:40-17:10 1pSD04 植物組織における低分子量物質 分布の質量顕微鏡による可視化 三村徹郎 ¹ , 姉川彩 ¹ , 大西美輪 ¹ , 山本 浩太郎 ¹ , 石崎公庸 ¹ , 深城英弘 ¹ , 高橋 勝利 ² (¹ 神戸大学・院・理学研究科・ 生物学専攻, ² 産総研・創薬基盤研究 部門)	1pE09 シロイヌナズナの根でみる光と 植物ホルモンによる光合成の制 御 小林康一 ¹ , 大西亜衣 ² , 藤井祥 ¹ , 和田 元 ¹ (¹ 東大・院・総合文化, ² 日本女子 大・理学)	
17:00		16:55-17:20 1pSC05 圃場試験とゲノム解析からダイ コン野生系統の有用形質の変異 を読み解く 石塚航（道総研）		1pE10 シロイヌナズナ側根形成に関わ るTOLS2ペプチドによる <i>PUCHI</i> 遺伝子の発現制御機構の 解析 青木優佳, 豊倉浩一, 篠田明徳, 郷達 明, 石崎公庸, 三村徹郎, 深城英弘 (神戸大・院・理)	
17:15	17:20-17:30 総合討論	17:20-17:45 1pSC06 <i>Vigna</i> 属遺伝資源が有するスト レス耐性の理解と応用 内藤健 ^{1,2} (¹ 農業生物資源研究所遺伝 資源センター, ² JST さきがけ)	17:10-17:40 1pSD05 形態変化を伴ったオルガネラ間 相互作用の解析 ～オルガネラ間 接着力測定の試み～ 及川和聡 ¹ , 真野昌二 ² , 近藤真紀 ³ , 坂 本亘 ⁴ , 三ツ井敏明 ¹ , 飯野敬矩 ³ , 細川 陽一郎 ⁵ , 西村幹夫 ³ (¹ 新潟大・農, ² 基生研・多様性, ³ 基生研, ⁴ 岡山大・ 光環境, ⁵ 奈良先端・物質創成)	1pE11 Oxylipin carbonyls are involved in the auxin signalling to initiate lateral root formation Md. Sanaullah Biswas ¹ , Hidehiro Fukaki ² , Jun'ichi Mano ³ (¹ Unit. Grad. Sch. Agril. Sci., Tottori Univ., ² Dept. Biol., Grad. Sch. Sci., Kobe Univ., ³ Sci. Res. Cent., Yamaguchi Univ.)	
17:30				1pE12 Molecular Mechanisms that Determine Pericycle Cell Identity Ye Zhang ¹ , Nobutaka Mitsuda ² , Chuan-Ming Yeh ² , Takeshi Yoshizumi ³ , Yoichi Kondo ³ , Masaru Takagi ² , Minami Matsui ³ , Tatsuo Kakimoto ¹ (¹ Department of Biology, Graduate School of Science, Osaka University, ² National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, ³ Plant Science Center, RIKEN Yokohama Institute)	
17:45		17:45-18:00 総合討論	17:40-18:00 総合討論	1pE13 CUC1およびCUC2による下流 遺伝子の発現制御機構 岩本亮介, 田村泰造, 出村拓, 相田光 宏（奈良先端科学技術大学院大学 バ イオサイエンス研究科）	
18:00					

F 会場	G 会場	H 会場	時間
代謝・物質生産・メタボローム・ バイオエネルギー／分類・系統・進化 座長：大田 修平 恵良 厚子 野田口 理孝	シンポジウム Diverse physiological functions of plant non-coding RNA	シンポジウム これからの光合成研究： ローカルミニマムからの解放を目指して	
1pF07 模擬太陽光照射装置によるシアノバクテリアの屋外での水素生産性の評価 北島正治¹, 花本光¹, 増川一², 櫻井英博³, 井上和仁^{1,3} (¹神奈川大・理・生物, ²大阪市大・複合先端研, ³神奈川大・光合成水素生産研)	16:15-16:40 1pSG05 A role of the long intergenic non-coding RNAs for root meristem development in <i>Arabidopsis</i> <u>Masashi Yamada</u>^{1,2}, Song Li³, Uwe Ohler^{3,4,5}, Philip Benfey^{1,2} (¹Dept. Biol. and Duke Cent. Syst. Biol., Duke Univ., ²HHMI., ³Dept. Biostat. and Bioinfo., Duke Univ., ⁴Dept. Biol., Humboldt Univ. of Berlin, ⁵Berlin Inst. for Med. Syst. Biol., Max Delbrück Cent. for Mol. Med.)		16:15
1pF08 澱粉生産性シアノバクテリアの系統内分布・多様性・進化 鈴木英治¹, Christophe Colleeoni², Steven Ball² (¹秋田県立大・生物資源科学, ²CNRS- リール科技大)		16:25-16:45 1pSH06 藻類のエネルギー生産における物質代謝メカニズムの解析 <u>蓮沼誠久</u> (神戸大学・自然科学系先端融合研究環)	16:30
1pF09 単細胞ラン藻スイゼンジノリの分離株を用いた成長特性と多糖生産の検討 大城香¹, 鈴木謙之¹, 牧しずか¹, 岡島麻衣子², 金子達男², 吉川伸哉¹ (¹福井県大・海洋生物資源, ²北陸先端大・マテリアルサイエンス)	16:40-17:05 1pSG06 UsnRNA contents determine plant cell capacity for dedifferentiation and organogenesis <i>in vitro</i> <u>Misato Ohtani</u>^{1,2}, Munetaka Sugiyama³, Taku Demura^{1,2} (¹Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, ²CSRS, RIKEN, ³Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)	16:45-17:05 1pSH07 ユーグレナを用いた産業展開の現状と展望 <u>岩田修</u> (株式会社ユーグレナ)	16:45
1pF10 タバコ属を用いた異科接木の研究 <u>野田口理孝</u>^{1,2}, 佐藤良勝³, 東山哲也^{1,2,3} (¹名大・院・理, ²JST/ERATO, ³名大・WPI-ITbM)	17:05-17:10 Closing remarks	17:05-17:30 総合討論	17:00
1pF11 芽生えを観ればおおよその樹形がわかる <u>八田洋章</u> (国立科学博物館, 樹形研究会)			17:15
1pF12 Pollen Morphology of Malvoideae (Malvaceae) in Taiwan <u>Wei-Yu Tai</u>, Chang-Jung Lin, Hui-Wen Lin, Huei-Yi Liu, Yen-Hsueh Tseng (Department of Forestry, National Chung Hsing University, Taiwan)			17:30
1pF13 奄美大島に産するボロボロノキの二型花柱性とその送粉様式 菅原敬¹, 星野佑介¹, 中路真嘉¹, 神保宇嗣² (¹首都大・院・牧野標本館, ²国立科学博物館)			17:45
			18:00

時間	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	
	シンポジウム ポストゲノム時代の 植物進化研究	シンポジウム 環境に応じた植物の形づくりを 支える仕組み	シンポジウム “Fusion” in Fertilization: Interdisciplinary Collaboration among Plant and Animal Scientists	環境応答 座長：楠見 健介 森安 裕二 真野 弘明	
9:00	9:00-9:05 はじめに 豊倉浩一（神戸大・院・理）	9:00-9:05 はじめに	9:00-9:05 Introduction	2aE01 植物のCO ₂ 適応に関わるsORF の解析 山本あゆ ¹ , 山口剛史 ² , 花田耕介 ³ , 射 場厚 ² , 楠見健介 ² (¹ 九州大学・理・生 物, ² 九州大・院理・生物, ³ 九工大・生 命情報工学)	
9:15	9:05-9:30 2aSB01 フィールドでの発見からはじ まったチャルメルソウ属生態種 分化の進化遺伝学 奥山雄大（国立科学博物館植物研究 部）	9:05-9:30 2aSC01 地表で暮らす葉状性苔類がとる 光生存戦略 西浜竜一 ¹ , 井上佳祐 ¹ , 石崎公庸 ² , 河 内孝之 ¹ (¹ 京大・院・生命科学, ² 神戸 大・院・理)	9:05-9:23 2aSD01 Sexual reproduction and sex determination in green algae <u>Hiroyuki Sekimoto</u> (Fac. Sci., Japan Women's Univ.)	2aE02 順遺伝学的手法を用いたシロイ ヌナズナCO ₂ シグナル伝達因子 HT1キナーゼの下流に位置する 因子の探索 齋藤早希子 ¹ , 祢宜淳太郎 ¹ , 門田慧 奈 ¹ , 小嶋美紀子 ² , 榊原均 ² , 射場厚 ¹ (¹ 九州大・理・生物科学, ² 理研・環境 資源)	
9:30	9:30-9:55 2aSB02 順遺伝学で明らかにするアブラ ナ科の根の形態進化 豊倉浩一, 深城英弘（神戸大・院・理）	9:30-9:55 2aSC02 ヒメツリガネゴケにおける非対 称細胞分裂制御機構 五島剛太（名古屋大・院・理）	9:23-9:41 2aSD02 Roles of autophagy during male reproductive development and sexual reproduction in rice <u>Takamitsu Kurusu</u> ^{1,2} , Bunki Toh ³ , Shigeru Hanamata ³ , Takahiko Kubo ⁴ , Yozo Okazaki ⁵ , Takayuki Ohnishi ⁶ , Noriko Nagata ⁷ , Kazuki Saito ⁵ , Tetsu Kinoshita ⁶ , Nori Kurata ⁴ , Yuichi Tada ¹ , Kazuyuki Kuchitsu ^{2,3} (¹ Sch. Biosci. Biotech., Tokyo Univ. Tech., ² Imaging Frontier Center, Tokyo Univ. Sci., ³ Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci., ⁴ Plant Genet. Lab., NIG, ⁵ Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, ⁶ Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ., ⁷ Dept. Chem. Biol. Sci., Japan Women's Univ.)	2aE03 気孔の環境応答に及ぼす膜交通 阻害剤の効果 高橋将, 門田慧奈, 祢宜淳太郎, 射場 厚（九州大・院・生物科学）	
9:45			9:41-9:59 2aSD03 Toward understanding the molecular mechanism of spermatogenesis in plants using a liverwort <i>Marchantia</i> <i>polymorpha</i> as a model <u>Asuka Higo</u> ¹ , Kimitsune Ishizaki ² , Katsuyuki Yamato ³ , Takayuki Kohchi ¹ , Takashi Araki ¹ (¹ Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., ² Grad. Sch. Sci. Kobe Univ., ³ Fac. BOST, Kinki Univ.)	2aE04 細胞周期制御因子サイクリン依 存性リン酸化酵素A (CDKA) に よるストレス応答制御への関与 <u>川田慎也</u> ¹ , Bao Liang ¹ , 石橋充浩 ¹ , 巻 口勇馬 ¹ , 野田なつみ ² , 日渡祐二 ³ , 石 川雅樹 ^{4,5} , 鈴木穰 ⁶ , 菅野純夫 ⁶ , 長谷部 光泰 ^{4,5} , 藤田知道 ² (¹ 北大・院生命, ² 北 大・院理, ³ 宮城大・食産業, ⁴ 基生研・ 生物進化, ⁵ 総研大・生命科学, ⁶ 東大・ 院新領域)	

	F 会場	G 会場	H 会場	時間
	細胞増殖・細胞分化 座長：笹部 美知子 宮城島 進也 坂本 勇貴	分類・系統・進化 座長：三井 裕樹 徳岡 徹 齊藤 由紀子	発生・生長・形態形成 座長：小島 晶子 町田 千代子 川出 健介	
	2aF01 オオミズゴケの貯水機能に関わる細胞分化の分子機構の解明 寺田志織¹, 久保稔², 佐野亮輔¹, 坂本智昭¹, 倉田哲也³, 徐波¹, 野村俊尚⁴, 浦崎直也⁵, 米田新¹, 大谷美沙都¹, 加藤晃¹, 出村拓¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²奈良先端大・研究推進機構, ³東北大・院・生命科学, ⁴理研・CSRS, ⁵沖縄県農業研究センター)	2aG01 ミスミソウの訪花昆虫相ならびに色彩識別能力と花色の関係 亀岡慎一郎¹, 崎尾均², 阿部晴恵², 村井良徳³, 大橋一晴⁴, 瀬戸口浩彰¹ (¹京大・院・人・環, ²新潟大・農, ³国立科博・植物, ⁴筑波大・生命環境)	2aH01 シロイヌナズナの葉の向背軸性確立におけるAtIPT3の解析 小島晶子¹, 石橋奈々子², 香田佳那¹, 小嶋美紀子³, 高橋広夫⁴, 榊原均^{3,5}, 町田泰則², 町田千代子¹ (¹中部大学・応用生物, ²名大・院・生命, ³理研・CSRS, ⁴千葉大・院・園芸, ⁵名大・院・生命農学)	9:00
	2aF02 ポプラ幼苗を用いたテンションウッド形成過程の解析 川久保奈々¹, 中野仁美², 大谷美沙都¹, 久保稔³, 出村拓^{1,3} (¹奈良先端大・バイオ, ²産総研, ³奈良先端大・研究推進機構)	2aG02 マツ節（マツ科・マツ属）における球果形態の多様性 山田茉莉子¹, 山田敏弘¹, 西田治文² (¹金沢大・理工・自然システム, ²中央大・理工・生命科学)	2aH02 植物オミックス解析におけるデータクレンジングとデータマイニングー葉の発生分化機構解明への応用ー 高橋広夫¹, 小島晶子², 中川彩美², 町田泰則³, 町田千代子² (¹千葉大・院・園芸, ²中部大・応用生物, ³名大・院・生命理学)	9:15
	2aF03 VND7過剰発現による致死性を抑圧する因子PLANT U-BOXの解析 鈴木崇臣¹, 竹林有理佳², 佐野亮輔¹, 坂本智昭¹, 倉田哲也¹, 大谷美沙都^{1,2}, 出村拓^{1,2} (¹奈良先端大・バイオ, ²理研・CSRS)	2aG03 熊本県阿蘇半自然草地に生育するアザミ属数種の形態変異と種間交雑 竹田咲絵¹, 望月龍弥², 三井裕樹², 宮本太², 支倉千賀子³, 佐藤千芳⁴ (¹宇部市役所, ²東京農業大学, ³神奈川県川崎市, ⁴熊本植物研究所)	2aH03 ケミカルバイオロジーによるシロイヌナズナの葉の向背軸性の確立におけるAS1-AS2と共に働く因子の解析 中川彩美¹, 高橋広夫², 伊藤卓馬¹, 小島晶子¹, 町田泰則³, 町田千代子¹ (¹中部大・院・応用生物, ²千葉大・院・園芸, ³名古屋大・院・理)	9:30
	2aF04 Regulation of plant epidermal development in response to biotic and abiotic stresses Pingping Qian, Archana Kumari, Tatsuo Kakimoto (大阪大学理学研究科生物学専攻)	2aG04 イチョウの学名 <i>Ginkgo biloba</i> の起源 長田敏行¹, Ashley Duvall², Peter Crane² (¹植物医・法政大, ²Sch. Forest Env. Studies, Yale Univ.)	2aH04 シロイヌナズナの葉の軸形成におけるAS1-AS2-ETT 経路の役割 町田千代子¹, 中川彩美¹, 高橋広夫², 玉井元樹¹, 小島晶子¹, 町田泰則³ (¹中部大・院・応用生物, ²千葉大・院・園芸, ³名大・院・生命理学)	9:45

時間	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	
	シンポジウム ポストゲノム時代の 植物進化研究	シンポジウム 環境に応じた植物の形づくりを 支える仕組み	シンポジウム “Fusion” in Fertilization: Interdisciplinary Collaboration among Plant and Animal Scientists	環境応答 座長：楠見 健介 森安 裕二 真野 弘明	
10:00	9:55-10:20 2aSB03 逆遺伝学で明らかにするヒメツ リガネゴケの幹細胞制御機構 青山剛士, Jill Harrison (Department of Plant Sciences, University of Cambridge)	9:55-10:20 2aSC03 塩ストレス下における植物の積 極的な成長抑制 奥村徹, 伊藤正樹 (名古屋大・院・生 命農学)	9:59-10:17 2aSD04 Membrane traffic in spermatogenesis of <i>Marchantia</i> <i>polymorpha</i> Naoki Minamino ¹ , Takehiko Kanazawa ¹ , Atsuko Era ² , Ryuichi Nishihama ³ , Katsuyuki Yamato ⁴ , Kimitsune Ishizaki ⁵ , Takayuki Kohchi ³ , Akihiko Nakano ^{1,6} , Takashi Ueda ^{1,7} (¹ Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ² Natl. Inst. Genet., ³ Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., ⁴ Fac. Biol.- Orient. Sci. Tech., Kinki Univ., ⁵ Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, ⁶ Riken RAP, ⁷ PRESTO. JST)	2aE05 アブシジン酸シグナル伝達経路 を介した原形質連絡の制御 友井拓実 ¹ , 北川宗典 ² , 坂田洋一 ³ , 藤 田知道 ⁴ (¹ 北大・院・生命, ² 理研・横 浜, ³ 東農大・バイオサイエンス, ⁴ 北 大・院・理)	
10:15	10:20-10:30 休憩	10:20-10:30 休憩	10:17-10:35 2aSD05 Calcium sensors of ciliary outer arm dynein and eukaryotic evolution Kazuo Inaba (SMRC, Univ. Tsukuba)	2aE06 ABA低感受ヒメツリガネゴケ株 を用いたMAPKKKの解析 Masashi Saruhashi ¹ , Kumar Totan Ghosh ¹ , Yumiko Ishizaki ¹ , Kazuya Hagiwara ¹ , Taishi Umezawa ² , Yoichi Sakata ³ , Daisuke Takezawa ¹ (¹ Grad. Sch. Sci and Eng., Saitama Univ., ² Grad. Sch. BASE, Tokyo Univ. Agric. Tech., ³ Dept. Bioscience, Tokyo Univ. Agric.)	
10:30	10:30-10:55 2aSB04 網羅的遺伝子配列で明らかにす る水生植物カワゴケソウ科の多 様化の鍵 片山なつ ^{1,2} , 西山智明 ³ , 厚井聡 ⁴ , 倉田 哲也 ⁵ , 山田敏弘 ⁶ , 今市涼子 ¹ , 加藤雅 啓 ⁷ (¹ 日本女子大・理, ² 日本学術振興 会・特別研究員(PD), ³ 金沢大・学際, ⁴ 大阪市大・植物園, ⁵ 東北大・生命科 学, ⁶ 金沢大・理工, ⁷ 国立科博・植物)	10:30-10:55 2aSC04 極性をもった根の細胞成長の制 御メカニズム 高塚大知 ¹ , 梅田正明 ^{1,2} (¹ 奈良先端大・ バイオ, ² JST・CREST)	10:35-11:00 2aSD06 Sperm navigation in 3D Luis Alvarez (Dept. Mol. Sensory Sys., CAESAR)	休憩	
10:45				2aE07 ヒメツリガネゴケにおけるABI5 オルソログ遺伝子の機能解析 藤崎健 ¹ , 猿橋正史 ² , 佐藤加菜 ¹ , 大井 将護 ¹ , 太田輝昭 ¹ , 林隆久 ¹ , 坂田洋一 ¹ (¹ 東京農薬大・院・バイオ, ² 埼玉大・ 大学院・理工学研究科)	
11:00	10:55-11:20 2aSB05 RNA-seqで明らかにする群体性 ボルボックス目の有性生殖の分 子機構の進化 浜地貴志 (ドナルド・ダンフォース 植物科学センター)	10:55-11:20 2aSC05 植物に脳はあるか 遠藤求 ^{1,2} (¹ 京大・院・生命科学, ² JST・ さきがけ)	11:00-11:18 2aSD07 Fertilization of seaweeds. Attraction, recognition, attachment and fusion Taizo Motomura (Murooran Marine Station, FSC, Hokkaido Univ.)	2aE08 ヒメツリガネゴケの乾燥ストレ スにおけるオートファジーの生 理的意義 迎恭輔, 井上悠子, 森安裕二 (埼玉大・ 院・理工)	
11:15	11:20-11:45 2aSB06 共発現ネットワーク解析で明ら かにするトマト近縁種の葉の形 態進化 市橋泰範 ^{1,2} , José Aguilar-Martínez ² , Moran Farhi ² , Daniel Chitwood ² , Ravi Kumar ² , Lee Millon ² , Jie Peng ² , Julin Malooof ² , Neelima Sinha ² (¹ 理研・ CSRS, ² カリフォルニア大学デービス 校)	11:20-11:45 2aSC06 内生微生物を介した植物の成長 制御 晁間敬 ¹ , 今村崇裕 ¹ , 種田有加里 ¹ , 西 條雄介 ^{1,2} (¹ 奈良先端大・バイオ, ² JST さきがけ)	11:18-11:36 2aSD08 Novel insights into the molecular mechanism of sperm-egg fusion via IZUMO1 Naokazu Inoue ¹ , Yoshihisa Hagiwara ² , Danelle Wright ¹ , Takahisa Suzuki ¹ , Ikuro Wada ¹ (¹ Sch. Med., Univ. Fukushima Med, ² Health Res Inst., AIST)	2aE09 植物の炭素/窒素バランスに応 答した老化制御機構と鍵代謝物 の解析 青山翔紀 ¹ , John E. Lunn ² , Mark Stitt ² , 木羽隆敏 ³ , 榎原均 ³ , 佐藤長緒 ¹ , 山口 淳二 ¹ (¹ 北海道大・院生命, ² Max Planck Institute of Molecular Plant Physiology, ³ 理研・CSRS)	

	F 会場	G 会場	H 会場	時間
	細胞増殖・細胞分化 座長：笹部 美知子 宮城島 進也 坂本 勇貴	分類・系統・進化 座長：三井 裕樹 徳岡 徹 齊藤 由紀子	発生・生長・形態形成 座長：小島 晶子 町田 千代子 川出 健介	
	2aF05 真核藻類におけるエネルギー代謝と細胞周期進行の関係 宮城島進也, 藤原崇之, 恵良厚子 (国立遺伝学研究所 細胞遺伝)	2aG05 日本産ススキ属(イネ科)の系統とその分類 中森秀典¹, 東浩司², 増沢武弘¹, 徳岡徹¹ (¹静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻生物科学コース, ²京都大学理学研究科生物科学専攻)	2aH05 異なる <i>rpl4d</i> および <i>rpl4a</i> アリルで蓄積している変異型 mRNA の構造決定とその背腹性制御に及ぼす影響の解析 増田英典¹, 塚谷裕一^{2,3}, 堀口吾朗^{1,4} (¹立教大・理・生命, ²東大・院・理, ³岡崎統合バイオ, ⁴立教大・理・生命理学センター)	10:00
	2aF06 新規深部イメージング手法“TOMEI”の確立と解析 長谷川淳子¹, 中上知², 坂本勇貴¹, 澤進一郎², 松永幸大¹ (¹東理大・院・理工・応用生物科学, ²熊本大・院・自然科学)	2aG06 ミツバウツギ科の生殖器官の比較解剖学 石田卓也, 徳岡徹 (静岡大学大学院理学研究科生物科学専攻)	2aH06 <i>as2 rpl4d</i> で引き起こされる葉の背軸化に必要な SZK1 の発現解析 井上幹人¹, 中田未友希², 塚谷裕一³, 堀口吾朗^{1,2} (¹立教大・理・生命, ²立教大・理・生命センター, ³東大・院・理)	10:15
	休憩	休憩	休憩	10:30
	2aF07 カルス増殖に関与するエピジェネティクス因子の同定とカルスの核形態解析 勝山雄喜¹, 杉本薫¹, 長谷川淳子², 坂本勇貴¹, 石橋和樹², 坂本卓也¹, 金鍾明³, 関原明³, 松永幸大¹ (¹東理大・理工・応生, ²東理大・理工・院・応生, ³理研・CSRS)	2aG07 アジサイ科の生殖器官の比較解剖学 徳岡徹 (静岡大学理学研究科生物科学)	2aH07 シダ植物の葉形態異常変異体の解析 林岳去¹, 榎原恵子², 塚谷裕一^{1,3} (¹東京大学理学系研究科生物科学, ²金沢大学学際科学実験センター, ³岡崎統合バイオ)	10:45
	2aF08 植物器官再生に関与するエピジェネティック因子の解析 石原弘也¹, 杉本薫¹, 佐々木卓², 関原明², Elliot Meyerowitz³, 松永幸大¹ (¹東京理科大学理工学部応用生物科学科松永研究室, ²理化学研究所環境資源科学研究センター, ³California Institute of Technology, Division of Biology and Biological Engineering and Howard Hughes Medical Institute)	2aG08 日本および台湾におけるサギゴケ属の分類再検討 梅本巴莖¹, 中村剛², Qin-Er Yang³, Chan-Ho Park⁴, 横田昌嗣⁵, 國府方吾郎⁶ (¹茨大・連携院・農, ²北大・植物園, ³華南植物園, ⁴NIBR, ⁵琉大・理・海洋自然, ⁶科博・植物)	2aH08 水草ミズハコベの異形葉形成におけるトランスクリプトーム解析 古賀皓之¹, 塚谷裕一^{1,2} (¹東大・院・理, ²岡崎統合バイオ)	11:00
	2aF09 シロイヌナズナ根における DNA 複製機構の領域特異性の解析 檀山諒平, 松永幸大 (東京理科大学大学院 理工学研究科 応用生物科学専攻)	2aG09 琉球列島に生育するユリ科ホトトギス属植物の系統関係 上原早紀, 立石庸一, 齊藤由紀子 (琉球大・教育)	2aH09 シロイヌナズナの <i>angustifolia</i> 変異体における陽葉形成 吉田祐樹¹, 塚谷裕一^{1,2} (¹東大・院・理, ²岡崎統合バイオ)	11:15

時間	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	
	シンポジウム ポストゲノム時代の 植物進化研究	シンポジウム 環境に応じた植物の形づくりを 支える仕組み	シンポジウム “Fusion” in Fertilization: Interdisciplinary Collaboration among Plant and Animal Scientists	環境応答 座長：楠見 健介 森安 裕二 真野 弘明	
11:30			11:36-11:54 2aSD09 Genesis of life: A mechanism of sperm-egg fusion in mammals <u>Kenji Miyado</u> ¹ , Kenji Yamatoya ¹ , Natsuko Kawano ² (¹ Dept. Reprod. Biol. Natl. Res. Instit. Child Health and Dev., ² Dept. Life Sci. Sch. Agri. Meiji Univ.)	2aE10 培養液中の窒素形態がイネ及び シロイヌナズナ根のヨウ素酸還 元に及ぼす影響 <u>山上睦</u> , 久松俊一 (公益財団法人 環 境科学技術研究所)	
11:45	11:45-11:50 おわりに 市橋泰範 (理研・CSRS)	11:45-11:55 総合討論		2aE11 植物免疫系の活性化による生長 制御機構の解析 <u>森毅</u> ¹ , 時澤睦朋 ² , 西岡愛実 ¹ , 山下隼 ¹ , 山本義治 ² , 塚越啓央 ^{1,3} , 多田安臣 ^{1,4} (¹ 名大・院・生命理学, ² 岐阜大・応用 生物, ³ JST さきがけ, ⁴ 名大・遺伝子)	
12:00			11:54-12:12 2aSD10 Fusion of gamete nuclei and division of zygote nucleus in plants and animals <u>Takashi Okamoto</u> , Erika Toda, Yukinosuke Ohnishi (Dept. Biol. Sci., Tokyo Met. Univ.)	2aE12 サリチル酸が調節するアブシシ ン酸応答機構の解析 <u>吉村亮</u> ¹ , 野元美佳 ¹ , 塚越啓央 ^{2,3} , 多田 安臣 ^{1,2} (¹ 名大・院・生命理学, ² 名大・ 遺伝子, ³ JST さきがけ)	
12:15			12:12-12:22 2aSD11 Enzymatic production of reactive oxygen species in sexual reproduction <u>Kazuyuki Kuchitsu</u> ^{1,2} , Hidetaka Kaya ^{1,3} , Kenji Hashimoto ¹ (¹ Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci., ² Imaging Frontier Center, Tokyo Univ. Sci., ³ Natl. Inst. Agrobiol. Sci.)	2aE13 CRISPR/Cas9システムを用いた 「動かない」オジギソウの作出 <u>真野弘明</u> ¹ , 長谷部光泰 ^{1,2} (¹ 基生研・ 生物進化, ² 総研大・生命科学)	
			12:22-12:30 Discussion		
12:30					

	F 会場	G 会場	H 会場	時間
	細胞増殖・細胞分化 座長：笹部 美知子 宮城島 進也 坂本 勇貴	分類・系統・進化 座長：三井 裕樹 徳岡 徹 齊藤 由紀子	発生・生長・形態形成 座長：小島 晶子 町田 千代子 川出 健介	
	2aF10 シロイヌナズナにおける核ラミナタンパク質CRWNの解析 坂本勇貴¹, 佐藤満子², 豊岡公徳², 高木慎吾³, 松永幸大¹ (¹東理大・院・理工, ²理研・CSRS, ³大阪大・院・理)	2aG10 汎熱帯海流散布マメ科植物に共生する根粒菌 番場大¹, 中田さゆり¹, 青木誠志朗³, 高山浩司⁵, J. N. Farfan⁶, 宮正樹⁴, 伊藤元巳³, 梶田忠² (¹千葉大・院・理学, ²琉球大・熱生研・西表, ³東大・院・総合文化, ⁴千葉県立中央博物館, ⁵ふじのくに地球環境史ミュージアム, ⁶UNAM Institute de Ecologia)	2aH10 葉形態異常変異株 <i>an3</i> にみられるロイシン高感受性 川出健介^{1,2,3}, 堀口吾朗^{4,5}, 平井優美³, 塚谷裕一^{1,6} (¹岡崎統合バイオ, ²基生研, ³理研 CSRS, ⁴立教大・理・生命, ⁵立教大・理学部生命理学研究センター, ⁶東大・院・理)	11:30
	2aF11 コンデンシンIIによるクロマチン動態制御の解明 山下朋恵, 坂本卓也, 坂本勇貴, 松永幸大 (東理大・理工・応用生物科学)	2aG11 サイハイランの菌従属栄養レベルは共生菌種の影響を受け決定する 谷亀高広¹, 船曳恵理子², Marc-André Selosse³, 大和政秀⁴, 遊川知久¹ (¹科博・植物園, ²鳥大・農・院, ³Université Montpellier II, ⁴千葉大・教育)	2aH11 シロイヌナズナの細胞極性伸長に関わるANGUSTIFOLIAタンパク質の相互作用因子の探索 服部孝郎¹, 古谷朋之¹, 深尾陽一郎², 野元美佳³, 多田安臣^{3,4}, 塚谷裕一¹ (¹東大・院・理, ²立命館大・生命科学, ³名古屋大・院・理, ⁴名古屋大・遺伝子実験施設)	11:45
	2aF12 M期特異的キネシンNACK1のC末端領域は細胞板形成部位への局在に必要である 笹部美知子¹, 桧垣巧², 西田結花¹, 石橋奈々子³, 栗原大輔^{3,4}, 東山哲也^{3,4,5}, 西浜竜一⁶, 伊藤正樹⁷, 馳澤盛一郎², 町田泰則³ (¹弘前大・農生, ²東京大・院・新領域, ³名大・院・理, ⁴JST・ERATO, ⁵名大・WPI-ITbM, ⁶京大・院・生命科学, ⁷名大・院・生命科学)	12:00-12:30 2aG-AL1 奨励賞 座長：高宮正之 日本の地の利を活かしたシダ植物の多様性研究～特に配偶体と網状進化に着目して～ 海老原淳 (国立科博・植物)	12:00-12:30 2aH-AL1 奨励賞 座長：福田裕穂 二次細胞壁パターンを創り出す空間シグナルの研究 小田祥久 (国立遺伝研・新分野／総研大・遺伝)	12:00
	2aF13 葯壁タペート細胞で起こるDNA倍加のメカニズム 鈴木俊哉^{1,2}, 浜村有希³, 東山哲也^{3,4,5}, 石黒澄衛¹, 伊藤正樹^{1,2} (¹名大・院・生命農, ²JST・CREST, ³名大・院・理, ⁴名大・WPI-ITbM, ⁵JST・ERATO)			12:15
				12:30

時間	B会場	C会場	D会場	E会場	
	理事会主催シンポジウム 社会から望まれる理学博士!? —意外にあるキャリアパス	生 殖 座長：風間 裕介 武内 秀憲 井川 智子	細胞骨格・運動／細胞壁 座長：桧垣 匠 峯 一朗 高木 慎吾	植物微生物相互作用 座長：別役 重之 稲田 のりこ 中川 知己	
9:00	9:00-9:05 はじめに 澤進一郎（熊本大学大学院自然科学研究科理学専攻）	3aC01 ヒロハノマンテマの雌雄の花器官形成に関わるプログラム細胞死とそれを攪乱する黒穂菌 川元寛章, 山中香, 平田愛子, 河野重行（東京大・院・新領域・先端生命）	3aD01 ホウレンソウのピリン様蛋白質が葉緑体アンカーに果たす役割 高松秀安 ¹ , 森井真美 ¹ , 横田悦雄 ² , 高木慎吾 ¹ （ ¹ 大阪大学・院理・生物科学, ² 兵庫県立大・院・生命理学）	3aE01 シロツメクサは根粒／根比を制御してラメット間分業できるのか? 井上真登, 彦坂幸毅（東北大・院・生命科学）	
9:15	3aSB01 海外ボスドクから外資企業へのキャリアパス—博士号取得者の強み— 高橋靖幸（ダウ・ケミカル日本（株））	3aC02 ヒロハノマンテマY染色体の構造解析と組換え抑制領域の欠失マッピングプログラム DelMapperの開発 風間裕介 ¹ , 石井公太郎 ¹ , 池田時浩 ¹ , Dmitry Filatov ² , Margarita Chibalina ² , Roberta Bergero ³ , Deborah Charlesworth ³ , 河野重行 ⁴ , 阿部知子 ¹ （ ¹ 理研・仁科・生物照射, ² Dep. Plant Sci., Univ. Oxford, ³ Inst. Evol. Biol., Univ. Edinburgh, ⁴ 東京大・院・新領域・先端生命）	3aD02 Arabidopsis Msd1 proteins are required for nascent microtubule release from nucleation sites Noriyoshi Yagi ¹ , Takahiro Hamada ² , Masayoshi Nakamura ² , Mayumi Kawaguchi ² , Takehide Kato ² , Sachihito Matsunaga ¹ , Takashi Hashimoto ² （ ¹ Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci., ² Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST）	3aE02 マメ科植物—根粒菌共生において共生終了後に根粒菌はどうなるのか? 中川知己 ^{1,2} , 西山和華奈 ² , 宮田佳奈 ³ , 曾根奈那美 ³ , 吉備沙羅 ² , 矢部重樹 ² （ ¹ 基生研・共生システム, ² 横浜市立サイエンスフロンティア高校, ³ 明治大・農）	
9:30	3aSB02 企業における博士号と修士号の立ち位置 中平国光（日産化学工業（株）生物科学研究所農業研究部生理生化学G）	3aC03 イネのタペート細胞において減数分裂期 siRNA の生合成を促進する転写因子 小野聖二郎 ^{1,3} , 野々村賢一 ^{1,2} （ ¹ 国立遺伝学研究所 実験圃場, ² 総合研究大学院大学 生命科学研究科, ³ 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室）	3aD03 BY-2細胞における表層微小管配向再形成過程の画像定量解析 佐野行己 ¹ , 朽名夏磨 ^{1,2} , 馳澤盛一郎 ¹ （ ¹ 東京大・院・新領域, ² エルビクセル（株））	3aE03 硝酸による根粒共生阻害の遺伝的制御機構の解析 西田帆帆 ^{1,2} , 寿崎拓哉 ^{1,2,3} , 川口正代司 ^{1,2} （ ¹ 総研大・生命科学, ² 基生研・共生システム, ³ 筑波大・生命環境）	
9:45	3aSB03 生命科学を伝えるためにPhDは必要か? 工藤光子（立教大学 理学部 共通教育推進室）	3aC04 花粉管誘引ペプチドLUREへの応答を担う受容体キナーゼファミリーの解析 武内秀憲 ^{1,2} , 東山哲也 ^{1,2,3} （ ¹ 名大・院・理, ² JST・ERATO, ³ 名大・WPI-ITbM）	3aD04 表層微小管の動態制御に基づいた二次細胞壁の空間構築 杉山友希 ¹ , 福田裕穂 ¹ , 小田祥久 ² （ ¹ 東京大・院理・生物科学, ² 国立遺伝研・新分野）	3aE04 CRES-T法を用いた植物免疫応答のプログラム細胞死制御に関する転写因子の探索 市田佳菜絵 ¹ , 高林宏樹 ² , 光田展隆 ³ , 高木優 ^{3,4} , 多田雄一 ² , 来須孝光 ² （ ¹ 東京工科大院・バイオニクス, ² 東京工科大・応用生物, ³ 産総研・生物プロセス, ⁴ 埼玉大院・理工）	
10:00	3aSB04 企業での研究・技術員, そして, 特許技術者（審査官） 野村英雄（特許庁 審査第三部 生命工学）	3aC05 ゼニゴケ精子超低温保存法の開発 土川太輔 ¹ , 安達徹 ¹ , 田中大介 ² , 石崎公庸 ³ , 河内孝之 ⁴ , 大和勝幸 ¹ （ ¹ 近畿大院・生物理工学, ² 基生研・IBBPセンター, ³ 神戸大・院・理学, ⁴ 京大・院・生命科学）	3aD05 道管において壁孔の空間配置を制御するROP GTPaseシグナルの解析 長島慶宜 ^{1,2} , 福田裕穂 ² , 小田祥久 ¹ （ ¹ 国立遺伝研・新分野, ² 東京大・院・理）	3aE05 活性酸素種の積極的生成を指標とした新規植物免疫制御剤の探索と作用機構の解析 北畑信隆 ¹ , 吉川岳史 ¹ , 吉田亜祐美 ¹ , 助川夏雄 ¹ , 八木智華子 ¹ , 木村貴史 ¹ , 来須孝光 ^{1,2} , 浅見忠男 ³ , 朽津和幸 ¹ （ ¹ 東京理科大学理工学部応用生物科学科, ² 東京工科大学応用生物学部, ³ 東京大学大学院農学生命科学研究科）	
10:15	3aSB05 科学技術・学術研究マネジメントシステムを支えるPh.D.人材—URAとしての矜持と責任— 佐藤法仁（岡山大学リサーチ・アドミニストレーター（URA）執務室）	休憩	休憩	休憩	

F 会場	G 会場	H 会場	時間
生体膜／細胞内小器官 座長：上田 貴志 田中 博和 墨谷 暢子	分類・系統・進化 座長：藤浪 理恵子 内藤 健 土松 隆志	発生・生長・形態形成 座長：経塚 淳子 本瀬 宏康 石崎 公庸	
3aF01 除草剤, pentachlorophenol による細胞膜脱分極機構 新免輝男 ¹ , 栗田和貴 ² , 松永幸大 ² (¹ 兵庫県立大・院・生命理・生命, ² 東京理科大・理工・応用生物)	3aG01 オシダ科シダ植物ヤブソテツからの endophyte の単離と同定 大槻涼 ^{1,2} , 関本弘之 ² (¹ 駒澤大・総合教育, ² 日本女子大・理)	3aH01 黄金色藻 <i>Epipyxis pulchra</i> の細胞外被ロリカの微細構造と形成 関田諭子, 奥田一雄 (高知大・黒潮圏)	9:00
3aF02 シロイヌナズナにおける HOPS/CORVET complex の解析 竹元廣大 ¹ , 海老根一生 ¹ , 郷達明 ² , 井藤純 ³ , 中野明彦 ^{1,4} , 上田貴志 ¹ (¹ 東大院・理・生物科学, ² 神大・院・理, ³ 奈良先端大・バイオ, ⁴ 理研・光子工学)	3aG02 シダ植物小葉類ヒカゲノカズラ科の根と茎の分枝様式 藤浪理恵子 ¹ , 中嶋淳子 ² , 今市涼子 ¹ (¹ 日本女子大学 理学部 物質生物科学科, ² 日本女子大学大学院 理学研究科 物質・生物機能科学専攻)	3aH02 <i>Pleurochrysis haptanemofera</i> の円石形成 (in vitro 石灰化) 櫻田舜人 ¹ , 鈴木道生 ² , 小暮敏博 ³ , 板山翔 ¹ , 都筑幹夫 ¹ , 藤原祥子 ¹ (¹ 東薬大・生命, ² 東大・院農, ³ 東大・院理)	9:15
3aF03 細胞膜に局在する SNARE である SYP132 によるカロース制御の解析 海老根一生 ¹ , 植村知博 ¹ , 井上晋一郎 ² , 中野明彦 ^{1,3} , 上田貴志 ^{1,4} (¹ 東大・院理・生物科学, ² 名大・院理・生命理学, ³ 理研・光子工学, ⁴ JST・さきがけ)	3aG03 シダ類の心臓形配偶体における AM 菌感染率とクッション層の厚さ 鈴木絢子 ¹ , 橋本季巳江 ¹ , 大山ともこ ² , 片山なつ ² , 平山裕美子 ² , 辻田有紀 ³ , 海老原淳 ⁴ , 今市涼子 ² (¹ 日女大・院・理, ² 日女大・理学, ³ 佐賀大・農, ⁴ 国立科博・植物)	3aH03 球状群体形成へのもうひとつの進化：アストレフォメネ (緑藻綱, ボルボックス目) の発生学的解析 山下翔太, 新垣陽子, 豊岡博子, 野崎久義 (東京大・院・理・生物科学)	9:30
3aF04 ゼニゴケの SNARE 分子から観る膜融合装置の保存性と多様性 金澤建彦 ¹ , 恵良厚子 ^{1,2} , 南野尚紀 ¹ , 鹿野悠 ¹ , 藤本優 ³ , 植村知博 ¹ , 西浜竜一 ⁴ , 大和勝幸 ⁵ , 石崎公庸 ⁶ , 西山智明 ⁷ , 河内孝之 ⁴ , 中野明彦 ^{1,8} , 上田貴志 ^{1,9} (¹ Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ² Natl. Ins. Genet., ³ Grad. Sch. Agri. Life Sci., Univ. Tokyo, ⁴ Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., ⁵ Fac. Biol.-Orient. Sci. Tech., Kinki Univ., ⁶ Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, ⁷ ASRC, Kanazawa Univ., ⁸ RIKEN, ⁹ PRESTO, JST)	3aG04 Genetic diversity of New World Red Mangrove revealed by molecular data Gustavo Mori ¹ , Patrícia Mara Francisco ³ , Anete Pereira De Souza ³ , 高山浩司 ⁴ , 松本悠 ³ , 陶山佳久 ⁵ , 梶田忠 ⁶ , Maria Imaculada Zucchi ² (¹ 千葉大・院・理 / APTA (Brazil), ² APTA – São Paulo's Agency for Agribusiness Technology, Brazil, ³ UNICAMP, Brazil, ⁴ ふじのくに地球環境史ミュージアム, ⁵ 東北大・院・農, ⁶ 琉球大・熱生研・西表)	3aH04 褐藻アミジグサにおける傷害ストレス応答についての解析 田中厚子, 長里千香子, 本村泰三 (北海道大・北方セ)	9:45
3aF05 PEL1/ABCG11 タンパク質の細胞膜局在に関わる新規因子の探索 田井聡美, 柿辰辰男, 田中博和 (阪大・院理学)	3aG05 タイ北西部石灰岩地帯に見出された <i>Vigna</i> 属雑種集団 内藤健 ^{1,2} , 高橋有 ¹ , 井関洸太郎 ¹ , 北澤久美子 ³ , 入江憲治 ³ , 友岡憲彦 ¹ (¹ 農業生物資源研究所遺伝資源センター, ² JST さきがけ, ³ 東京農大・国際食料情報)	3aH05 パルマ藻 <i>Triparma laevis</i> の細胞外被形成過程の微細構造解析 山田和正 ¹ , 桂大貴 ² , 佐藤晋也 ² , 神谷充伸 ² , 大城香 ² , 一宮睦雄 ³ , 桑田晃 ⁴ , 長里千香子 ¹ , 本村泰三 ¹ , 吉川伸哉 ² (¹ 北大・北方セ, ² 福井県大・海洋生物, ³ 熊本県大・環境共生, ⁴ 水研セ・東北水研)	10:00
休憩	休憩	休憩	10:15

時間	B会場	C会場	D会場	E会場
	理事会主催シンポジウム 社会から望まれる理学博士!? 一意外にあるキャリアパス	生殖 座長：風間 裕介 武内 秀憲 井川 智子	細胞骨格・運動／細胞壁 座長：桧垣 匠 峯 一朗 高木 慎吾	植物微生物相互作用 座長：別役 重之 稲田 のりこ 中川 知己
10:30		3aC06 CpMinus1 遺伝子はヒメミカツキモの性を決定する 小宮あゆみ ¹ , 阿部淳 ² , 川井絢子 ² , 鈴木穰 ³ , 豊田敦 ⁴ , 藤山秋佐夫 ⁴ , 大槻涼 ² , 土金勇樹 ² , 西山智明 ⁵ , 関本弘之 ^{1,2} (¹ 日本女子大・院・理, ² 日本女子大・理, ³ 東大・院・新領域, ⁴ 遺伝研, ⁵ 金沢大・学際)	3aD06 シロイヌナズナ葉表皮細胞における細胞壁湾曲機構の解析 桧垣匠 ¹ , 今村寿子 ² , 秋田佳恵 ¹ , 朽名夏磨 ^{1,3} , 馳澤盛一郎 ¹ , 三浦岳 ² (¹ 東京大・院・新領域, ² 九州大・院・医学, ³ LPixel Inc.)	3aE06 細胞内膜交通系を介したシロイヌナズナの感染防御応答の制御機構の解析 羽山大介 ¹ , 大滝幹 ¹ , 北畑信隆 ¹ , 花俣繁 ¹ , 来須孝光 ^{1,2} , 海老根一生 ³ , 筒井友和 ³ , 上田貴志 ³ , 朽津和幸 ¹ (¹ 東京理科大・院・理工・応用生物科学, ² 東京工科大・応用生物, ³ 東京大・理・生物科学)
10:45	10:45-10:55 休憩	3aC07 新規雄性配偶子膜特異的タンパク質 AtLGM1の機能解析 高橋太郎 ¹ , 森稔幸 ² , 上田健治 ³ , 豊岡博子 ² , 山田力志 ⁴ , 澤田均 ⁴ , 野崎久義 ² , 井川智子 ¹ (¹ 千葉大・院・園芸, ² 東大・院・理・生物科学, ³ 秋田県大・生物資源, ⁴ 名古屋大・院・理)	3aD07 細胞壁構築におけるβ-(1→3), (1→4)-グルカンの機能解明 竹内美和, 九鬼寛明, 黒羽剛, 横山隆亮, 西谷和彦 (東北大・院・生命科学)	3aE07 サリチル酸・ジャスモン酸相互作用による植物免疫反応場の形成機構 別役重之 ^{1,2} , 加藤新平 ³ , 竹林裕美子 ⁴ , 榊原均 ⁴ , 福田裕穂 ² (¹ JST さきがけ, ² 東大・院・理, ³ 信州大・農, ⁴ 理研 CSRS)
11:00	10:55-12:00 3aSB06 博士公務員によるドクターコース進学へのススメ 岡野陽介 (京都府農林水産部農産課)	3aC08 緑藻ゴニウムのプラス／マイナス配偶子からの接合突起の単離と解析—新規接合関連因子の同定を目指して— 豊岡博子 ¹ , 森稔幸 ¹ , 中澤志織 ² , 山田力志 ² , 鈴木雅大 ³ , 茂木祐子 ¹ , 浜地貴志 ⁴ , 宮城島進也 ⁵ , 澤田均 ² , 野崎久義 ¹ (¹ 東京大・院・理, ² 名古屋大・院・理・附属臨海実験所, ³ 神戸大・内海城, ⁴ Donald・ダンフォース植物科学センター, ⁵ 国立遺伝研)	3aD08 カルス形成に関するペクチンリラーゼ遺伝子の解析 神崎明花 ¹ , 出村拓 ^{1,2} , 大谷美沙都 ^{1,2} (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 理研・CSRS)	3aE08 植物免疫の空間的制御におけるWRKY38機能の解析 浜田紗穂 ¹ , 別役重之 ^{1,2} , 福田裕穂 ¹ (¹ 東大・院・理, ² JST さきがけ)
11:15	3aSB07 大学発ベンチャーとして起業するという選択肢 鈴木健吾 (株式会社ユウグレナ)	3aC09 イネ受精卵内における精核の移動はアクチンメッシュの卵核方向への集約に依存する 大西由之佑, 岡本龍史 (首都大・院・理工)	3aD09 膜交通過程におけるシロイヌナズナのペクチンメチルエステラーゼPME35の機能制御について 小浜大山, 篠原直貴, 横山隆亮, 西谷和彦 (東北大・院・生命科学)	3aE09 糸状菌病原体うどんこ病菌の感染確立における宿主シロイヌナズナのアクチン脱重合因子ADF4の機能解析 稲田のりこ ¹ , 桧垣匠 ² , 馳澤盛一郎 ² (¹ 東京大・院・理, ² 東京大・院・新領域)
11:30		3aC10 褐藻ムチモ (異形配偶子接合)の走化性における鞭毛運動解析 木ノ下菜々 ¹ , 長里千香子 ² , 本村泰三 ² (¹ 北大・院・環境科学, ² 北大・北方セ)	3aD10 多核緑藻サイノメアミハの分割細胞分裂と細胞骨格の動態 岩淵美紗 ¹ , 神谷充伸 ² , 関田諭子 ³ , 奥田一雄 ³ (¹ 高知大・理・生物科学, ² 福井県立大・海洋生物資源, ³ 高知大・黒潮圏)	
11:45	3aSB08 博士の専門性とフィロソフィーをビジネスに 高橋修一郎 (株式会社リバネス)		3aD11 葉状緑藻カワノリにおける栄養細胞の細胞分裂と細胞壁構造 木下麗 ¹ , 峯一朗 ² , 奥田一雄 ² (¹ 高知大・理, ² 高知大・院・黒潮圏)	
12:00				

	F 会場	G 会場	H 会場	時間
	生体膜／細胞内小器官 座長：上田 貴志 田中 博和 墨谷 暢子	分類・系統・進化 座長：藤浪 理恵子 内藤 健 土松 隆志	発生・生長・形態形成 座長：経塚 淳子 本瀬 宏康 石崎 公庸	
	3aF06 オーキシン排出タンパク質 PIN1 の細胞内輸送に関わる <i>BEN3</i> 遺伝子の解析 北倉左恵子¹, 松浦友紀¹, Maciek Adamowski², Jiri Friml², 柿本辰男¹, 田中博和¹ (¹阪大・理・生物科学, ²IST Austria)	3aG06 汎熱帯海流散布植物ハマアズキ (マメ科) の集団遺伝解析 山本崇¹, 津田吉晃², 高山浩司³, 永嶋礼子¹, 立石庸一⁴, 梶田忠³ (¹千葉大・院・理学, ²筑波大・菅平セ, ³ふじのくに地球環境史ミュージアム, ⁴琉球大・教育, ⁵琉球大・熱生研・西表)	3aH06 ゼニゴケの杯状体と生殖器官の形成に関与する R2R3-MYB 型転写因子 GCAM2 の解析 高見英幸¹, 塚本成幸¹, 増田晃秀², 深城英弘¹, 三村徹郎¹, 河内孝之², 石崎公庸¹ (¹神戸大・院・理, ²京大・院・生命科学)	10:30
	3aF07 ヒメツリガネゴケ葉緑体に存在するペプチドグリカン層 平野隆之¹, 谷所幸治¹, 佐藤モモ¹, 只野慎治¹, 石川勇人¹, 瀧尾進^{1,2}, 武智克彰¹, 高野博嘉^{1,3} (¹熊本大・院・自然科学, ²熊本大・沿岸域センター, ³熊本大・パルスパワー科学研究所)	3aG07 隔離分布種モクレイシにおける系統地理と集団遺伝構造 山田孝幸¹, 國府方吾郎², 藤井伸二³, 牧雅之⁴ (¹科博・分子, ²科博・植物, ³人間環境大, ⁴東北大・植物園)	3aH07 無性芽形成異常変異体 <i>karappo-2</i> における変異原因遺伝子の解析 樋渡琢真¹, 山口勝司², 重信秀治², 澤進一郎³, 深城英弘¹, 三村徹郎¹, 河内孝之⁴, 石崎公庸¹ (¹神戸大・院・理, ²基生研, ³熊本大・院・自然科学, ⁴京都大・院・生命)	10:45
	3aF08 GTP 依存的制御によるダイナミンリングの形成と収縮機構の解析 井元祐太¹, 本庄雅則¹, 奥本寛治², 吉田昌樹³, 大沼みお⁴, 黒岩晴子⁵, 黒岩常祥⁵, 藤本幸夫¹ (¹九大・院・生医研, ²九大・理・生物科学, ³筑波大・環境, ⁴広島商船, ⁵日本女子大・理)	3aG08 ソシエテ・マルケサス諸島における内陸性オオハマボウ集団の分化 高山浩司¹, 山本崇², 梶田忠³ (¹ふじのくに地球環境史ミュージアム, ²千葉大・院・理学, ³琉球大・熱生研・西表)	3aH08 ゼニゴケ初期胚発生を制御する因子の探索 丹羽優喜¹, 酒井友希¹, 石田喬志², 西浜竜一¹, 石崎公庸³, 大和勝幸⁴, 澤進一郎², 河内孝之¹, 荒木崇¹ (¹京都大・院・生命, ²熊本大・院・自然科学, ³神戸大・院・理, ⁴近畿大・生物理工)	11:00
	3aF09 真核藻類における葉緑体分裂チェックポイントの解析 墨谷暢子^{1,2}, 藤原崇之¹, 恵良厚子^{1,2}, 宮城島進也^{1,2,3} (¹遺伝研・細胞遺伝, ²JST・CREST, ³総研大・生命科学・遺伝学)	3aG09 海浜植物ハマエンドウのエコタイプ (淡水型・海浜型) における耐塩性に関するトランスクリプトーム解析 大槻達郎¹, 萬年一斗², 鈴木秀幸², 水谷正治³, 瀬戸口浩彰¹ (¹京大・院・人環, ²かずさ DNA 研・バイオ研究開発部, ³神戸大・院・農)	3aH09 ゼニゴケ ALOG ドメイン遺伝子 <i>MpTAW1</i> の機能解析 経塚淳子¹, 石崎公庸², 嶋村正樹³, 徳永浩樹^{1,5}, 吉田明希子^{1,5}, 塚本成幸², 高見英幸², 西浜竜一⁴, 河内孝之⁴ (¹東北大・院・生命, ²神戸大学・院・理, ³広島大学・院・理, ⁴京都大学・院・生命, ⁵CREST)	11:15
	3aF10 葉緑体核様体コア因子の多様性と進化 小林優介¹, 田草川真理^{1,6}, 原田尚実¹, 深尾陽一朗^{2,7}, 山岡尚平³, 河内孝之³, 堀孝一⁴, 太田啓之^{4,5}, 鹿内利治¹, 西村芳樹¹ (¹京大・院・理学, ²奈良先端大・植物グローバル, ³京大・院・生命, ⁴東工大・バイオ研究基盤支援総合センター, ⁵東工大・地球生命研究所, ⁶山口大・院・医学, ⁷立命館大・生命科学)	3aG10 全ゲノム配列を使った日本産ミヤコグサの開花時期多様性に関わる遺伝的背景の比較 若林智美¹, Stig Andersen², 佐藤修正³, 川口正代司⁴, 瀬戸口浩彰¹ (¹京大・院・人環, ²Aarhus University, ³東北大・院・生命, ⁴基生研・共生)	3aH10 ゼニゴケ <i>Marchantia polymorpha</i> の活性酸素種生成酵素 MpRbohA, B の発現部位と生理機能の解析 木村貴史¹, 橋本研志¹, 藪田渉二¹, 賀屋秀隆², 北畑信隆¹, 石崎公庸³, 西浜竜一⁴, 河内孝之⁴, 朽津和幸^{1,5} (¹東京理科大・院・理工・応用生物学, ²農業生物資源研, ³神戸大・院・理, ⁴京大・院・生命, ⁵東京理科大・イメージングフロンティアセンター)	11:30
	3aF11 紅藻シズンを基盤にした顕微比較ゲノム測定による最小真核緑藻メダカモの発見と意義・今後の展開 黒岩常祥^{1,2}, 三角修己^{2,3}, 野崎久義⁴, 大沼みお⁵, 井元祐太⁶, 黒岩晴子^{1,2} (¹日本女子大学理学部物質生物学科, ²JST・CREST, ³山口大・理, ⁴東大・院・理, ⁵広島商船高専・一般教科, ⁶九大・生医研)	3aG11 自殖シンドローム：シロイヌナズナにおける自殖に関わる花形質の進化 土松隆志^{1,2,3}, 角井宏行², 山崎美紗子², Cindy Marona⁴, Dazhe Meng³, 金岡雅浩⁵, Thomas Stadler⁶, Michael Lenhard⁴, Magnus Nordborg³, 清水健太郎² (¹東大・総合文化, ²University of Zurich, ³Gregor Mendel Institute, ⁴University of Potsdam, ⁵名古屋大学, ⁶ETH Zurich)	3aH11 ゼニゴケ NIMA 関連キナーゼは仮根細胞の伸長を制御する 大谷健人¹, 高谷彰吾¹, 石崎公庸², 西浜竜一³, 河内孝之³, 高橋卓¹, 本瀬宏康¹ (¹岡山大学・院・自然科学, ²神戸大学・院・理, ³京都大学・院・生命科学)	11:45
				12:00

時間	C会場	D会場	E会場
	光合成 座長：菊谷 早絵 藤田 知道	細胞壁 座長：堤 祐司 佐藤 康	生態・生理生態・種生態・群落保全 座長：瀬戸口 浩彰 久米 篤
14:30	3pC01 藻類の高効率光合成に関わる新規チラコイド因子 菊谷早絵 ¹ , 宮武愛 ¹ , 長里千香子 ² , 松田祐介 ¹ (¹ 関学大・院・理工, ² 北大・北方セ)	3pD01 レーザーマイクロダイセクションを用いたポプラ木化進行過程におけるリグニン解析 堤祐司 ¹ , 和田卓 ² (¹ 九大・院・農, ² 九大・院・生資環)	3pE01 変動光に対するクワズイモの葉の光合成系の馴化 松尾光敏, 河野優, 野口航, 寺島一郎 (東大・院・理・植物生態)
14:45	3pC02 海洋性珪藻 <i>Phaodactylum tricornutum</i> における PtSLC4-1 の機能解析 太橋弘章, 中島健介, 松田祐介 (関学大・院・理工)	3pD02 アメリカネナシカズラの寄生メカニズムの解明 柴田航希 ¹ , 加賀悠樹 ¹ , 堀江佐知子 ¹ , 倉田哲也 ¹ , 牧雅之 ² , 横山隆亮 ¹ , 西谷和彦 ¹ (¹ 東北大学大学院生命科学研究所, ² 東北大学植物園)	3pE02 ハイマツの地上部成長は土壌の保水力によって制限されている 久米篤 (九州大学大学院農学研究院)
15:00	3pC03 緑藻クラミドモナスにおける光化学系IIサブユニットのアミノ酸置換と活性への影響 黒田洋詩 ^{1,3} , 岡本真奈 ² , 高橋裕一郎 ^{1,3} (¹ 岡山大・院・自然科学, ² 岡山大・理・生物, ³ JST-CREST)	3pD03 シロイヌナズナ4倍体を用いた細胞サイズ決定メカニズムの解析 鳴川秀樹 ¹ , 横山隆亮 ¹ , 小牧伸一郎 ² , 杉本慶子 ² , 西谷和彦 ¹ (¹ 東北大・院・生命科学, ² 理研・CSRS)	3pE03 The effect of dominant species on species diversity in subalpine shrub-grassland of Mt. Xue Wei Wang (National Chung Hsing University)
15:15	3pC04 シアノバクテリアにおいて、呼吸基質が光合成電子伝達に影響を与える経路の解明 鈴木健太, 青木彩夏, 小川敬子, 園池公毅 (早稲田大学教育総合科学学術院)	3pD04 シロイヌナズナとミトリササゲにおける臨界降伏圧の比較 中里朱根, 小野寺明 (昭和薬科大・生物)	3pE04 シオジの雌雄個体間で開花と直径成長に違いは見られるか？ 崎尾均 (新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション)
15:30	3pC05 シアノバクテリアにおける糖脂質合成系の検討 佐藤直樹 ^{1,2} (¹ 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系, ² JST, CREST)	3pD05 GlcNAc 及び GalNAc の再利用経路に関わるシロイヌナズナ突然変異体の単離と解析 小松淳平 ¹ , 佐藤康 ² (¹ 愛媛大・理・生物, ² 愛媛大・院・理工・環境機能)	3pE05 ネムノキが持つ頂生花と側生花の繁殖機能に関する比較研究 加藤沙織 ¹ , 水澤玲子 ² , 黒沢高秀 ³ (¹ 福島大・院・共生システム理工, ² 福島大・人間発達文化, ³ 福島大・共生システム理工)
15:45	3pC06 ヒメツリガネゴケにおけるアブシジン酸による熱放散の制御 藤田拓矢 ¹ , 鈴木雄大 ² , 高林厚史 ³ , 坂田洋一 ⁴ , 田中歩 ³ , 藤田知道 ⁵ (¹ 北大・院・生命, ² 北大・理・生物科学, ³ 北大・低温研, ⁴ 東農大・バイオサイエンス, ⁵ 北大・院・理)	3pD06 真菌由来 AGP 糖鎖分解酵素を導入したシロイヌナズナの形質 吉見圭永 ¹ , 吉村真美 ¹ , 八嶽頼誠 ¹ , 芝野誠二 ² , 出崎能丈 ³ , 澁谷直人 ³ , 円谷陽一 ¹ , 小竹敬久 ¹ (¹ 埼玉大・院・理工, ² 埼玉大・理, ³ 明治大・農)	3pE06 タンポポにおける繁殖干渉～セイヨウタンポポによる花粉干渉とそれに伴う雑種形成の有無の検証～ 竹森朱音 ¹ , 内貴章世 ² , 金岡雅浩 ³ , 西田佐知子 ⁴ , 高倉耕一 ⁵ (¹ 岡山大・院・教育, ² 琉球大・熟生研, ³ 名古屋大・理, ⁴ 名古屋大・博物館, ⁵ 滋賀県立大・環境科学)
16:00	3pC07 シロイヌナズナ野生型, PGR5過剰発現体, 欠損変異体のチラコイドの比較 寺島一郎 ^{1,2} , 河野優 ¹ (¹ 東京大学・大学院理学系研究科・生物科学専攻・植物生態学研究室, ² CREST)	3pD07 襟に隠されたヒミツ：ウツボカズラの水流コントロール 町田悟, 市毛敬介, 植田忠伸, 田中秀典, 山田登, 中野充 ((株) 豊田中央研究所)	3pE07 絶滅危惧種オオキンレイカの遺伝的多様性の評価と域外保全ネットワークの作成 瀬戸口浩彰 ¹ , 東広之 ¹ , 服部千恵 ¹ , 伊藤元己 ² , 平塚健一 ³ , 肉戸裕行 ³ , 長澤淳一 ³ (¹ 京大・院・人環, ² 東大・院・総合文化, ³ 京都・府立植物園)
16:15			3pE08 絶滅危惧植物チチブイワザクラにおける域外保全集団と野生復帰集団の遺伝構造 山本将也 ¹ , 瀬戸口浩彰 ¹ , 倉田薫子 ² (¹ 京都大学大学院人間環境学研究所, ² 横浜国立大学大学院教育学研究科)
16:30			

F 会場	G 会場	H 会場	時間
細胞内小器官 座長：井内 智美 西村 芳樹	分類・系統・進化 座長：野崎 久義 児島 征司	発生・生長・形態形成 座長：爲重 才覚 近藤 侑貴	
3pF01 藻類におけるバイオエネルギー生産と細胞小器官の機能に関する細胞学的研究 黒岩晴子^{1,2}, 大沼みお³, 三角修己^{2,4}, 井元祐太⁵, 黒岩常祥^{1,2} (¹日本女子大・理, ²JST/CREST, ³広島商船高専, ⁴山口大・理, ⁵九大・生医研)	3pG01 シャジクモの遺伝学的解析に向けた交配実験系の確立 宮田大輔¹, 西山智明², 川井浩史³, 坂山英俊¹ (¹神戸大・院・理・生物, ²金沢大・学際科学セ, ³神戸大・内海域セ)	3pH01 イネ花序形成におけるTAW1のメリステム相転換調節の解析 徳永浩樹^{1,2}, 吉田明希子^{1,2}, 山崎諒³, 近森正信³, 経塚淳子^{1,2} (¹東北大・院・生命科学, ²JST・CREST, ³東大・院・農学生命)	14:30
3pF02 出芽酵母の変異型アルデヒド脱水素酵素を用いたミトコンドリア封入体形成機構の解析 井内智美, 宮川勇 (山口大・院・理工学)	3pG02 地衣類に共生するカワノリ科藻類の多様性と系統 半田信司¹, 大村嘉人², 溝渕綾¹, 坪田博美³ (¹広島県環境保健協会, ²国立科博・植物, ³広島大・院・理)	3pH02 NaKR1による花成制御機構の解析 根岸克弥, 丹羽優喜, 遠藤求, 荒木崇 (京都大・院・生命科学)	14:45
3pF03 NUC2高発現株のミトコンドリア形態とNuc2pの細胞内局在の解析 田浦花, 井内智美, 宮川勇 (山口大・院・理工)	3pG03 無壁二鞭毛性オオヒゲマワリ目緑藻類の新規株と分類学的研究 仲田崇志^{1,2}, 高橋廉^{2,3}, 富田勝^{1,2} (¹慶大・政策メディア・先端生命, ²慶大・先端生命研, ³鶴岡中央高校)	3pH03 EPFLペプチドによる葉でのオーキシン応答抑制 爲重才覚¹, 岡本智史², Jin Suk Lee³, 相田光宏², 田坂昌生², Keiko Torii^{1,3,4}, 打田直行¹ (¹名大・ITbM, ²NAIST, ³Univ. Washington, ⁴HHMI)	15:00
3pF04 酵母呼吸欠損株から単離した二種類のミトコンドリア核様体の性質 岡本哲, 井内智美, 宮川勇 (山口・院・理工)	3pG04 琵琶湖産ボルボックス2種の形態・生殖・種分類 野崎久義¹, 松崎令¹, 山本荷葉子¹, 高橋文雄² (¹東京大学・理・生物, ²立命館大学・生命科学)	3pH04 表皮分化を制御するATML1遺伝子の転写および転写後制御 飯田造行, 吉田彩香, 高田忍 (大阪大学大学院理科学研究科生物科学専攻)	15:15
3pF05 ミトコンドリア核様体構造からみた母性遺伝の分子機構 西村芳樹¹, 田草川真理^{1,3}, 鹿内利治¹, 東江昭夫² (¹京大・院・理・植物分子遺伝学研究室, ²千葉大・真菌医学研究センター, ³山口大・院・医・応用分子生命科学)	3pG05 接合藻ヒメミカヅキモにおける新規交配群Gの発見とトランスクリプトーム解析 土金勇樹¹, 渡邊樹梨¹, 加藤万智¹, 鈴木穰², 西山智明³, 関本弘之¹ (¹日本女子大・理, ²東大・院・新領域, ³金沢大・学際)	3pH05 維管束幹細胞における細胞運命制御の分子機構 齊藤真人, 近藤侑貴, 福田裕穂 (東大・院・理)	15:30
3pF06 Cyanidioschyzon merolaeにおけるオーロラキナーゼを介したミトコンドリア分裂制御メカニズムの解析 岡村枝里佳¹, 松永朋子¹, 加藤翔一¹, 坂本卓也¹, 井元祐太², 大沼みお³, 野村有子⁴, 中神弘史⁴, 黒岩晴子⁵, 河野重行⁶, 黒岩常祥⁵, 松永幸大¹ (¹東理大・院・理工・応用生物科学, ²九大・生医研, ³広島商船高専, ⁴理研 CSRS, ⁵日本女子大・理・物質生物科学, ⁶東京大・院・新領域・先端生命科学)	3pG06 灰色藻葉緑体の細胞壁ペプチドグリカン結合蛋白質は非藍藻系統に由来する 児島征司^{1,2}, 村本光二¹, 草野友延¹ (¹東北大・院・生命科学, ²東北大・学際研)	3pH06 Analysis of the regulation of phloem cell fate in <i>Arabidopsis thaliana</i> Alif Meem Nurani, 近藤侑貴, 福田裕穂 (東大・院・理)	15:45
3pF07 TALエフェクターを用いたシロイヌナズナクロマチンの可視化 藤本聡¹, 菅野茂夫², 刑部敬史², 松永幸大¹ (¹東京理科大・理工・応用生物, ²徳島大・農工商連携センター)	3pG07 藻食の非光合成原生生物における光合成酸化ストレスへの対処機構の解析 宇塚明洋^{1,2}, 廣岡俊亮^{2,3}, 兼崎友^{3,4}, 吉川博文^{3,5}, 藤原崇之², 宮城島進也^{1,2,3} (¹総研大, ²遺伝研・細胞遺伝, ³JST/CREST, ⁴東京農大, ⁵ゲノム解析セ, ⁶東京農大, バイオ)	3pH07 分化誘導系とセルソーティングを組み合わせた篩部分化過程のトランスクリプトーム解析 近藤侑貴, 福田裕穂 (東大・院・理)	16:00
3pF08 ヒメツリガネゴケの葉緑体tRNAのスプライシングに関与する新規PPRタンパク質の同定 後藤誠也¹, 一瀬瑞穂², 杉田千恵子¹, 杉田護¹ (¹名大・遺伝子, ²名大・トランスフォーマティブ生命分子研 (WPI-ITbM))	3pG08 Rhopalodia 科珪藻における細胞内共生シアノバクテリアのゲノム縮小進化 中山卓郎¹, 神川龍馬², 谷藤吾朗³, 稲垣祐司^{1,3} (¹筑波大・計算科学, ²京都大・院・地球環境学, ³筑波大・生命環境)	3pH08 京野菜であるミズナとミブナに見られる葉形変異のQTL解析 川勝弥一¹, 上ノ山華織¹, 五十嵐香理², 中山北斗^{1,3}, 八杉公基³, 工藤洋⁴, 永野惇^{4,5,6}, 矢野健太郎², 久保中央⁷, 木村成介¹ (¹京産大 総合生命, ²明治大 農, ³日本学術振興会, ⁴京大 生医研, ⁵さきがけ, ⁶龍谷大 農, ⁷京府大 生命環境, ⁸基生研)	16:15
			16:30

●座長表（口頭発表）

開催日	会 場	演題番号	分 野	座長氏名
9月6日 午前	D	1aD01 ～ 1aD09	遺伝子発現制御・情報伝達 ／ゲノム・プロテオーム	栗原 志夫 丸山 真一郎 朽名 夏磨
	E	1aE01 ～ 1aE11	環境応答	戸田 恭子 成川 礼 芳賀 健
	F	1aF01 ～ 1aF11	代謝・物質生産・メタボローム・バイオエネルギー	宮城 敦子 宮原 平 村井 良徳
9月6日 午後	E	1pE01 ～ 1pE13	成長生理／発生・生長・形態形成	朝比奈 雅志 小林 康一 杉山 宗隆
	F	1pF01 ～ 1pF13	代謝・物質生産・メタボローム・バイオエネルギー／分類・系統・進化	大田 修平 恵良 厚子 野田口 理孝
9月7日 午前	E	2aE01 ～ 2aE13	環境応答	楠見 健介 森安 裕二 真野 弘明
	F	2aF01 ～ 2aF13	細胞増殖・細胞分化	笹部 美知子 宮城島 進也 坂本 勇貴
	G	2aG01 ～ 2aG11	分類・系統・進化	三井 裕樹 徳岡 徹 齊藤 由紀子
	H	2aH01 ～ 2aH11	発生・生長・形態形成	小島 晶子 町田 千代子 川出 健介
9月8日 午前	C	3aC01 ～ 3aC10	生殖	風間 裕介 武内 秀憲 井川 智子
	D	3aD01 ～ 3aD11	細胞骨格・運動／細胞壁	桧垣 匠 峯 一朗 高木 慎吾

開催日	会 場	演題番号	分 野	座長氏名
9月8日 午前	E	3aE01 ～ 3aE09	植物微生物相互作用	別役 重之 稲田 のりこ 中川 知己
	F	3aF01 ～ 3aF11	生体膜／細胞内小器官	上田 貴志 田中 博和 墨谷 暢子
	G	3aG01 ～ 3aG11	分類・系統・進化	藤浪 理恵子 内藤 健 土松 隆志
	H	3aH01 ～ 3aH11	発生・生長・形態形成	経塚 淳子 本瀬 宏康 石崎 公庸
9月8日 午後	C	3pC01 ～ 3pC07	光合成	菊谷 早絵 藤田 知道
	D	3pD01 ～ 3pD07	細胞壁	堤 祐司 佐藤 康
	E	3pE01 ～ 3pE08	生態・生理生態・種生態・ 群落保全	瀬戸口 浩彰 久米 篤
	F	3pF01 ～ 3pF08	細胞内小器官	井内 智美 西村 芳樹
	G	3pG01 ～ 3pG08	分類・系統・進化	野崎 久義 児島 征司
	H	3pH01 ～ 3pH08	発生・生長・形態形成	爲重 才覚 近藤 侑貴

奇数番号：9月7日（月） 13:30～15:00 発表

偶数番号：9月8日（火） 13:00～14:30 発表

分類・系統・進化

P-001

気生シアノバクテリアの多様性と系統

須田彰一郎¹, 澄本慎平², Xuan Hoa Nguyen³, Hoan Vu Thi¹

(¹琉球大学理学部海洋自然科学科生物系, ²琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻, ³琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻)

P-002

植物の花や果実に棲息する高発酵性の野生出芽酵母について

久富泰資, 吉川成美, 亀川裕生, 西川賢一, 杉原千紗

(福山大・生命工学)

P-003

ニガクリタケ（モエギタケ科）における隠蔽種の探索

太田峻真¹, 堀清鷹¹, 村上哲明^{1,2}, 佐藤博俊²

(¹首都大・院・生命科学, ²京大・生態研セ)

P-004

二分裂型トレボキシア藻にみられる糸状体形成の有無と分裂面の細胞壁

山本真紀¹, 半田信司², 河野重行³

(¹専修大・自然科学研, ²広島県環境保健協会, ³東大・院・新領域・先端生命)

P-005

伊豆半島における海洋植物の多様性調査

畠田智¹, 山崎麻子², 伊藤舞花¹

(¹お茶大・理・生物, ²お茶大院・ライフサイエンス)

P-006

Trentepohlia odorata（スミレモ科）系統保存株 CCAP 483/4 の形態と分子系統学的位置

正田いずみ¹, 半田信司², 井上侑哉¹, 中原-坪田美保³,

嶋村正樹¹, 坪田博美¹

(¹広島大・院・理, ²広島県環境保健協会, ³千葉中央博・共同研究員)

P-007

ノルウェー産オイル産生微細緑藻類未同定株の系統的位置と形態的特徴

川崎悠里子^{1,2}, 仲田崇志^{1,2}, 富田勝^{1,2}

(¹慶大・政策メディア・先端生命, ²慶大・先端生命研)

P-008

シャジクモ藻類ヒメミカヅキモには、2つのクラスの *KNOX* 遺伝子が存在する

金澤愛樹¹, 坂本季美枝², 鈴木穰³, 豊田敦⁴, 藤山秋佐夫⁴,

西山智明⁵, 関本弘之^{1,2}

(¹日本女子大・院・理・物質生物, ²日本女子大・理・物質生物, ³東京大・院・新領域, ⁴遺伝研, ⁵金沢大・学際)

P-009

藻類におけるカロテノイドをもちいた化学分類と系統分類

高市真一

(日本医大・生物)

P-010

ナンジャモンジャゴケに感染する共生菌相の解明

五十島賢太¹, 辻田有紀², 今市涼子³, 樋口正信⁴, 牧雅之⁵

(¹東北大・院・生命, ²佐賀大・農, ³日女大・理, ⁴科博・植物, ⁵東北大・植物園)

P-011

西表島の「未知種配偶体」はナンバンホラゴケだった

海老原淳^{1,2}, 石渡友梨², 平山裕美子^{1,2}, 今市涼子²

(¹国立科博・植物, ²日本女子大・理・物生)

P-012

5種類の核マーカーを用いた無配生殖種複合体イタチシダ類における網状進化の解析

堀清鷹¹, 奥山雄大², 綿野泰行³, 村上哲明¹

(¹首都大・牧野, ²科博・植物, ³千葉大・理)

P-013

ハテルマギリにおける花の二型性とその送粉・繁殖特性に関する研究

星野佑介¹, 高相徳志郎², 渡邊謙太³, 菅原敬¹

(¹首都大・院理工・牧野標本館, ²琉球大・熱生研, ³沖縄工専)

P-014

豊田市南部に生育するシデコブシ集団の遺伝的特性と更新メカニズム

渡邊幹男¹, 小川愛¹, 芹沢俊介²

(¹愛知教育大学 生物, ²愛知みどりの会)

P-015

オキナグサを用いた集団間の遺伝構造の比較と満鮮要素の歴史の検討

高石あすか, 副島顕子

(熊大・院・自然科学)

P-016

サワシロギク *Aster rugulosus* の土壌生態型における発芽特性と蛇紋岩適応

西野貴子¹, 松田明莉², 川上敬弘², 阪口翔太³, 石川直子³,

伊藤元巳³

(¹大阪府大・院・理, ²大阪府大・理, ³東大・院・総合文化)

P-017

ササゲ属野生種 (*Vigna vexillata*) における発芽様式と地理的分布の相関について

馬場 (笠井) 晶子¹, 伊勢村武久¹, 高橋有¹, Ping Wan², 友岡憲彦¹

(¹農業生物資源研究所 遺伝資源センター 多様性活用研究ユニット, ²Beijing University of Agriculture College of Plant Science and Technology)

P-018

ミヤマヨメナの遺伝的多様性とその蛇紋岩変種シュンジュギクの起源

石川直子, 森下洋子, 阪口翔太, 伊藤元己
(東京大学・院・総合文化)

P-019

アンデス山脈の高山植物 *Gunnera magellanica* の分子系統地理学的研究

清水翠¹, 藤井紀行¹, 伊藤元己², 朝川毅守³, 西田治文⁴, 須山知香⁵, 植田邦彦⁶

(¹熊本大・院・自然科学, ²東京大・院・総合文化, ³千葉大・理, ⁴中央大・理工, ⁵岐阜大・教育・理科生物, ⁶金沢大・理工・自然システム)

P-020

北海道産イワレンゲ属 *Orostachys* の分類学的再検討

安保英志¹, 東隆行², 我妻尚広³

(¹北大・農学院・植物生態体系学, ²北大・北方生物圏フィールド科学センター・植物園, ³酪農学園大学・農食環境学群)

P-021

適応放散を起こした台湾産マンネングサ属種の各種光合成様式タイプ

伊東拓朗^{1,3}, 游旨介², 鍾國芳², 國府方吾郎³

(¹農工大・連携院・農, ²台大・森林資源, ³科博・植物)

P-022

標高勾配に沿って生育するアキノキリンソウ (広義) の遺伝的分化と分布変遷について

木村拓真¹, 阪口翔太², 伊藤元己², 永野惇³, 工藤洋⁴, 牧雅之⁵

(¹東北大・院・生命, ²東大・院・総合文化, ³龍谷大・農, ⁴京大・生態研, ⁵東北大・植物園)

P-023

アオヤギバナの起源と種内遺伝的分化

喜屋武隆太¹, 山城孝², 藤井伸二³, 阪口翔太⁴, 伊藤元己⁴, 永野惇⁵, 工藤洋⁶, 牧雅之⁷

(¹東北大・院・生命, ²徳島大・院・ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス, ³人間環境大・人間環境, ⁴東大・院・総合文化, ⁵龍谷大・農, ⁶京大・生態学研究センター, ⁷東北大・植物園)

P-024

極東アジアにおけるキケマン属植物の進化に関する研究

山岸洋貴¹, 藤原久司², 本多和茂³

(¹弘前大学 白神自然環境研究所, ²(株) ズコーシャ, ³弘前大学 農学生命科学研究科)

P-025

ミヤマタネツケバナ *Cardamine nipponica* の系統解析と *PHYE* の分子進化

池田啓¹, Lovisa Gustafsson², Christian Brochmann², 瀬戸口浩彰³

(¹岡山大・植物研, ²オスロ大・NCB, ³京都大・院・人環)

P-026

送粉者の行動実験から探る花色変化の生態的機能: 色のみの変化がもたらす効果の解析

土田洋子¹, 牧野崇司², 横山潤²

(¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物)

形態・構造

P-027

出芽酵母 *Saccharomyces ludwigii* から単離した胞子間接着構造の性質

宮川勇¹, 松尾英理香², 八木瞭太郎², 井内智美¹

(¹山口大・院・理工, ²山口大・理・生物)

P-028

海産緑藻の配偶子, 動接合子, 遊走子における眼点のサイズ, 分布, 走光性と生育場所との関係

宮村新一

(筑波大学生命環境系)

P-029

褐藻 *Halopteris congesta* における原形質連絡の構造と排除分子量の解析

長里千香子¹, 田中厚子¹, Christos Katsaros², 本村泰三¹

(¹北海道大・北方セ, ²University of Athens)

P-030

緑藻 *Botryococcus braunii* のコロニーシースの構築

宇野由紀¹, 鈴木玲子², 野口哲子^{1,2}

(¹奈良女大, ²JST・CREST)

P-031

シダ植物の系統間における葉の形態と光合成機能の多様性

西田圭佑, 半場祐子

(京都工芸繊維大学)

P-032

シダ植物小葉類ヒカゲノカズラの茎頂の構造と分枝様式

中嶋淳子¹, 藤浪理恵子², 今市涼子²

(¹日女大・院・理, ²日女大・理学)

P-033

ゼニゴケ精子形成時におけるセントリンの動態

野村佳織¹, 肥後あすか², 荒木崇², 嶋村正樹¹

(¹広島大・院・理・生物科学, ²京都大・院・生命科学)

P-034

サボテン科における棘の退化に関する研究

福家佳子, 厚井聡

(大阪市立大学理学部付属植物園 植物進化適応学研究室)

P-035

cryo SEMを用いたシロイヌナズナ根における形態解析およびナトリウムイオンの分布の解析

小笠原希実^{1,2}, 徳永誠⁵, 金子康子⁴, 東山哲也^{2,3}

(¹ERATO東山ライブホロニクスプロジェクト, ²名古屋大学・院理学研究科, ³名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, ⁴埼玉大学・教育学部・生物学研究室, ⁵埼玉大学研究機構総合技術支援センター)

P-036

X線マイクロCTを使ったシロイヌナズナ乾燥種子の3D細胞幾何解析による皮層と表皮の比較

福田安希¹, 唐原一郎², 山内大輔¹, 玉置大介^{1,2}, 上杉健太郎³, 竹内晃久³, 鈴木芳生³, 峰雪芳宣¹

(¹兵庫県大・院・生命理学, ²富山大・院・理工, ³高輝度光科学研究センター)

P-037

X線マイクロCTにより観察されたミヤコグサ種子吸水過程に起こる可逆的な細胞間隙形成

山内大輔¹, 福田安希¹, 玉置大介², 佐藤繭子³, 豊岡公徳³, 上杉健太郎⁴, 星野真人⁴, 唐原一郎², 峰雪芳宣¹

(¹兵庫県大・院・生命理学, ²富山大・院・理工, ³理研・CSRS, ⁴高輝度光科学研究センター)

P-038

永久磁石の小型MRIで見たニセアカシア種子の吸水過程
小泉美香¹, 狩野広美²

(¹早大・理工研, ²くぬぎ山蜜雪研)

P-039

裸子植物花粉における細胞内細胞化の機構 -被子植物と比較して-

平塚理恵

(慈恵医大 生物学研究室)

P-041

水生食虫植物ムジナモの生育を支える細胞構造変化

鯉坂瑞暉, 三浦弘人, 厚沢季美江, 金子康子

(埼玉大学)

P-042

モウセンゴケ科食虫植物の消化酵素の分泌と微細構造変化

坪内寿朗, 厚沢季美江, 徳永誠, 金子康子

(埼玉大学)

P-043

BY-2細胞におけるDNA合成阻害剤カンプトテシン及びプロテアソーム阻害剤によるオートファジー誘導

松井陸, 柳澤隆弘, 迎恭輔, 井上悠子, 森安裕二

(埼玉大・院・理工)

生態・生理生態・種生態・群落保全

P-044

奄美群島のリンドウの遺伝的特性

宮本旬子¹, 吉田麻人², 留守由希子², 前田芳之³

(¹鹿児島大・院・理工, ²鹿児島大・理, ³芳華園)

P-045

クマガイソウ個体群の遺伝構造および繁殖様式の現状

山下由美¹, 伊津野彩子², 辻田有紀³, 黒沢高秀¹, 井鷲裕司², 兼子伸吾¹

(¹福島大・共生システム理工, ²京都大・農・森林生物, ³佐賀大・農)

P-046

スギ樹体内に吸収された放射性セシウムとカリウムの挙動の関係

飯塚和也¹, 丸山友行², 宮本尚子³, 大島潤一¹, 石栗太¹, 逢沢峰昭¹, 大久保達弘¹, 横田信三¹

(¹宇大・農, ²栃木・林セ, ³森総研・東北育)

P-047

表皮の表面微細構造が作り出す花卉の多様な濡れ性

種子田春彦¹, 渡辺綾子¹, Rita Chhetry², 池田博³

(¹東大・院・理, ²Dept. Plant Resources, Nepal, ³東大・博物館)

P-048

葉っぱ, 薄いのになぜ丈夫? 新手法により明らかになった葉の超効率的な力学構造

小野田雄介¹, Feike Schieving², Niels Anten³

(¹京大・農, ²Utrecht Univ, ³Wageningen Univ)

P-049

新潟県上越地域におけるオオイワカガミの個葉サイズ変異と生育環境

堀内郁¹, 剣持協², 谷友和¹

(¹上教大・院・理科, ²神奈川県平塚市立八幡小学校)

P-050

ヒノキとスギの人工林における林分蒸散に関する諸性質の比較

齋藤隆実¹, 熊谷朝臣¹, 立石麻紀子², 小林菜花子¹, 大槻恭一³, Thomas W. Giambelluca⁴

(¹名古屋大・地球水循環研究センター, ²鳥取大・乾燥地研究センター, ³九大・福岡演習林, ⁴ハワイ大)

P-051

Risk mapping for impacts of ozone and water stresses on *Fagus crenata* blume

Hideyuki Shimizu¹, Miyuki Iwamoto¹, Naoyuki Yamashita², Yu Morino¹, Tatsuya Nagashima¹

(¹National Institute for Environmental Studies (NIES), Japan, ²Asia Center for Air Pollution Research (ACAP))

P-052

光化学系 I と II の活性の不均衡が光合成電子伝達系に与える影響

河野優, 寺島一郎

(東大・院・理・植物生態)

P-053

伊豆半島に生息するタチアママの遺伝的解析

中井静子¹, 大野輝¹, 横山潤²

(¹日本大・生物資源・海洋, ²山形大・理・生物)

P-054

阿寒湖沼群における水環境と水生植物群落の多様性

若菜勇¹, 尾山洋一¹, 田村由紀², 山田浩之³, 和田恵治⁴, 長谷川健⁵, 大原雅⁶

(¹釧路市教委・マリモ研, ²環境コン (株), ³北大・院・農, ⁴北教大・旭川, ⁵茨城大・理, ⁶北大・院・地球環境)

P-055

北海道のイチョウの分布と DNA タイプについて

佐藤征弥¹, 加藤愛里², 栄花茂³, 高田克彦⁴

(¹徳島大・院・SAS, ²徳島大・総科, ³日本北方圏域文化研究会, ⁴秋田県立大・木材高度加工研)

P-056

ラン科ムカゴサイシン属の生活史段階による菌根菌シフトの種間比較

木下晃彦¹, 阿部篤志², 佐藤裕之², Young-I Lee³, 辻田有紀⁴, 遊川知久¹

(¹国立科学博物館筑波実験植物園, ²沖縄美ら島財団, ³National Museum of Natural Science, Taiwan, ⁴佐賀大学農学部)

P-057

ラン科ムカゴサイシンの菌従属栄養度の評価

宮下彩奈¹, 杉浦大輔², 前田綾子³, 辻田有紀⁴, 遊川知久⁵

(¹東大・院・理・日光植物園, ²東大・院・理, ³高知県立牧野植物園, ⁴佐賀大・農, ⁵科博・筑波実験植物園)

P-058

ラン科ムカゴサイシンにおける菌根菌の感染状況とそのフェノロジー

辻田有紀¹, 前田綾子², 遊川知久³

(¹佐賀大学農学部, ²高知県立牧野植物園, ³国立科学博物館筑波実験植物園)

P-059

草本植物の道管液流速の測定法 ～レーザーを用いた装置の開発～

山崎光平¹, 谷友和¹, 長谷川敦司²

(¹上教大・院・理科, ²北医療大・薬)

P-060

哺乳類媒花ウジルカンダ (マメ科) の送粉パートナーの地域変異

小林峻¹, 傳田哲郎², Chi-Cheng Liao³, Yu-Hsiu Lin⁴, 真柴茂彦⁵, 岩本俊孝⁶, 伊澤雅子²

(¹琉球大・院・理工, ²琉球大・理, ³PCCU, Taiwan, ⁴ESRI, Taiwan, ⁵大分県, ⁶宮崎大・教育文化)

P-061

UV-B-induced damage on DNA and growth in highland and lowland ecotypes of *Arabidopsis* species

Qing-Wei Wang¹, Hiroshi Ozaki¹, Soichiro Nagano¹, Shin-ichi Morinaga², Jun Hidema¹, Kouki Hikosaka^{1,3}

(¹Grad. Sch. Sci., Univ. Tohoku, ²Colg. Bio. Sci., Univ. Nihon, ³CREST, JST)

P-062

スギにおける心材・辺材色の変異とそのカリウム含量

宮本尚子¹, 飯塚和也², 那須仁弥¹, 山田浩雄³

(¹森総研・林育セ・東北, ²宇大・農・森林科学, ³森総研・林育セ)

P-063

種子休眠からの目覚め アンドンマユミの求める条件とは？

小渕雅史¹, 宮本太², 三井裕樹², 平野和彦³

(¹東京農大・院・農学, ²東京農大・農学, ³松枝岐村)

P-064

食虫植物ナガバノイシモチソウにおける捕虫後の葉粘液の変化

石崎智美¹, 大原雅², 渡邊幹男³

(¹新潟大・院・自然科学, ²北大・院・環境科学, ³愛知教育大・生物)

P-065

箱根山におけるコイワザクラ 2 集団の繁殖生態学的考察

倉田薫子¹, 山本将也², 菅原穂波¹, 福島和大¹

(¹横国大・教育, ²京大・院・人環)

環境応答

P-066

シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC 6803 の酸耐性順化株固有の発現パターンを示すタンパク質の同定

内山純爾, 船水健斗, 上妻美菜, 太田尚孝

(東理大・理)

P-067

シアノバクテリアのグルコース 1-リン酸代謝関連遺伝子が与える環境ストレス耐性への影響

伊藤雄太郎¹, 相原岳明², 上妻美菜², 松橋歩², 内山純爾², 島田浩章¹, 太田尚孝²

(¹東理大・院・基礎工, ²東理大・理)

P-068

大腸菌の LPS 合成に関与する MsbA と高い相同性を持つ

Synechocystis sp. PCC6803 のタンパク質の解析

松橋歩¹, 伊藤雄太郎², 上妻美菜¹, 内山純爾¹, 太田尚孝¹

(¹東理大・理, ²東理大・基礎工)

P-069

オオカナダモ (*Egeria densa*) 付着藻類の解析とマンガン集積性の検討

辻康介, 浅山拓馬, 西田和真, 長谷川博, 原田英美子

(滋賀県大・環境科学)

P-070

単細胞紅藻 *Galdieira sulphuraria* SG 株における糖添加時の葉緑体白化現象の解析

宮澤和己¹, 重信直人¹, 兼崎友^{2,3}, 渡辺智¹, 千葉櫻拓¹, 吉川博文^{1,2,3}
(¹東京農大・バイオ, ²東京農大・ゲノムセンター, ³JST,CREST)

P-071

単細胞紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* におけるヘム代謝酵素の局在解析

岩上匡伸¹, 渡辺智¹, 小野智央¹, 兼崎友^{1,2}, 田中寛^{2,3}, 吉川博文^{1,2}
(¹東京農業大学, 応用生物科学部, バイオサイエンス学科, ²JST, CREST, ³東京工業大学, 資源化学研究所)

P-072

新規単離極限環境紅藻の Mn 耐性関連遺伝子の探索

小田しおり¹, 重信直人¹, 兼崎友^{2,5}, 渡辺智¹, 千葉櫻拓¹, 笠原浩司³, 三角修己^{4,5}, 吉川博文^{1,2,5}
(¹東京農大・バイオ, ²東京農大・ゲノムセンター, ³東京農大・RI センター, ⁴山口大・理, ⁵JST,CREST)

P-073

クラミドモナスにおける酸耐性株の単離

中村宗一¹, 蔣天翼¹, 青山洋昭²
(¹琉球大・理・海自, ²琉球大・熱生研)

P-074

クラミドモナス藻の炭素濃縮機構 (CCM) 関連遺伝子群の発現への二酸化炭素濃度の影響

川瀬健志¹, 浅野貴志¹, 黒田珠美¹, 長尾修平¹, 船戸章充¹, 榎本ゆう子^{1,2}, 榎本平^{1,2,3}
(¹神戸大・院・人間発達環境学, ²G>社, ³神戸大・発達科学)

P-075

海洋性珪藻における二酸化炭素センサー候補因子

斎藤健人, 松田祐介, 中島健介, 遠藤慧, 伊藤香奈里
(関西学大・理工・生命科学)

P-076

黄金藻オクロモナス *Aureochrome* の光依存的な DNA 結合能の解析

位田康熙¹, 池田美恵², 笠原賢洋¹, 高橋文雄¹
(¹立命館大・院・生命, ²順天堂大学・医)

P-077

車軸藻植物門クレプソルミディウムの気相への環境応答

堀孝一^{1,2}, 近藤智¹, 唐司典明¹, 大高きぬ香¹, 渡邊汀¹, 太田啓之^{1,2,3}
(¹東工大・生体システム, ²CREST, ³東工大・ELSI)

P-078

ゼニゴケの暗誘導老化 II. 変異体 *shr1* の表現型の解析

石井優太¹, 山田如都実², 佐藤友哉¹, 児玉豊³, 山岡尚平⁴, 石崎公庸⁵, 河内孝之⁴, 井上悠子¹, 森安裕二¹
(¹埼玉大・院・理工, ²埼玉大・理, ³宇都宮大・バイオサイエンス, ⁴京都大・院・生命科学, ⁵神戸大・院・理)

P-079

ヒメツリガネゴケオートファジー欠損株はタンパク質含量が高い

船田峻, 迎恭輔, 井上悠子, 森安裕二
(埼玉大・院・理工・生命科学)

P-080

ヒメツリガネゴケオートファジー欠損株の窒素飢餓応答

高橋素代香, 迎恭輔, 井上悠子, 森安裕二
(埼玉大・院・生体制御)

P-081

紫外線照射により作製されたアブシシン酸低感受性変異株の解析

Kazuya Hagiwara¹, Masashi Saruhashi¹, Totan Kumar Ghosh¹, Yumiko Ishizaki¹, Taishi Umezawa², Yoichi Sakata³, Daisuke Takezawa¹
(¹埼玉大学 理工学研究科, ²東京農工大学 農学研究院生物システム科学部門, ³東京農業大学 応用生物科学部バイオサイエンス学科)

P-082

シダ植物ヘビノネゴザの重金属耐性・蓄積におけるプロアントシアニジンの関与

岡本彩可¹, 木田麻衣², 蒲池浩之¹
(¹富山大・院・理工, ²富山大・理・生物圏環境)

P-083

ミトコンドリア TCA サイクル酵素のレドックスとアデニレート状態に応じた新奇活性調節メカニズム

吉田啓亮^{1,2}, 久堀徹^{1,2}
(¹東工大・資源研, ²JST・CREST)

P-084

ハナスベリヒユの葉肉葉緑体が起こすオートファゴソーム様構造変化

近藤歩, 渡辺栞, 鈴村里子, 船隈透
(名城大学農学部)

P-085

鉛によるイネ幼葉鞘細胞壁の物性変化と成長阻害

若林和幸, 伊豆本和哉, 籠谷裕衣, 上田将司, 益田晴恵, 下中智美, 曾我康一, 保尊隆享
(大阪市大・院・理)

P-086

シロイヌナズナ・チューブリン変異体花茎の細胞壁物性に対する微小重力の影響-Resist Tubule 宇宙実験

谷村佑介¹, 馬淵敦士¹, 曾我康一¹, 若林和幸¹, 橋本博文², 東端晃², 矢野幸子², 嶋津徹², 松本翔平³, 笠原春夫³, 長田郁子³, 山崎千秋⁴, 鎌田源司⁵, 村中俊哉⁶, 橋本隆⁷, 保尊隆享¹
(¹大阪市大・院・理, ²JAXA, ³JAMSS, ⁴JSF, ⁵AES, ⁶大阪大・院・工, ⁷奈良先端大・バイオ)

P-087

黄化エンドウ上胚軸の重力屈性制御に関わる生長調節物質の探索：重力応答突然変異体 *ageotropum* を用いた解析

長谷川剛², 小出麻友美², 繁森英幸², 長谷川宏司², 上田純一³, 宮本健助¹

(¹大阪府立大・高等教育推進機構, ²筑波大・院・生命環境科学, ³大阪府立大・院・理学系)

P-088

低 pH で誘導されるレタス芽生えの根毛伸長過程におけるエチレンの役割解析

篠崎崇良¹, 高橋秀典²

(¹東邦大・理, ²東邦大・院・理)

P-089

木部分化誘導系における前形成層細胞確立を制御する環境シグナルの解析

山崎杏子, 近藤侑貴, 福田裕穂

(東大・院・理)

P-090

シロイヌナズナのアブシジン酸シグナル伝達経路におけるリン酸化タンパク質群の機能解析

田村由貴¹, 梅澤泰史^{1,2}

(¹農工大・院・BASE, ²さががけ・JST)

P-091

酸化亜鉛ナノ粒子が根の伸長成長に及ぼす影響

中島淑乃¹, 村田森心¹, 井舘加奈¹, 宮崎順平¹, 栗山雄太¹, 竹田恵美², 野村俊之¹, 徳本勇人¹

(¹大府大院・工, ²大府大院・理)

P-092

酸化亜鉛ナノ粒子が細胞増殖に及ぼす影響

中島淑乃¹, 竹田恵美², 野村俊之¹, 徳本勇人¹

(¹大府大院・工, ²大府大院・理)

P-093

急激な温度降下で生じるセントポーリア葉の傷害誘導メカニズム

大西美輪¹, 成田裕貴¹, 角浜憲明¹, 石崎公庸¹, 深城英弘¹, 鈴木祥弘², 三村徹郎¹

(¹神戸大・院・理, ²神奈川大・理)

P-094

低温馴化プロセスにおける日長と温度域の制御

金谷真希, 富永陽子, 上村松生, 河村幸男

(岩手大・農・寒冷バイオ)

P-095

シロイヌナズナ PHOT2 の光サイクルの遅延が生理反応に及ぼす影響の解析

佐藤真希, 谷口晴香, 新田拓也, 高橋文雄, 笠原賢洋

(立命館大・院・生命)

P-096

植物の細胞核の自然環境下における定位運動とその生理学的役割

岩渕功誠¹, 日出間純², 田村謙太郎¹, 高木慎吾³, 工藤洋⁴, 西村いくこ¹

(¹京大・院・理, ²東北大・院・生命科学, ³阪大・院・理, ⁴京大・生態研)

P-097

シロイヌナズナにおいて DNA 損傷応答に関わる新規因子の同定

奥島葉子¹, 史佳卉¹, 奥田利美¹, 服部弘嗣¹, 坂本智昭¹, 倉田哲也¹, 稲垣宗一¹, 梅田正明^{1,2}

(¹奈良先端大・バイオ, ²JST, CREST)

P-098

シロイヌナズナ近縁種の環境ストレスへの応答とデータベース整備

井内聖, 川村節子, 小林正智

(理化学研究所 バイオリソースセンター 実験植物開発室)

P-099

ベタレイン含有植物における環境ストレス負荷によるタンパク質の変動

花井悠介¹, 布施茜², 橋床泰之¹, 橋本誠¹, 崎浜靖子¹

(¹北海道大学大学院農学院, ²北海道大学農学部)

P-101

色素に依存しない樹木特異的な NPQ 変化

柴田勝¹, 齋藤博章¹, 宮内啓¹, 木下江莉奈¹, 谷友和²

(¹山口大・教育, ²上越教育大・自然系)

P-102

植物の低温馴化と小胞体動態

河村幸男, 開勇人, 上村松生

(岩手大学農学部寒冷バイオフィロンティア研究センター)

P-103

シロイヌナズナにおける機械刺激に応答した遺伝子発現応答の解析

山岡征矢, 田中志整, 下谷紘司, 石崎陽子, 椎名隆

(京都府立大学大学院生命環境科学研究科)

P-104

サリチル酸／ジャスモン酸シグナルを制御する NPR1 と JAZ が介在する転写制御ネットワークの解析

野元美佳¹, 塚越啓史^{2,3}, 森毅¹, 鈴木孝征^{4,5}, Michael Skelly⁶, 岡和¹, 松下智直^{3,7}, 時澤睦朋⁸, 山本義治⁸, 東山哲也^{1,5,9}, Steven Spoel⁶, 多田安臣^{1,2}

(¹名大・院・生命理学, ²名大・遺伝子, ³JST さきがけ, ⁴中部大・応用生物, ⁵JST ERATO, ⁶Univ. Edinburgh・Sch. Biol. Sci., ⁷九大・農, ⁸岐阜大・応用生物, ⁹WPI-ITbM)

P-105

シロイヌナズナにおけるホスファチジン酸ホスホヒドロラーゼ過剰発現体における窒素欠乏耐性機構の解析

吉竹悠宇志¹, 佐藤諒一¹, 円由香¹, 村川雅人¹, 駿河航¹, 杉浦大輔², 中村友輝³, 野口航², 下嶋美恵¹, 太田啓之^{1,4,5}
(¹東工大・院・生命理工, ²東大・院・理, ³台湾・アカデミアシニカ, ⁴東工大・ELSI, ⁵JST・CREST)

光合成

P-106

葉内の光合成電子伝達速度勾配の推定

小口理一

(東北大・院・生命)

P-107

海洋性珪藻における葉緑体 CA の役割

田尾尚大, 菊谷早絵, 松田祐介

(関西学院大学大学院 理工学研究科 松田研究室)

代謝・物質生産・メタボローム・バイオエネルギー

P-108

塩性植物ハマツナノ生育環境の違いによるフラボノイド変動

上原歩^{1,2}, 村井良徳², 瀬戸口浩彰³, 岩科司²

(¹慶應大・日吉化学, ²国立科博・植物, ³京都大・院・人環)

P-109

チャ *Camellia sinensis* の葉齢に伴うカフェイン合成能の変化

中山史葉, 中村真緒, 後藤碧, 加藤美砂子

(お茶の水大・院・ライフサイエンス)

P-110

Pseudochoricystis ellipsoidea における油滴形成

杉井昭子, 松脇いずみ, 中山史葉, 加藤美砂子

(お茶の水大・院・ライフサイエンス)

P-111

Pseudochoricystis ellipsoidea における TAG 蓄積と DGAT の発現

小山香梨, 松脇いずみ, 鈴木美美, 中山史葉, 加藤美砂子

(お茶の水大・院・ライフサイエンス)

P-112

低温がクロレラのトリアシルグリセロール蓄積に及ぼす影響

林泰平¹, 平井一帆¹, 都筑幹夫^{1,2}, 佐藤典裕^{1,2}

(¹東京薬科大学生命科学部, ²JST・CREST)

P-113

紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* の培養光波長によるバイオマス合成変化の仕組みの探求

齋藤貴史¹, 田草川真理^{1,2}, 三角修己^{1,2}

(¹山口大・院・医・応用分子生命, ²JST・CREST)

P-114

NIES コレクションにおける高度不飽和脂肪酸生産株の解析

三谷英李¹, 市育代¹, 川端篤志², 河地正伸², 加藤美砂子¹

(¹お茶の水大・院・ライフサイエンス, ²国立環境研究所)

P-115

アブラナ科植物芽生えにおける代謝物質と系統関係

西村光平^{1,2}, 若山正隆^{1,3}, 曾我朋義^{1,2,3}, 富田勝^{1,2,3}

(¹慶大・先端生命研, ²慶大・環境情報, ³慶大・院・政策メディア)

P-116

樹木資源生産の強化を目的としたモデル樹木ポプラに関する研究

新堀千里¹, 倉田洋平²

(¹日本大学大学院生物資源科学研究科生物資源利用科学専攻, ²日本大学生物資源科学部森林資源科学科)

P-117

ゼニゴケの R2R3-MYB 遺伝子過剰発現体におけるフェノール性二次代謝関連遺伝子の解析

久保浩義¹, 石崎公庸², 野澤俊介¹, 河内孝之³

(¹信州大・院・理工学系, ²神戸大・院・理, ³京大・院・生命科学)

細胞内小器官

P-118

ヒメツリガネゴケの RRM を持つ葉緑体 RNA 結合タンパク質の機能解析

内山博道¹, 一瀬瑞穂², 杉田千恵子¹, 杉田護¹

(¹名大・遺伝子, ²名大・WPI-ITbM)

P-119

温度制御可能な顕微鏡システムを用いた葉緑体寒冷定位運動の解析

濱島典子^{1,2}, 長谷川智士³, 早崎芳夫³, 児玉豊¹

(¹宇都宮大・バイオセンター, ²宇都宮大院・農, ³宇都宮大・オブティクスセンター)

P-120

Effect of ABA on chloroplast division of the moss *P. patens*

Prapaporn Pongthai¹, Hiroyoshi Takano², Tomomichi Fujita³

(¹Grad. Sch. of Life Sci., Hokkaido Univ., ²Fac. of Sci., Kumamoto Univ., ³Fac. of Sci., Hokkaido Univ.)

P-121

クラミドモナスの接合胞子発芽時におけるミトコンドリア及び核様体のライブイメージング

青山洋昭¹, 新里尚也¹, 中村宗一²

(¹琉球大・熱生研, ²琉球大・理・海洋自然)

P-122

シロイヌナズナ突然変異体の網羅的 TEM 観察による葉緑体チラコイド形成機構の解析加藤綾¹, 本多珠巳¹, 桧垣匠², 明賀史純³, 篠崎一雄³, 永田典子¹(¹日本女子大・理, ²東大・院・新領域, ³理研・CSRS)

P-123

暗所発芽シロイヌナズナ子葉におけるエチオプラストから葉緑体に至る色素体形態変化植瀬祥子¹, 小林恵^{1,2}, 澤木史江¹, 佐藤繭子², 桧垣匠³, 朽名夏磨^{3,4}, 豊岡公德², 永田典子¹(¹日本女子大・理, ²理研・CSRS, ³東大・院・新領域, ⁴エルピクセル (株))

P-124

広域 TEM 像取得法を用いたシロイヌナズナ茎頂における気温変化に伴うオルガネラ異常の解析澤木史江¹, 小林恵^{1,2}, 盛一伸子³, 佐藤繭子², 朽名夏磨^{4,5}, 豊岡公德², 永田典子¹(¹日本女子大・理, ²理研・CSRS, ³日本女子大・電顕, ⁴東大・院・新領域, ⁵エルピクセル (株))

P-125

ストレスに対する色素体及び細胞質 Ca²⁺応答

小谷美穂, 椎名隆

(京都府立大学大学院 生命環境科学科 植物分子生物学研究室)

生体膜

P-126

ラン藻外膜の簡便な調製法の開発

石本充, 小杉真貴子, 小池裕幸

(中央大学理工学部生命科学科)

P-127

イネ原形質膜型アクアポリン発現と根水透過性の制御

且原真木, 石塚諒, 中原由樹

(岡山大資源植物科学研究所)

P-128

シロイヌナズナのアクアポリン TIP2;2 及び TIP2;3 の欠損による成長への影響加藤未来¹, 奈良久美²(¹奈良女子大学大学院人間文化研究科生物科学専攻, ²奈良女子大学大学院自然科学系生物科学領域)

P-129

細胞膜型アクアポリン OsPIP1;1 の細胞膜移行要因の解明高橋永暉¹, 松本直², 宮守由香梨¹, 岩崎郁子¹(¹秋田県立大学大学院 生物資源科学専攻 細胞機能学研究室, ²農研機構 中央農研)

細胞骨格・運動

P-130

ハネモ配偶体細胞の微小管配向に対するジクロベニルの影響伊藤やよい¹, 丸山貴代², 菱沼佑²(¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物)

P-131

ゼニゴケミオシンの機能解析田久晶子¹, 恵良厚子², 上田貴志³, 富永基樹⁴, 伊藤光二¹(¹千葉大学大学院理学研究科生物分子モーター研究室, ²国立遺伝学研究所共生細胞進化研究部門, ³東京大学大学院理学系研究科生物科学, ⁴早稲田大学教育・総合科学)

P-132

シロイヌナズナのマイオシン変異体で生じるモザイク状の遺伝子発現の解析

藤江誠, 辻翔平, 川崎健, 山田隆

(広島大学大学院先端物質科学研究科)

P-133

タバコ BY-2 細胞のフラグモプラスト形成における PAKRP2 と MAP65-3 の役割

安原裕紀, 井上真以美, 矢田昌敏, 大西夏佳, 上野翠,

仲舟井舞子, 中井英太, 吉本智

(関西大学・化学生命工)

P-134

ミオシンとアクチンを用いた人工原形質流動の構築鯉江信慶¹, 平塚祐一², 伊藤光二¹(¹千葉大・院・理・生物, ²北陸先端科学技術大学院大・マテリアルサイエンス)

細胞壁

P-135

根毛と種子を保護する機能をもつタンパク質 SRPP の発見と分子生理学的解析田中奈月¹, 奥田祥平¹, 郡司玄², Ali Ferjani², 前島正義¹(¹名大院・生命農, ²東京学芸大・教育学部)

P-136

UDP-GlcNAc の再生経路に関わるシロイヌナズナ N-アセチルグルコサミンキナーゼの機能解析田中昌樹¹, 村重紘志¹, 佐藤康²(¹愛媛大・理・生物, ²愛媛大・院・理工・環境機能)

P-137

lig 変異体における UDP-GlcNAc 欠乏により誘導される根の成長阻害及びリグニン異常蓄積機構の解析

中妻直登, 佐藤康

(愛媛大・院・理工)

P-138

イネの細胞壁構造タンパク質 GRP および THRGP 変異体の表現型解析

渡辺朝美, 宮下彩, 住吉美奈子, 鎌田志保美, 中村敦子, 佐藤忍, 岩井宏暁
(筑波大・生命環境)

P-139

植物の GDP-マンノース合成に関わる KONJAC タンパク質

山梨優貴子¹, 佐分将太¹, 田島範明¹, 吉見圭永¹, Mortimer Jenny², Yu Xiaolan², 石川寿樹¹, 川合真紀¹, Dupree Paul², 小竹敬久¹, 円谷陽一¹
(¹埼玉大・院・理工, ²ケンブリッジ大・生化学科)

P-140

イネの花粉形成過程における OsARAD1 の機能解析

清永郁香, 住吉美奈子, 稲村拓也, 鎌田志保美, 中村敦子, 佐藤忍, 岩井宏暁
(筑波大・生命環境)

P-141

弱光条件下におけるペクチン分解酵素過剰発現イネの表現型解析

竹内春樹¹, 小原崇司¹, 佐藤淳也¹, 鎌田志保美¹, 中村敦子¹, 横山隆亮², 西谷和彦², 南栄一³, 佐藤忍¹, 岩井宏暁¹
(¹筑波大・生命環境, ²東北大・院・生命科学, ³生物研)

P-142

イネの発達過程におけるペクチンメチル基転移酵素 PMT16 の機能解析

鎌田志保美¹, 長谷川和也¹, 青原勉¹, 中村敦子¹, 砂川直輝², 五十嵐圭日子², 佐藤忍¹, 岩井宏暁¹
(¹筑波大・生命環境系, ²東京大・院・農生科)

P-143

AGP の L-アラビノピラノース残基に作用する β-L-アラビノピラノシダーゼ

今泉知枝美¹, 北澤仁成¹, 戸松遥美¹, 吉見圭永¹, 金子哲², Dupree Paul³, 円谷陽一¹, 小竹敬久¹
(¹埼玉大・院・理工, ²琉球大・農, ³ケンブリッジ大・生化)

P-144

樹本木部細胞壁への光合成産物分配の解析

竹内美由紀¹, 則定真利子², 磯貝明¹
(¹東大・院・農, ²東大・アジア)

P-145

落花および落果過程の離層における細胞壁代謝関連タンパク質の変化

土屋結実, 佐藤忍, 岩井宏暁
(筑波大・生命環境)

成長生理

P-146

シロイヌナズナの根におけるスベリンの水分屈性への関与
石塚楓¹, 庞磊¹, 小林啓恵¹, 藤井伸治¹, 宮沢豊², 高橋秀幸¹

(¹東北大・院・生命, ²山形大・理)

P-147

ポプラにおける葉組織リン代謝の季節変動

岩村青子¹, 栗田悠子¹, 馬場啓一², 大西美輪¹, 小菅桂子¹, 石崎公庸¹, 深城英弘¹, 三村徹郎¹
(¹神戸大院・理, ²京都大・生存研)

P-148

プロトプラスト共培養-画像解析法による, ユキヤナギと桂皮酸のアレロパシー活性解析

木村茉莉¹, 安田嶺², 和佐野直也², 鈴木栄¹, 藤井義晴², 笹本浜子³
(¹農工大・農, ²農工大・院・農, ³神奈川大・総理研)

P-149

レーザーマイクロダイセクション法を用いた植物組織癒合部の遺伝子発現解析

中野渡幸¹, 島田菜美¹, 名城やよい¹, 仁平彩也香¹, 松岡啓太¹, 佐藤忍², 朝比奈雅志¹
(¹帝京大・理工・バイオ, ²筑波大・生命環境)

細胞増殖・細胞分化

P-150

有用代謝物質を産する針葉樹培養細胞の樹立と評価

荻田信二郎^{1,2}, 七間柁仁², 伊藤千鶴³, 山下寿之⁴, 野村泰治², 加藤康夫²
(¹県立広島大・生命科学, ²富山県立大・生工研セ, ³磐田化学工業(株), ⁴富山県中央植物園)

P-151

マツバボタン (*Portulaca grandiflora*) 再分化系の確立

市本祥子, 作田正明
(お茶の水大・院・生命科学)

P-152

光と温度がもたらす群体性緑藻 *Pediastrum duplex* の多核化への影響

宮本なるみ¹, 佐藤尚実², 加藤翔太², 篠村知子²
(¹帝京大・院・理工, ²帝京大・理工)

P-153

シロイヌナズナの間期核におけるコヒーシンの機能解析

古賀友紀乃, 藤本聡, 林耕磨, 松永幸大
(東理大・院・理工・応用生物学)

発生・生長・形態形成

P-154

車軸藻植物門クレブソルミEDIUMにおける原始的なオーキシン応答の解析

太高さぬ香¹, 堀孝一^{1,2}, 太田啓之^{1,3}

(1東工大・生体システム, 2JST,CREST, 3東工大・ELSI)

P-155

ヒメツリガネゴケの生殖幹細胞の由来と挙動

小藤累美子¹, 八木田靖司¹, 西山智明², 村田隆³, 長谷部光泰³

(1金沢大・自然システム, 2金沢大・学際科学, 3基生研・生物進化)

P-156

ゼニゴケ無性芽の発生・成長過程における頂端細胞の振る舞いについて

山迫彩華¹, 嶋村正樹²

(1広島大・理・生物科学, 2広島大・院・理・生物科学)

P-157

ゼニゴケの杯状体形成を制御する GCAM1 の機能解析

塚本成幸¹, 菅谷友美², 大和勝幸³, 西浜竜一⁴, 久保浩義⁵, 深城英弘¹, 三村徹郎¹, 河内孝之⁴, 石崎公庸¹

(1神戸大・院・理, 2総研大・生命科学・基礎生物, 3近畿大・生物理工, 4京大・院・生命科学, 5信州大・院・理工学系)

P-158

CLEP の活性に関する研究

平川有宇樹¹, 河内孝之², 澤進一郎³, John Bowman⁴, 打田直行¹

(1名大・ITbM, 2京大・院・生命, 3熊大・院・自然, 4モナシユ大・生物)

P-159

水生シダ *Microsorium pteropus* とその変種の葉の形態に関わる枝分かれ構造の多様性について三好彩央里¹, 中益朗子², 木村成介¹

(1京産大・総合生命, 2九州大・院・医学研究)

P-160

キュウリ種子発芽時のペグ形成制御に関わる細胞構造変化

鈴木悠人, 石渡遼, 厚沢季美江, 金子康子, 徳永誠

(埼玉大学)

P-161

アダプチン結合領域を持つ TRG2 タンパク質の機能解析

杉山礼央¹, 吉野幸則¹, 赤堀一貴¹, 内田悠稀², 川上直人^{1,2}

(1明大・院・農, 2明大・農)

P-162

Oryza longistaminata における無機栄養に対する地下茎成長様式の解析柴崎杏平¹, 竹林有理佳¹, 小嶋美紀子¹, 榎田庸絵¹, 榊原均^{1,2}

(1国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター, 2名古屋大学)

P-163

イネ卵細胞および受精卵における細胞周期の特定

須川友実子

(首都大学東京 大学院 理工学研究科 生命科学専攻 植物発生生理学研究室)

P-164

ダイコンの品種間に見られる葉形の変異に寄与する遺伝子の同定

久保俊彰¹, 上ノ山華織¹, 川勝弥一¹, 五十嵐香理², 矢野健太郎², 木村成介¹

(1京産大・総合生命, 2明治大・農)

P-165

アブラナ科植物 *Rorippa aquatica* にみられる葉断面からの栄養繁殖の発生学的解析天野瑠美¹, 中山北斗^{1,2,3}, 桃井理沙¹, 郡司玄⁴, Ali Ferjani⁴, 木村成介¹

(1京産大・総合生命, 2University of California, Davis, 3日本学術振興会, 4東京学芸大・教育・生命)

P-166

シュート再生効率が上昇するシロイヌナズナ新規エピソード変異体の解析

平沢巽¹, 太田英恵¹, 山本章子², 武田真², 服部東穂², 西村泰介^{1,2}

(1長岡技術科学大学 生物機能工学, 2名古屋大学 生物機能開発利用研究センター)

P-167

シロイヌナズナ温度感受性変異体のジメチルスルホキシド感受性について

野崎守, 杉山宗隆

(東大・院・理学)

P-168

シロイヌナズナ tudor タンパク質による siRNA 制御メカニズムの解析

塚田道雄¹, 都筑正行¹, 元村一基², 深尾陽一朗³, 田村謙太郎⁴, 西村いくこ⁴, 渡邊雄一郎¹, 濱田隆宏¹

(1東京大学・大学院・総合文化研究科, 2名古屋大学・大学院・理学研究科, 3奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科, 4京都大学・大学院・理学研究科)

P-169

HD-ZIP III 遺伝子により制御される遺伝子群の解明

伊藤(大橋)恭子, 福田裕穂

(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

P-170

師部形成に関与する転写因子の解析

Miki Zaizen¹, Sawa Kume¹, Ye Zhang¹, Nobutaka Mitsuda², Takeshi Yoshizumi³, Yoichi Kondo³, Masaru Takagi², Minami Matsui³, Tatsuo Kakimoto¹

(1Department of Biology, Graduate School of Science, Osaka University, Japan, 2National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan, 3Plant Science Center, RIKEN Yokohama Institute, Japan)

P-171

BEN2/VPS45 遺伝子による発生制御機構の解析

松浦友紀, 柿本辰男, 田中博和

(大阪大・理・生)

P-172

花メリステムのアイデンティティの維持に関わる制御機構の解析

澁田未央, 渡辺綾子, 阿部光知

(東大・院・理)

P-173

A histological approach to infer the structural bases of flowering stem cracking

大江真央¹, 郡司玄¹, 鈴木絢子¹, 塚谷裕一², Ali Ferjani¹

(¹Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ., ²Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ.)

P-174

Contribution of glyoxylate cycle and gluconeogenesis to Arabidopsis postgerminative growth

高橋和希¹, 森本峻介¹, 郡司玄¹, 塚谷裕一², Ali Ferjani¹

(¹東京学芸大・教育・生命, ²東大・院・理)

P-175

The jigsaw-puzzle shape of cotyledon pavement cells is restrained by PPi overaccumulation in *fugu5*

郡司玄¹, 高橋和希¹, 塚谷裕一², Ali Ferjani¹

(¹Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ., ²Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ.)

P-176

シロイヌナズナ *angustifolia3* 変異体において葉細胞の異常肥大をひきおこす細胞間移動シグナルの解析

江崎和音¹, 塚谷裕一^{1,2}

(¹東京大・院・理, ²岡崎統合バイオ)

P-177

Douady と Couder のモデルを基礎としたコクサギ型葉序の成立要件の数理解析

米倉崇晃, 杉山宗隆

(東京大学大学院理学系研究科附属植物園)

P-178

強光下での陽葉形成における核内倍加の影響

星野里奈¹, 吉田祐樹¹, 塚谷裕一^{1,2}

(¹東大院 理, ²岡崎統合バイオ)

P-179

シロイヌナズナの形態形成における ROT4 ペプチドの機能解析

古谷朋之¹, Guo Pin^{1,2}, 中野雄司³, 塚谷裕一^{1,4}

(¹東京大・院・理, ²College of Life Sci., Wuhan Univ., ³理研・環境資源科学研究センター, ⁴岡崎統合バイオサイエンスセンター)

P-180

シロイヌナズナの AS1・AS2-ETT 経路を介した葉の発生・分化における IPT3 とその相同遺伝子の解析

香田佳那¹, 石橋奈々子², 小嶋美紀子³, 中川彩美¹, 高橋広夫⁴, 榊原均^{3,5}, 町田泰則², 町田千代子¹, 小島晶子¹

(¹中部大・応用生物, ²名大院・理・生命理学, ³理研・CSRS, ⁴千葉大院・園芸, ⁵名大院・生命農学)

P-181

カンブトテシン産生植物の DNA トポイソメラーゼ I 導入シロイヌナズナにおける葉の軸形成の解析

大河内俊貴¹, 高橋真理², 中川彩美¹, 山崎真巳³, 斉藤和季³, 町田泰則², 町田千代子¹

(¹中部大・院・応用生物, ²名古屋大・院・理, ³千葉大・薬学研究科)

P-182

***Rorippa aquatica* の葉形制御機構の RNA-seq による網羅的解析**

坂本智昭^{1,5}, 中山北斗^{1,2}, 市橋泰範³, 藤江学⁴, 倉田哲也⁵, 木村成介¹

(¹京産大・総合生命, ²Plant Biology, UC Davis, ³理研・環境資源科学, ⁴OSIT・SQC, ⁵NAIST・バイオサイエンス)

P-040

CRISPR/Cas9 システムを利用した CLE ペプチドの機能欠失変異体コレクションの作出

山口泰華¹, 吉村美香¹, 今村悠子¹, 島岡知恵², 立石亮太², 澤進一郎^{1,2}, 石田喬志¹

(¹熊本大学大学院自然科学研究科, ²熊本大学理学部)

生殖

P-183

精細胞特異的タンパク質 GCS1 欠損変異体の花粉管ガイダンスにおける表現型解析

柳瀬俊吾¹, 本田健¹, 高橋太郎², 森稔幸³, 井川智子²

(¹千葉大・園芸, ²千葉大・院・園芸, ³東大・院・理・生物科学)

P-184

シロイヌナズナの花粉成熟過程の葯における小胞体分子シャペロンの発現解析

宇治周平¹, 梶山智晴³, 神原秀記³, 西川周一²

(¹新潟大・院・自然科学, ²新潟大・理, ³日立製作所・中央研究所)

P-185

ヒメミカヅキモの受容体型タンパク質 CpRLP1 の機能解析

神田奈保¹, 市川真知子¹, 小野彩花², 土金勇樹²,

関本弘之^{1,2}

(¹日本女子大・院・理・物質生物, ²日本女子大・理・物質生物)

遺伝

P-186

Developing molecular marker of single-double flower and flowering for *Matthiola incana*

黄大维, 林家偉, 古新梅

(Univ. Chung Hsing, Taiwan)

遺伝子発現制御・情報伝達

P-187

単細胞紅藻 *C. merolae* の光応答転写制御における葉緑体の関与大原ひかる¹, 安藤洸幸¹, 恵良厚子², 宮城島進也², 五十嵐雅之³, 内海龍太郎⁴, 田中寛⁵, 華岡光正¹

(1千葉大・院園芸・応用生命, 2遺伝研, 3微化研, 4近畿大・農・バイオ, 5東工大・資源研)

P-188

組織癒合に関わる ANAC071 転写因子のオーキシンによる発現制御松岡啓太¹, 湯本絵美¹, 横田孝雄¹, 山根久和¹, 佐藤忍², 朝比奈雅志¹

(1帝京大・理工・バイオ, 2筑波大・生命)

P-189

Suppressor mutants of *mom1*, a mutant of silencing factor in *Arabidopsis*Hien Linh Tran¹, 湯川裕介¹, Christian Magies²,Jerzy Paszkowski³, 西村泰介¹

(1Nagaoka University of Technology, 2University of Geneva, 3University of Cambridge)

P-190

発生過程における mRNA 分解酵素 DCP の局在元村一基¹, 濱田隆宏², 渡邊雄一郎², 東山哲也^{1,3,4}

(1名大・WPI-ITbM, 2東大院・総合文化, 3名大・院・理, 4JST・ERATO)

P-191

microRNA による標的 mRNA 認識特異性に関する研究白谷公孝¹, 長田怜子², 都筑正行³, 唐戸俊介³, 舩田さくら², 渡邊雄一郎³, 竹田篤史¹

(1立命大・院・生命科学, 2立命大・生命科学, 3東大・院・総合文化)

P-192

***xrn4* 変異によって誘導される遺伝子サイレンシングを抑制する遺伝子の探索**斉藤美幸¹, 林誠^{1,2}

(1長浜バイオ大院・バイオ, 2長浜バイオ大・バイオ)

P-193

Functional characterization of a *Cucumis metuliferus* Ca²⁺-dependent protein kinase-related kinase (CRK) gene in transgenic *Nicotiana benthamiana*

Che Hsien Yu, Yen Chu Wang, Hsin Mei Ku

(Dep. Agro. NCHU, Taiwan)

ゲノム・プロテオーム

P-194

ゼニゴケにおける SUMO システムの機能解析

勝又結実子, 久保浩義

(信州大・院・総合工学)

P-195

大根野生種ハマダイコンにおけるトランスクリプトーム解析田島直幸¹, 石塚航², 花田耕介^{3,4,5}, 清水みなみ⁴, 鈴木穰⁶, 伊藤元己⁷, 彦坂幸毅^{5,8}, 森長真一^{1,5}

(1日大・生物資源, 2道総研, 3九工大, 4理研CSRS, 5JST・CREST, 6東大・新領域, 7東大・総合文化, 8東北大・生命科学)

P-196

ヒメツリガネゴケの ABA 応答変異株を用いたリン酸化プロテオーム解析本多慶匡¹, 桑村真由里², 杉山直幸³, 石濱泰³, 竹澤大輔⁴, 坂田洋一², 篠崎一雄⁵, 梅澤泰史^{1,6}

(1農工大・院・BASE, 2東農大・バイオ, 3京大・薬, 4埼玉大・理, 5理研・CSRS, 6さがしけ・JST)

植物微生物相互作用

P-197

地衣類共生シアノバクテリアの共生および非共生状態における光合成特性佐藤知樹¹, 小村理行², 原光二郎¹, 小峰正史¹, 山本好和¹, 伊藤繁³, 岩崎郁子¹

(1秋田県立大・院・生物資源科学, 2名古屋市立大・院・医, 3名古屋大・理)

P-198

銅過剰条件における菌根菌接種によるミヤコグサの生育抑制の回復

佐野俊夫, 小佐野星

(法政大・生命科学部)

P-199

マメ科高山植物の分散に伴う共生根粒菌ゲノムの水平伝播高梨功次郎¹, 池田啓², 瀬尾直登³, 佐藤修正⁴, 矢崎一史³

(1信州大・山岳研, 2岡山大・植物研, 3京大・生存研, 4東北大・院・生命科学)

P-200

オトシブミ揺籃形成によるヤマツツジ葉菌類相の変化

大橋謙太郎¹, 横山潤²

(¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物)

P-201

ネジバナ (*Spiranthes sinensis* var. *amoena*) の内生菌の存在量

加藤木ひとみ, 藤森祥平, 横島美香, 佐藤誠吾,
富田・横谷香織

(筑波大学・生命環境)

P-202

植物免疫反応を阻害する低分子化合物の同定とその標的因子の探索

崔勝媛¹, 石濱伸明¹, 能年義輝², Ivana Saska¹, 野村有子¹,
中神弘史¹, 近藤恭光¹, 長田裕之¹, 白須賢¹

(¹理化学研究所・CSRS, ²岡山大・院・環境生命科学)

P-203

転写因子キメラリプレッサー過剰発現シロイヌナズナ系統における植物免疫応答性の解析

高林宏樹¹, 市田佳菜絵², 光田展隆³, 高木優^{3,4}, 多田雄一¹,
来須孝光¹

(¹東京工科大・応用生物, ²東京工科大院・バイオニクス, ³産総研・生物プロセス, ⁴埼玉大院・理工)

その他

P-204

アブラナ科植物の遠縁交雑後代における雑種不稔性

藤田祥明, 小池秀明, 谷口高大, 林辰弥, 宮内祥多,
山田優生, 房相佑

(宇都宮大学農学部植物育種学研究室)

P-205

CRISPR/Cas9 を用いたタマネギのゲノム編集技術の開発

井川智子¹, 今井真介², 鴨井享宏², 真壁壮¹, 中村郁郎¹

(¹千葉大・院・園芸, ²ハウス食品グループ本社 (株))

P-206

CRISPR/Cas9 によるシロイヌナズナ遺伝子破壊株作出の効率化

筒井大貴¹, 東山哲也^{1,2,3}

(¹名大・院・理, ²JST・ERATO・東山ライブホロニクス, ³名大・WPI-ITbM)

P-207

平成 27 年度に理研 BRC が実施する植物培養細胞リソースに関連する事業について

小林俊弘, 小林正智

(理研・BRC)

高校生研究ポスター発表 プログラム

H-1

除草困難植物の生育 ～「イヌガラシ」の生き残り戦略～
高橋結菜, 大場麻未, 寺嶋恵梨, 佐藤颯星
(山形県立上山明新館高等学校) [指導教員: 菅原政志]

H-2

無菌培養によるサボテン「金鯱」の生育促進および大量増殖
松山渚, 清水慶太, 紀平留萌, 古谷菜摘, 坂本詩歩梨
(大阪府立園芸高等学校) [指導教員: 谷本忠芳]

H-3

**光が葉緑体の分化に与える影響
～緑色光は植物の緑化に有効か?～**
加賀谷尚輝, 齋藤蘭, 相馬泰輔, 齋藤李音, 鈴木実架是,
藤間瑞樹, 保坂愛
(新潟県立新発田高等学校) [指導教員: 石本由夏]

H-4

野生乳酸菌のプロバイオティクス性に関する研究
桑野峻, 高橋鳳翔
(大阪府立園芸高等学校) [指導教員: 谷本忠芳]

H-5

マタタビの白化現象の謎にせまる
目黒亜依, 佐々木円香
(秋田県立秋田中央高等学校) [指導教員: 高橋司]

H-6

**ササユリの葉腋からの小球誘導に植物ホルモンと培養開始
時期が及ぼす影響**
山地潤心, 橋本英和
(大阪府立園芸高等学校) [指導教員: 谷本忠芳]

H-7

ツタの付着盤にせまる 壁面の凹凸と付着しやすさの関係
高橋茉優
(群馬県立前橋女子高等学校) [指導教員: 小池敦子]

H-8

性転換植物コウライテンナンショウに関する研究
廣田溪流, 工藤大雅
(青森県立弘前南高等学校) [指導教員: 高木和彦]

H-9

土の深さによって生息する菌の性質は異なるのか
平井美優
(群馬県立前橋女子高等学校) [指導教員: 小池敦子]

H-10

マイヅルテンナンショウの個体サイズと性表現
石川みさき, 君島愛理, 小松原真寛, 関口遼, 寺田竜次,
野木村美咲, 橋本紗希, 茂木陸樹, 株木優奈, 平川萌
(白鷗大学足利高等学校) [指導教員: 作本憩彦, 中島康文]

H-11

タマネギ根端分裂組織の分裂周期と生物時計の関係
池上友理, 中島冬萌, 山崎友実
(長野県屋代高等学校) [指導教員: 堀内栄子]

H-12

光合成タンパク質のルビスコについて
杉山瑛理佳, 棚橋優花, 谷真琴
(岐阜県立岐阜農林高等学校) [指導教員: 土田敏行]

H-13

光刺激によるスプラウトの光合成色素生成
関森智紀, 瀬戸山優希, 高澤隆仁, 宮下朋也
(長野県屋代高等学校) [指導教員: 堀内栄子]

H-14

天然に存在する薄膜を用いて発電装置の素材を開発する研究
山村萌衣, 前田千澄
(国立米子工業高等専門学校) [指導教員: 谷藤尚貴]

H-15

**なぜ新潟県で絶滅危惧種となっているか:
ヒカゲスミレの生態研究 (経過報告)**
川俣蒼, 長谷川龍之介, 早川大翔, 藤本浩介
(新潟県立新津高等学校) [指導教員: 石澤佳代]

H-16

新・手前味噌!?
尾渡知美, 小林光
(東京都立多摩科学技術高等学校) [指導教員: 柴田秀久]

H-17

ウキクサの生命力の不思議
伊藤真澄
(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)
[指導教員: 小島理明]

H-18

**リンドウの品種改良
～根圏からのソマクロール変異体作出実験～**
黒津拓未, 茂木勝暉
(福島県立福島明成高等学校) [指導教員: 渡部耕司]

H-19

アルカリ性土壌に対するコムギの適応力

佐藤奈緒, 元川知歩

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員: 小島理明]

H-20

学校林に自生する希少ラン科植物の研究

渡辺真史, 蕪木史弦, 加道大介, 服部けやき, 池内優奈

(学校法人奈良学園 奈良学園中学校・高等学校)

[指導教員: 澄川冬彦]

H-21

廃棄松葉の機能性を解明し活用する研究

増田彩香, 望月桃子

(静岡県立静岡農業高等学校) [指導教員: 櫻井正剛]

H-22

種差海岸のサクラソウ自生地に関する研究

坂野友祐

(青森県立名久井農業高等学校) [指導教員: 木村亨]

H-23

鳥屋野潟におけるヤナギトラノオの生活史

井上航輔, 内山櫻, 小田鼓乃佳

(新潟県立新潟南高等学校) [指導教員: 間島絵里子]

H-24

ふきをサラダで! ふきのシュウ酸含有量低減化の研究

福田将大

(青森県立名久井農業高等学校) [指導教員: 木村亨]

H-25

タヌキモ属のウサギゴケは土の中で微生物を補食する

米田美桜, 舛村康成

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員: 矢部重樹]

H-26

草花による水質浄化研究

市沢憲慎, 久保沢翔太

(青森県立名久井農業高等学校) [指導教員: 木村亨]

H-27

**特殊な形の細胞が強光・乾燥地での光合成の鍵! ?
～透明な細胞をもつハオルチア・オブツサの工夫～**

田中美花, 中尾遥奈

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員: 矢部重樹]

H-28

草花を室内芳香剤にする研究

井戸上真衣

(青森県立名久井農業高等学校) [指導教員: 木村亨]

H-29

植物は話し合う?!

～植物の光に対する動きのメカニズム～

野久尾圭太, 櫻井昌克, 山本佳織

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員: 矢部重樹]

H-30

デンジソウのアクアポリン遺伝子の解析

岩井楓, 大森文恵, 清板香帆, 松井千乃

(ノートルダム清心学園清心女子高等学校) [指導教員: 田中福人]

H-31

**ゲンスケダイコンの1粒蒔きと2粒蒔きに見られる成長の
違い～共太りはあるのか～:ゲンスケダイコンを用いた研究**

徳井祐梨子, 新田真理, 小澤優貴, 星野琳太郎, 東佑哉,
越田理仁

(石川県立小松高等学校) [指導教員: 寺岸俊哉]

H-32

**マイクロサテライトマーカーを用いたアサザの遺伝的個体
数の推定**

竹村衣咲, 白井有希

(新潟明訓高等学校) [指導教員: 間島啓太]

H-33

香料の突然変異抑制効果に関する研究

土佐龍馬, 堀井菜摘, 渡部恵, 安杖璃子

(秋田県立秋田南高等学校) [指導教員: 遠藤金吾]

H-34

ショウジョウバカマの不定芽形成要因について

伊藤颯汰

(新潟明訓高等学校) [指導教員: 間島啓太]

H-35

食品保存料ナイシンに関する研究

長谷川水輝

(秋田県立秋田南高等学校) [指導教員: 遠藤金吾]

H-36

サイトカイニンはネギの体細胞分裂を促進する

齋藤龍太郎

(新潟明訓高等学校) [指導教員: 間島啓太]